

# 各都道府県の運動実績

【平成24年度 行事等実績】

参考資料 1

## ①平成23年4月1日に施行された採血基準改正についての広報

### 【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H24.4.1～12.31	CMスポット放送	各放送局	県民	本社から配布された、採血基準改正CM素材を各放送局に持ち込み、無料で放送してもらった。	テレビ296本・ラジオ2,549本放送 55歳以上の血小板献血者数は、1月末で昨年度を上回った。(2月末で延954名)17歳の400mL献血者数は、2月末で延243名
	H24.6.1～6.30 H24.12.8～12.30	若年層献血依頼	全施設	16～29歳の献血依頼可能者	採血基準改正に該当する年代を中心に、採血基準改正のリーフレットと記念品引換券を同封し、献血依頼をした。	6,031通発送
	H24.11.1～11.30	シニア層献血依頼	全施設	50～69歳の献血依頼可能者	採血基準改正に該当する年代を中心に、採血基準改正のリーフレットと記念品引換券を同封し、献血依頼をした。	4,358通発送
青森県	H24.5～H25.3	フリーペーパーによる広報	フリーペーパー3誌	県民	フリーペーパーに広告を掲載し、周知を図った。	計8回掲載

### 【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	平成24年10月～11月	テレビ・ラジオによるCM放送	県内	岩手県民	広く県民に対し採血基準改正の周知を目的に放送依頼した。	無償で民放テレビ4局522本、民放ラジオ2局419本、コミュニティFM3局2,170本の放送をしていただいた。

### 【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県	H24.12	広報資材「はじめよう！献血」作成・配布	県内高校、成人式、コンビニ等	若年層と中心に一般県民	若年層の献血啓発、普及を目的としたリーフレットを作成し、採血基準改正について掲載	
	H24.12	献血PR用カットバン	成人式等	新成人を中心に一般県民	若年層の献血啓発、普及を目的としたカットバンを作成し、採血基準改正について掲載	

### 【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	通年	新採血基準ポスター掲示	公共機関、学校等	県民	新採血基準ポスターの掲示を依頼し県民への周知を図った。	日本赤十字社(本社)
	通年	デジタルサイネージによる広報	献血パークるうぶ、献血ルーム、献血ステーション	献血協力者等	各固定施設に設置しているデジタルサイネージによる広報。	日本赤十字社(本社)

## 【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	H24.4.1～	県ホームページでの広報		県民	県のホームページに掲載して周知を図った。	
山形県赤十字血液センター	H24.3.1～H24.12.31	採血基準の一部改正及び欧州滞在歴の献血制限措置の変更の周知	ラジオ放送	ラジオ視聴者	採血基準の一部改正及び欧州滞在歴の献血制限措置の変更を広く周知した。	

## 【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H23.3.9～	薬務課ホームページに掲載			ホームページに掲載して周知を図った。	
	H23.3月～	特になし	随時	献血者	採血所にポスターを掲示して周知を図った。また事業所への事前推進時に説明した。	55歳以上の血小板献血協力者が毎月150名程度確保できた。

## 【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	通年	ホームページでの広報	県・血液センターホームページ	県民	ホームページに掲載して周知を図った。	
	H23.11.1～H24.3.31	高校献血キャンペーン	県内高校・献血ルーム	高校生	キャンペーンチラシに掲載して周知を図った。	

## 【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	平成24年12月1日	FM群馬番組(ラジオ特別授業)	県内全域	FM群馬視聴者	男性は17歳から400mL献血が出来る事の告知	

## 【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県赤十字血液センター		ホームページでの広報	県及び血液センターホームページ	県民	ホームページにて採血基準改正について広報した。	

## 【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県	通年	ホームページによる告知	県業務課ホームページ	県民	基準改正について県業務課ホームページに掲載	
千葉県赤十字血液センター	H24.3.1	広報紙掲載	各献血会場で配布	献血協力者他	千葉県赤十字血液センター発行の広報紙への告知掲載。	45,000部発行
	H23.4.1～	ホームページ掲載	血液センターホームページ上	各年代層	血液センターのホームページにお知らせとして掲載。	平成23年4月1日より継続して掲載中
	通年	献血会場PRチラシ	各献血会場で事前配布	献血対象者	各献血会場でのPRチラシに掲載	男性17歳の400mL献血が97名増加(1月末までの対前年比)

## 【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	通年	各市区町の献血推進協議会・PTA等説明会	市区町会議室等	献血推進協力団体、一般都民	献血推進状況及び情報交換を図ることにより採血基準、献血制度の適正な運営に資する事を目的とする。	情報の共有を図った。
東京都	通年	ホームページに掲載	東京都、区市町村、血液センター	一般都民・幅広い年代	採血基準内容についての掲載	

## 【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字血液センター	通年(継続中)	ラジオ広報	FMヨコハマ	県民	当センターが協力する番組「color of love」(週1回放送)内で引き続き周知。	
	通年(継続中)	プロスポーツチームとの共同イベント	等々力競技場・マリノスタウン・平塚球技場	イベント来場者	公式戦やファン感謝デーに併せて開催する献血推進イベントにおいて引き続き周知。	

## 【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	H24.7	高等学校、中等教育学校あて周知依頼		高校生等	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図った。	
	H25.1	献血リーフレットの配布		一般	一般県民へ献血知識の普及啓発を図った。	
	H23.4～	ホームページへの掲載				
	H24.4	採血基準改正の広報（CMの放送依頼）に係るマスコミ訪問		テレビ、ラジオ各局	県、血液センターで県内のマスコミ各社を訪問し、献血への理解と協力、CM放送依頼を行った。	

## 【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
富山県赤十字血液センター	H24.4.1～H24.10.31	ポケットカレンダーの配布	各献血会場	献血受付来場者	献血受付来場者に配布するポケットカレンダーに採血基準を掲載することにより献血者に周知する。	広く周知できた。

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県	H24.6	高校用啓発パンフレット「広げよう献血の輪」	県内高校配布	高校一年生	献血に関する知識普及を図るため啓発パンフを配布。その中で採血基準改正を記載。	
石川県赤十字血液センター	H24.4～H25.3	金沢市内路線バス車内広告	金沢市野町～県庁ルートを中心に	県民	金沢市内で利用客が多く、血液センターへ来所する際のバス路線を中心に車内に掲示し、広く周知する。	20車両に掲示し、広く県民に周知できた。
	H24.5、H25.10	広報誌「赤十字石川」の掲載	県内全戸配布	県民	採血基準改正を記載し、県内全戸に配布する。	広く県民に周知できた。

## 【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県 福井県赤十字血液センター	H24.4.20	高等学校校長会	福井県国際交流会館	高等学校校長	高等学校における献血の協力依頼および普及啓発を行った。	

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県	平成24年4月26日	山梨県献血推進協議会総会	山梨赤十字会館	山梨県献血推進協議会委員	採血基準改正について山梨県献血推進協議会委員へ周知を行う	委員を通じて県民に周知
	平成24年5月23日	血液事業推進会議及び市町村血液事業担当者会議	県立文学館	保健所・市町村血液事業担当者	採血基準改正について保健所・市町村担当者へ周知を行う	各市町村を通じて県民に周知
	平成24年7月1日～31日	献血啓発テレビスポット放映		県民	採血基準改正についてテレビスポットを用いて県民に周知を行う	県民に周知
山梨県赤十字血液センター	平成24年4月～	各献血団体担当者説明会	各献血団体	各献血団体担当者	採血基準改正について各献血団体担当者へ周知を行う	献血者に対して周知
	平成24年6月4日他	地区献血推進協議会及び研修会	東山梨合同庁舎他	地区献血推進協議会委員	採血基準改正について各推進協議会委員へ周知を行う	委員を通じて県民に周知

## 【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長野県	通年	県ホームページへの掲載		県民	県のホームページに採血基準の改正について掲載し、県民に周知した。	
	4/19	高等学校長会	県庁講堂	高等学校長	高等学校長会において、高校生献血への協力を依頼するとともに、採血基準の改正を周知。	
	7/9	保健指導主事会	総合教育センター	保健指導主事	保健指導主事会において、高校生献血への協力を依頼するとともに、採血基準の改正を周知。	
	8/28	学校保健会養護教諭部会	長野県教育会館	養護教諭	養護教諭部会において、高校生献血への協力を依頼するとともに、採血基準の改正を周知。	
	6月	高校生へのリーフレット配布		高校生	採血基準の改正を掲載した県作成リーフレットを全高校生に配布。	66,200部作成
長野県赤十字血液センター	4/1～12/31	テレビ・ラジオスポットCM放送	テレビ4社・ラジオ6社	県民	本社から配布されたCM素材を、各放送局へ有料又は無料にて放送依頼。	・テレビ40本、ラジオ3,216本放送 ・17歳の400mL献血者121人 ・55歳以上の血小板献血者961人

## 【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H24.4月～12月	ラジオCM	岐阜エフエム、岐阜放送	県民	ラジオCMを通じ広報を行った。	
	H24.4月～12月	テレビCM	岐阜放送	県民	テレビCMを通じ広報を行った。	
	H24.4月～	県ホームページへの掲載	県薬務水道課ホームページ	県民	採血基準改正についてホームページに記載	
	H24.4月～6月	高校生への啓発リーフレットの配布	県内高等学校	県内高等学校(2年)	県が作成したパンフレットを、県内の高校2年生に配布した。	

## 【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県	H25.1.10、H25.1.15、H25.2.28	「献血情報コーナー」等の放送	静岡放送(AMラジオ局)、静岡エフエム放送(FMラジオ局)	県民	県内全域に放送しているAM及びFMラジオ局において、献血情報コーナーを設け、その中で採血基準の改正について話をした。	献血思想の普及

## 【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H23.4～	県ホームページでの広報		県民	採血基準改正内容について掲載	
	H24.7.1～H24.7.31	愛の血液助け合い運動	県内全域	県民	献血啓発資材(ウエットティッシュ・絆創膏)に採血基準が改正されたことを記載し、配布した。	資材40,000個配布。採血基準の改正について、県民各層へ周知を図れた。

## 【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	平成24年4月1日～平成25年3月31日	テレビ・ラジオでの広報			三重テレビ・レディオキューブFM三重・Suzuka VoiceFMで無償で4月1日以降放送を実施。なお、三重テレビは有料で週3回CMを放送中。	三重テレビは、1日数回放送し、3か月で150回放送。
三重県赤十字血液センター	平成24年4月1日～平成25年3月31日	ホームページでの周知			ホームページ内で基準改正の案内を掲載し、広く県民に周知を行った。	
三重県	平成24年4月1日～平成25年3月31日	ポスター・チラシ作製及び配布		県内各地の幅広い世代	基準改正の案内ポスター・チラシを掲示・配布し、広く県民に周知を行った。	

## 【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H23.4	県ホームページでの広報	県ホームページ	県民	採血基準の改正を県ホームページに掲載	
	H23.5.18	高校生向けリーフレット配布		県内高校2年生	新しい採血基準を記載した啓発リーフレットを県内の高校に配布した。	

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H24.4～H25.12	献血実行委員会	京都市内11行政区	地域献血会会長	新採血基準の資料配付等	
	H24.4～H25.12	市、町献血推進協議会	府内保健所、市町村	保健所、市町村献血担当者	同上	

## 【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府	H.24.4.1～	各種広報媒体を使用しての周知	府内一円	府民	ホームページでの周知	前年に引き続き、広く府民に周知

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.4～	採血基準改正の周知	ホームページ、新聞広告及び大型ビジョンでの放映	幅広い年代層	継続したホームページへの掲出、三宮出張所付近にある大型ビジョンでの放映	特に55歳以上の血小板成分献血者の増により、血小板献血の安定確保につながっている。
	H24.4～	献血セミナー等で周知	県内高等学校	県内高等学校全生徒	献血セミナーで活用するスライド等資料に挿入し説明	献血ルームでの参加や、学校献血の実施につながった。
兵庫県赤十字血液センター	H24.4～	広報媒体による周知	県ホームページ、リーフレット	県民	県ホームページ及びリーフレットに掲載。	リーフレットを約6,000部配布し、またホームページにより広く広報を行うことにより、周知を図ることができた。

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H25.3	リーフレット作成	県内高等学校等	高校生等	若年層への献血啓発、普及を目的としてリーフレットを新たに作成し、県内高校1年生を対象に配布。	県内高等学校等計70校の高校1年生全員に配布。
	継続中	県ホームページでの広報	県ホームページ	県民	採血基準改正内容について掲載	
奈良県赤十字血液センター	随時	ポスターの掲示	市町村等		各市町村にポスターを配布・掲示を依頼	広く広報が行えた。
	随時	地元ラジオ局でのCM放送	FM81.4		無償にてご協力	広く広報が行えた。

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県	通年	パンフレット作成	成人式会場、高校生献血時、保健所市町村窓口で配布	成人式出席者・高校生・一般県民	パンフレットを作成し、成人式会場で配布、高校生献血学習講習会実施時に配布し講習を実施。その他、一般県民に配布した。	若年層に対しては、採血可能年齢になれば献血しよう、という意識を与えられ献血普及の知識として提供できた。
和歌山県赤十字血液センター	通年	パンフレット作成	セミナー会場、献血実施の事前等	中・高校生、献血担当者	和歌山県の献血状況パンフレットに採血基準を掲載した	若年層に対しては、採血可能年齢になれば献血しよう、という意識を与えられた。献血担当者には献血普及の知識として提供できた。
和歌山県	平成25年1月～2月	ポスターの掲示	県下保健所、各市町村施設	各施設利用者	各施設にて厚生労働省作成ポスターの掲示	各施設利用者に啓発を行えた。
和歌山県・和歌山県赤十字血液センター	通年	「けんけつちゃんねる」による広報	地元テレビ	県民	地元テレビによる地レジ及びワンセグによるデータ放送	若年層及びその他県民に広報できた。

## 【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県 島根県赤十字血液センター	H24. 4～				ホームページに基準改正のお知らせ、採血基準改正表を掲載	

## 【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H23.4.1～H23.12.31(随時)	テレビCM放送	山陽放送・テレビせとうち	県民各層	テレビCM放送を通して、県民各層への周知を図った。	テレビCM放送により、県民各層への周知が図れた。
	H23.4.1～H23.12.31(随時)	ラジオCM放送	レディオモモ・FM岡山	県民各層	ラジオCM放送を通して、県民各層への周知を図った。	ラジオCM放送により、県民各層への周知が図れた。

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H25.1	テレビ放送	NHK広島	同上	改正内容を紹介	

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H24.7.4,(2番組)H25.1.1.30	ラジオ番組	KRYラジオ(2回)、FM山口(2回)	県民	番組の中で広報	広く県民へ広報
	H24.12.10	YAB なるほど山口 ～教えて！リカちゃん～	YABテレビ	県民	県政テレビ番組で、高校での学校献血の状況を紹介し、また69歳まで血小板献血ができることをテロップで流した。	広く県民へ広報
	H24.4.16	県内高校へ周知		高校、高専、支援学校長	各高等学校へ採血基準の改正を通知	県内高校
	通年	採血基準改正に係る周知	KRY山口・tys・YABテレビ・山口ケーブルビジョン・萩ケーブルワーク・FM山口・エフエム萩コミュニティエフエム下関・エフエムきらら・エフエム周南・プラザFM・FMなかと	県民	無料放送協力をお願いしているため番組の空き時間に流す。	昨年度と比較しては流れる回数減少。
	通年	県ホームページ掲載	県ホームページ	県民	採血基準を掲載	広く県民へ周知

## 【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県赤十字血液センター	平成24年9月、10月、11月、12月 平成25年1月、2月	各高校において、高校生の学内献血再開について説明	各公立・私立高校	徳島県内公立高校の校長・養護教諭	新採血制度、若年層献血者の減少等を説明し、献血の再開を依頼した。	高校説明29校（12校が学内献血再開）
徳島県	平成24年4月17日、7月27日	市町村及び保健所等献血担当者会議	徳島県庁 徳島県赤十字血液センター	市町村 保健所の献血担当者	担当者に新採血制度についての概要説明を行った。	市町村担当者29名参加
	平成24年5月	新入生・市町村への献血パンフレットの配布		市町村、大学、看護学校等	改正された採血基準をパンフレットに掲載し、配布した。	徳島県内全24市町村、大学等10校
	平成24年5月	けんけつ「ハートメッセンジャー」事業		若年層	若年層に身近なタウン誌『あわわ』『タウン情報トクシマ』の5月号に、採血基準改正に関する記事を掲載し、広報した。	

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H24.4.1	知事メッセージ配布	県内の全ての高等学校	高等学校2年生男子生徒	採血基準が改正されて400mL全血献血が可能となったこと及び献血を呼びかける内容の知事メッセージ「知事からの献血のお願い～17歳を迎えた男子諸君へ～」を配布し周知を行った。	平成25年1月末までで17歳高校生の献血者は321名であった。

## 【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	平成24年7月～8月	市町村献血担当者会議	県下福祉保健所	市町村献血担当者	平成23年度の献血活動報告	
	平成24年12月3日	市町村献血主管課長会議	高知県保健衛生総合庁舎	市町村献血主管課長	平成24年度の献血活動報告	
	平成25年2月7日	高知県献血推進協議会	オリエントホテル高知	高知県献血推進委員	平成24年度の献血活動報告	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	4月1日～	広報	県内各市町村担当窓口	県内各市町村	各市町村担当窓口において基準改正のポスター掲示を依頼	市民に周知はできたが、地域献血では反応は得られなかった。

## 【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	平成24年4月1日～12月31日	ラジオ	からつFM管内	一般聴者	採血基準一部改正及び欧州等滞在歴の献血制限措置の変更にかかる広報	
	平成24年7月21日～9月15日	テレビ	STS管内	一般視聴者	採血基準一部改正及び欧州等滞在歴の献血制限措置の変更にかかる広報	
	平成24年7月1日～7月30日	ラジオ	NBC管内	一般聴者	採血基準一部改正及び欧州等滞在歴の献血制限措置の変更にかかる広報	

## 【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	平成24年6月10日	ラジオ出演	FMIさはや	ローカル地域での視聴者	献血の現状と採血基準改正について告知	地元番組で視聴者も多く効果があったと考えられる。
	平成24年7月23日	ラジオ出演	FMLしまばら	ローカル地域での視聴者	現場からの中継で献血の呼び掛け並びに採血基準改正等を含めた献血の現状のお知らせ	地元番組で視聴者も多く効果があったと考えられる。
	平成24年9月13日	テレビ出演	サセボテレビ	ローカル地域での視聴者	献血の現状と今後の推進活動方針について(45分録画取り)	定期的に数回放送されたので効果があった。
	平成24年10月28日	ラジオ出演	FMLしまばら	ローカル地域での視聴者	現場からの中継で献血の呼び掛け並びに採血基準改正等を含めた献血の現状のお知らせ	地元番組で視聴者も多く効果があったと考えられる。
	平成25年1月8日	ラジオ出演	FMIさはや	ローカル地域での視聴者	はたちの献血キャンペーンを中心に採血基準改正等告知し献血のお願い	地元番組で視聴者も多く効果があったと考えられる。
	平成25年2月26日	ラジオ出演	FMLしまばら	ローカル地域での視聴者	現場(県立高校)からの中継で献血の呼び掛け並びに採血基準改正等を含めた献血の現状のお知らせ	地元番組で視聴者も多く効果があったと考えられる。
	平成24年4月～2月	高等学校訪問	県内高等学校	校長、教頭、養護教諭等	17歳への引き下げに伴う校内献血(400mL献血)の継続推進	2年生を含めた夏季での献血実施等増加傾向となった。

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	H23.4～継続	本県オリジナル情報誌“KUBIRU”への記事掲載	市町村・大学・専門学校・並びに県下各献血会場	配布先職員及び学生、献血者	本県オリジナルの情報誌(年4回発行)に改正基準を掲載し、広く周知を図る。	情報誌への記事掲載により、広く一般に採血基準改正が周知できた。
	H23.4～継続	本県の献血推進用冊子“献血くまもと”への記事掲載	市町村・事業所・学校・団体等の推進並びに会議資料として活用	市町村・事業所・学校・団体等の献血担当者	献血推進担当者を通じ、広く一般に推進を図る。	担当者を通じ、特に、学校及び団体への周知が図れた。
	H24.4月、12月	テレビ・ラジオCMの活用	各テレビ・ラジオを通じOn Air	一般	血液事業本部製作のCM素材を通じ、広く県民への周知を図った。	メディアを通じ、県内全域に周知が図れた。
	H24.6	フリー冊子「高3物語」への情報掲載	県下各高等学校	高校3年生	高校総体特集号として、県下の高校3年生を対象に学校を通じ配布。	17、18歳の高校生に的確な情報発信が行えた。
	H24.6.29	熊本県市町村献血担当者研修会	血液センター	県下保健所・市町村献血担当者	保健所や市町村の献血担当者に採血基準の周知並びに推進を図ることにより、地域献血の充実を図る。	各担当者による推進強化が行われた。
	H24.9.7	ライオンズクラブ研修	血液センター会議室	県下ライオンズクラブ代表	研修を通じ、献血の募集や呼び掛けに当たる際の採血基準の周知を図る。	概要に記した活動が円滑に行え、献血者増に繋がった。
	H25.1	若者向け情報誌への献血関連記事掲載	県下全域	若年層	若者向け情報誌“タンクマ”2、3月号に連続して献血関連記事の掲載により周知を図る。	10代・20代の若者に、採血基準や献血の必要性が周知できた。
	H25.2	”はじめよう献血”冊子への記事掲載	県下全高校生・専門学校生並びに大学・自動車学校に配布	高校生・大学生・専門学校生等	同冊子を作製し、県を通じ県下の全高校・専門学校生に学校から配布。献血の必要性和若年層献血の推進を図る。	キャンペーンとの連動により、キャンペーン開始後より10代・20代の献血者が増加した。

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県	平成25年1月14日～2月13日	バス車内広告	バス車内	バス乗客	大分市内を走る路線バス110台の車内に、採血基準改正についてのポスターを掲示	バス通学の学生等に対し、400mL献血可能年齢の引き下げを周知できた。

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県	H24.4～	会議等を通じた広報	県, 保健所, 市町村		県及び市町村献血推進対策協議会など各種会議・研修会・講座などで基準改正の趣旨を説明	
	H24.4～	HP・広報誌等を通じた広報	県, 保健所, 市町村		県, 一部の保健所・市町村において, HPに基準改正を掲載。また一部の市町村において広報誌への掲載, ケーブルテレビの活用, チラシの配布などにより広報	
	H25.1	県政広報番組枠を活用した広報		一般県民	県政広報番組枠を活用し, 基準改正を広報	
	H24.4～	高校訪問による広報	県内高等学校	校長等	県, 一部の保健所において, 血液センター職員と高等学校を訪問し, 校長等に基準改正の趣旨を説明又は献血出前講座により, 生徒・教員に周知を図った。	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H24.4月～12月	採血基準改正	テレビ・ラジオ	県民一般	採血基準改正について、県民へ周知を図るため、テレビ(HDカム)・ラジオ(MO)のCM素材で番組放送を依頼し、広報を実施。	
	H24.4月～H25年3月		推進用チラシ・センター機関誌	献血団体・一般住民	推進用チラシ(裏面に採決基準改正を掲載し献血団体職員へ周知)・機関誌(行政等の窓口に置いて周知)	

## ②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

### 【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H24.7/7.8.14	全道統一サマー献血キャンペーン	各献血実施場所	献血可能者	例年、学生献血推進ボランティアが中心となり企画・実施しているイベント。献血実施場所において子連れでも安心して献血できるようキッズスペースを設け対応した。	イベント実施前に報道機関へリリースを出す、学生ボランティアがポスター等を様々な施設へ貼るなどを実施し来場者を多く確保することができた。
	H24.12月中	全国学生クリスマス献血キャンペーン				
	H24.9.29	山の手南小学校「秋桜祭(PTA主催バザー)」	山の手南小学校	山の手南小学校関係者(学生、親、教師等)	当バザーの一角に献血ブースを設け、広報資材の設置・献血に関するクイズ、ゲームコーナー(わなげ等)を設け献血にふれあうことを目的として実施。	数年実施していることもあり、クイズに対して小学生が覚えているなど、自然に知識として身につけていると感じた。
	H24.6/16.17	大学祭への献血ブース展示	東海大学札幌校舎	大学生、親子連れ	当大学の学校祭へ献血啓発および献血にふれあう機会を増やすことを目的とし実施。会場には多くの親子連れが来場しており、けんけつちゃんをモチーフとしたゲームコーナーおよび広報資材を設置した。	学生や子どもの親が「今まで献血したことはないが、今度献血しようと思う。」などの声もあり、献血に対する意識付けがなされていると感じた。

### 【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H24.4.1～H25.3.31	青森市PTA献血	青森市内小・中学校等	青森市内小・中学校PTA	小・中学校に献血バスを配車し、保護者が献血している姿を子供に見てもらった。	743人協力(2月末現在)

### 【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	通年	献血ルーム新装オープンに併せキッズコーナーを設置	献血ルームキッズコーナー	親子連れ献血者	キッズコーナーに絵本やぬり絵を常備するとともに、幼児向けDVDも設置し自由に観ることができる。	主に休日、親子連れが利用している。また、親が献血中にキッズコーナーの様子を採血ベッドのTVで見ることができるようキッズコーナー監視用カメラを設置しているため安心できると好評である。
	毎月第2・4土曜日	折り紙教室	献血ルーム	親子連れ献血者及び一般献血者	ボランティア団体の協力のもと折り紙教室を実施している。季節に合わせた折り紙をルーム内や採血用TVに掲示、またしおりや折り紙のコマ等の作品を自由に持ち帰り出来る。	親子連れの献血者に人気である。献血者の中には、折り紙教室に併せ来所される方もいる。折り紙教室で作られたしおり等の作品は人気ですぐになくなるが多い。

### 【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県	H24.7.28～H24.7.31	夏休み親子体験教室「けんけつKidsサマースクール」	東北ブロック血液センター	小学高学年(主に4年から6年生)及び保護者	将来の献血を担う児童に、献血の必要性和血液の役割の理解を通じて生命の尊さを知っていただき、血液センターを身近に感じてもらうことを目的とする。	県内の各小学校に呼び掛けた結果、連日、40組の定員となる大盛況ぶりであった。

## 【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	H24.5.8	赤十字キッズタウン2012 in アルヴェ	秋田市民交流プラザ ALVE(アルヴェ)	幼児から中学生	秋田県の赤十字合同イベントにおいて、血液センターでは幼児から中学生を対象とした模擬体験による献血啓発を行った。	日赤秋田県支部主催
	H24.7.21	秋田県赤十字血液センター夏の感謝祭	秋田県赤十字血液センター	主に小学生	親子で献血の模擬体験をして頂き、参加していただいた子供に修了証書を所長名で贈呈した。	50名程の親子に参加頂いた
	H24.7.27	中通出張所(アトリオン献血ルーム)リニューアルオープン	アトリオン献血ルーム	幼児から小学生	キッズコーナーを拡張し、環境を整備した。	

## 【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県赤十字血液センター	H24.10.10	新献血ルームにおけるキッズルームの確保	献血ルームSAKURAMBO	献血ルーム利用者	献血ルームに来ていただいた子ども連れの献血者が安心して献血を行えること、幼児が献血にふれあう機会を創出することを目的に行った。	
山形県赤十字血液センター	H24.5.5	はたらく車大集合	山形市十日町から七日町にかけての歩行者天国	イベント来場者	自衛隊や消防車等の日頃なかなか触れ合えない自動車を展示。献血バスを配車し親子連れが多い会場であることから、献血している親を見ながら、献血に触れ合う機会を作った。	ライオンズクラブや青年会議所の協力を得ながらの実施

## 【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H24.5.3、H24.5.5、H24.5.6	親子で献血	福島県赤十字血液センター	親子連れ	キッズスペースを設けて親が安心して献血できる環境を整備した。	ダイレクトメールを活用して親子連れの献血者を確保できた。
	H24.9.8、H24.9.9	わくわく縁日スマイルランド	福島県赤十字血液センター	親子連れを含む献血者	縁日をコンセプトに献血者同伴の子供にも一緒に楽しむことのできる献血イベントを開催した。	2日間の来場者数1,053名、献血者403名。
	H25.2.16、H25.2.17	献血感謝デー	福島県赤十字血液センター	親子連れを含む献血者	「抽選会」「お菓子プレゼント」「ヒーローショー」など親子連れで楽しむことのできる内容とした。	2日間で小学生以下431名を含む1,304名が来場した。

## 【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	平成24年4月29日 平成24年5月3日 平成24年5月4日 平成24年5月5日	ゴールデンウイーク献血キャンペーン	群馬県立敷島公園 華蔵寺公園 群馬県立公園群馬の森 ぐんまこどもの国	若年層から成人と幅広い年齢層の来場者	ゴールデンウイーク期間中に若年層とファミリーが沢山集まる公園に採血車を配車。子供へのシャボン玉、風船配布を行い献血会場でのふれあいと保護者への献血協力の呼びかけを図った	
	H24年11月23日	献血感謝デー	イオンモール高崎	若年層から成人と幅広い年齢層の来場者	日頃の献血に感謝し催し物を多くの来場者が集まるショッピングセンターで開催し、採血車の配車や、ホール内で射的等のゲームや献血クイズなどを行い親子で献血に触れ合える機会を作った	

## 【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県赤十字血液センター	平成25年3月1日-3月31日 (実施期間)	親子ふれあい献血キャンペーン	県内8ヶ所献血ルーム	親子を中心とした幅広い世代	親子連れで来てもらい、親の献血する姿を子供に見せ、献血することで救える命があることを子供に伝えた。	献血者数(イベント)207人 うち400mL献血143人
	平成25年3月24日(イベント)		アリオ深谷			

## 【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県	H24.8.2	キッズ献血セミナー	関東甲信越ブロック血液センター	小学生及び保護者	親子で血液センターを見学し、血液や献血のしくみについて学んでいただくイベントを開催	46名参加
	H24.10.4	津田沼献血ルーム移転	津田沼献血ルーム	献血ご協力者等	(新)津田沼献血ルームでのキッズスペースの設置。	地元紙や地元TVで紹介される。
	H24.11.24	柏レイソル「献血サッカー教室」	日立柏サッカー場	小学生及び保護者	献血を知ってもらうためのサッカー教室を開催。	107名参加
	H25.2.16	若年層向け献血キャンペーン	イオンモール八千代緑が丘	幼児及び小学生と保護者	テレビで人気の「忍たま乱太郎」ショーを中心に献血を知ってもらうためのイベントを実施	来場者およそ500名 (2回公演)
	H24.8.23	けんけつちゃん撮影会	NHK千葉放送局	幼児及び保護者	けんけつちゃんとのふれあいを通じ献血の知識を広める。	37名参加
	通年	出張採血	ショッピングセンター等	幼児及び保護者	献血会場のキッズコーナーを設置して保護者が安心して献血ができるようにした	乳幼児連れの献血者が増加した

## 【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	常設通年	環境整備	献血ルーム(吉祥寺タキオン)	親子連れ	献血ルーム内に専用のスペースをに設け、子育て中の方でも献血に参加可能な環境を整備	

## 【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字血液センター	常設	キッズスペースの整備	かわさきルフロン献血ルーム	親子連れ	こども連れの献血者にも安心して来所いただけるよう、キッズスペースを整備、絵本やアニメDVDを設置した。	

## 【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	常設	キッズスペースの設置	献血ルーム千秋	親子連れ	献血ルームを訪れる親子連れのために、キッズスペース(献血ルーム千秋に限る。)の設置、絵本の配置を行った。	
		幼児・子供向け絵本の配置	献血ルーム			

## 【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
富山県赤十字血液センター	H24.7.28・H24.8.4	血液センター「親子見学会」	血液センター	小学校5学年と6学年の生徒及び保護者	子供たちに献血の大切さを知ってもらい将来献血へと繋げてもらうため見学会を実施する。	35組、計77名の親子が参加。
	H24.8.5	はたらくるま大集合	富山市役所前通り	幼児、小学生及び保護者	子供たちに献血の大切さを知ってもらい将来献血へと繋げてもらうため移動採血車の展示を実施する。	約200名の親子が参加。

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県赤十字血液センター	H24.7.28、8.11、8.18	なぜ？なに？おしえてけん血	血液センター	小学生及びその保護者	血液、献血について学び、血液センター施設、車両を見学した。	小学生106名、保護者85名、計191名の参加があった。
	H24.8.6、8.11	石川ミリオンスターズ握手&サイン会	献血ルーム	献血者とその家族	地元の人気野球チームである石川ミリオンスターズ選手に来てもらい、献血や献血の呼びかけ、献血者への接遇を行った。	夏休みということもあり、親子での来所が多く、献血を身近に感じてもらえた。

## 【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	H24.7.23、24、26、27	親子献血教室	血液センター	親子(小学生)	親子で献血について学ぶための教室を開催し、献血の普及啓発を行った。	

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県赤十字血液センター	平成24年10月14日	サッカーJ2試合時に献血PR	小瀬スポーツ公園	県民	J2試合のハーフタイムに横断幕を使い場内1周や電光掲示板を使い献血のPR	県民への周知
	平成24年11月11日	県民の日献血	〃	〃	県民の日のイベントで赤十字スペースを作ってもらい、移動献血車により献血実施	〃

## 【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長野県赤十字血液センター	8/17	夏休み自由研究	長野県赤十字血液センター	小学生親子	・親子1組から依頼があり実施 ・本社から配布された冊子及びDVD上映等で説明	親の献血している姿を見たりして、献血思想の普及ができた。
	9/2・9/9	ホンダ技研工業(株)主体の親子交通安全教室	・トピーファスナー工業(株) ・日信工業(株)	親子	・移動採血車・献血運搬車の展示 ・献血についてのパネル展示 ・小学生用献血クイズの実施	・献血思想の普及 ・両日で約300人来場
	H25.3/28(開所式)	キッズスペースの設置	長野献血ルーム	親子連れ	献血ルームの移転に伴い整備。	

## 【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H24.7.31 H24.8.1	夏休み血液センター見学会	岐阜県赤十字血液センター	小学校4年～6年	血液センターの施設や業務の様子を見学。DVDやスライドを使って血液や献血について学び、献血運搬車への乗車、献血バス内での模擬献血、血液の保管場所の見学等を行った。	参加者76名

## 【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県赤十字血液センター	H24.8.21	静岡県民の日:施設公開	静岡県赤十字血液センター	県民	献血バス展示(玄関前) 緊急血液運搬車展示(玄関前) 小学生用献血クイズDVD上映(玄関ホール) 献血紹介パネル展示(玄関ホール)	献血思想の普及

## 【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	平成24年8月24日	夏休み親子教室	血液センター	小学校3年生～中学校3年生	献血推進DVD上映、施設見学、献血クイズ。	ホームページやFM三重で広報して10組の親子が参加。

## 【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H24.8.26	1000人献血の会 献血学習船	長浜港～琵琶湖	幼児・小学生～高校生 保護者	幼児～保護者まで、「すいすい号」に乗船し、琵琶湖上で献血に関する勉強会を開催し献血活動への理解・普及の機会を創出することを目的とする。	長浜市内の幼稚園・保育園から高校まで、広報をした結果、705名の参加があった。

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	通年	献血ルーム四条の整備	献血ルーム四条	親子	キッズスペースの設置等	

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.7.25～27	夏休み子ども見学会	血液センター	県内小学生及び父兄	ホームページ、ニュースリリース等により親子参加型の血液センター見学会の参加を広く募集し、幼少期における献血啓発を行った。	親子57名の参加があり、それぞれに対するアンケートも実施し、献血啓発を図ることができた。

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県赤十字血液センター	H24.8.1・6・8	献血まるわかりゼミ	血液センター	小学生・保護者	パワーポイントでの説明、施設見学	親子で楽しく献血について学習して頂けた。
	随時	キッズスペースの玩具の充実	固定施設	幼児	利用者のリクエストを反映した玩具の購入	キッズスペースで遊ぶことを楽しみに来所される親子が増えてきた。

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H24.5.3	第3回赤十字ふれあい広場	パームシティ(大型スーパー)	幼児～中学生	献血受付横に専用ブースを設置し、献血に関するアンケートを実施。 参加者にはけんけつちゃんオリジナルグッズを進呈。	86名の参加があり、献血に関心を持ってもらえた。
	H24.7.29	自衛艦イベント	和歌山港中埠頭	幼児～中学生	献血バス横に専用ブースを設置し、献血に関するアンケートを実施。 参加者にはけんけつちゃんオリジナルグッズを進呈。	86名の参加があり、献血に関心を持ってもらえた。

## 【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	通年		鳥取県赤十字血液センター	就学未満時および小学校低学年用	献血キャラクターけんけつちゃんの塗り絵および絵本等を準備し、献血に触れ合う機会を設けている。	
	通年		献血ルームひえづ			

## 【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H24.7.25～7.27 H24.7.30、31 H25.8.1、2	夏休み小学生親子血液センター見学 体験教室	岡山県赤十字血液センター	県内小学校5.6年生及び保 護者	将来の献血者として、輸血医療を支えていただける小 学生に親子で血液や献血について知識や興味をもって いただくと共に親しんでいただくことで献血思想の普及 を図った。	県内417校の小学校に参加を呼 びかけ、92校・463名(保護者含 む)の参加があった。
	H24.11.17～11.18(第1回) H25.3.9～3.10(第2回)	キッズ献血デー	イオンモール倉敷	倉敷市を中心とした県内各 市町村の児童及び小学生	児童及び小学生を対象に、一般的な献血の流れを疑似 的に体験してもらい献血の周知、普及啓発を行う。それ により将来的な献血者の確保を図る。	第1回の参加者が2日間で1,186 名、第2回の参加者が2日間で 866名であった。

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H24.8.17～22	なるほど献血教室	血液センター	小学生高学年と保護者等	献血バス及び血液センター見学、血液に関するクイズ 等	児童282名、保護者188名、計470 名

## 【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	通年	「献血ルーム アミコ」にキッズスペース	献血ルーム アミコ	一般	献血ルームアミコの移転(H24.4.1)に伴い、キッズス ペースも設け、親子で献血に訪れやすい環境を作った。	
	平成24年10月13日、14日 平成24年10月22日～10月26 日	献血推進ポスター入賞作品展示	くすりと健康フェア会場 徳島県庁県民ホール	一般	中高生に書いていただいた献血推進ポスターを展示し、 親子が献血についての理解を深める機会とした。	

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H24.7.1～8.31	親子参加による献血の募集	愛媛県大街道献血ルーム	一般	予約献血により一定規模の希望者を確保することによ り、臨時的に休憩室の一部をキッズスペースとして使用 できないか検討した。	

## 【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	H24.7.1	七夕献血	高知市中央公園	若年層中心	学生クロス倶楽部による若年層を対象とした活動	
	平成24年12月15日～24日	クリスマス献血	高知市中央公園、イオンモール高知	若年層中心	学生クロス倶楽部による若年層を対象とした活動	
	H25.2.10	バレンタイン献血	イオンモール高知	若年層中心	学生クロス倶楽部による若年層を対象とした活動	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	8月26日	サマー献血キャンペーン	福岡市役所前広場	一般市民	学推協によるパネルを作成し、クイズ形式で参加してもらった。	クイズに答えて記念品を渡すようにしたため、親子連れでの参加がほとんどだった。
	12月16日	クリスマス献血キャンペーン	イオンモール福岡	一般市民	サマキャンのパネル展示を進化させ、学推協によるパネル展示し、クイズ形式で参加してもらった。	会場はファミリー層が多かったため、親子連れでの参加がほとんどだった。
	8月24日	献血ふれあい事業	東月隈公民館	校区児童65名と保護者15名	夏休みを利用して校区献血推進協会の協力を得て実施。学推協の学生ボランティアとともにセミナー形式でスライドによる献血の話と献血バスの探検やDVD上映(アンパンマンのエキス)、クイズ大会など。	翌月に校区献血を実施。ふれあい事業に参加した保護者の方たちが献血に協力いただいた。(初回)

## 【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	平成24年8月4日	夏休み子ども献血教室inイオンシネマ佐賀大和	イオンシネマ佐賀大和	小学生及び保護者	DVDを使用し小学生に献血の必要性及び重要性を学んでもらい、将来の献血者を育てる。(参加者数201名)	後日感想文の提出をお願いした結果、献血に対する理解が多少なりとも得られたと思われる。

## 【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	平成24年5月12日	赤十字ふれあいフェスタ	ベルナード観光通り	一般市民(親子)	スーパーボールのすくい取り、献血クイズ、DVD視聴を行った。	親子に向け献血についてふれあいがもてた。
	平成24年12月15、16日	全国学生献血キャンペーン2012	献血ルーム「西海」	一般市民	大学生によるキッズコーナーを設置して、輪投げ等様々な遊びを用いて、お子さんを一時預かり、親子が安心して献血できる機会と環境づくりを行った。	子育て主婦層の献血できる環境づくりが感謝された。

## 【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	H24.7.30～8.1	ハービット探検隊	血液センター敷地内	小3～6年生とその保護者	「献血」並びに「赤十字について」の体験型セミナー。血液センターの施設見学、献血クイズ、採血車で模擬献血、血液運搬車両への乗車、心肺蘇生法、災害救護食炊飯実習、救援物資の展示など体験型の研修を実施。	献血ばかりでなく、赤十字への理解も深まったと思われる。将来献血をしたいという子供も多数。期間中189名参加。

## 【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県赤十字血液センター	平成24年8月4日・10日	夏休み親子けんけつ教室	献血ルーム及び九州センター	親子(小学生と保護者)28組(66名)	献血の重要性を理解していただくため、献血現場や血液製剤の工程を見学する。また今回より保護者が実際に献血している姿を見学してもらった。	県内すべての小学校へ県教育委員会を通じてポスター等を配布し、28組(66人)の参加があった。

## 【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H24.8.10	「夏の献血教室」inさくらんぼの家	日南市北郷保健センター	小学生親子	日南市社会福祉協議会による小学生を対象とした献血教室	親子70名参加

## 【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県 鹿児島県赤十字 血液センター	H24.8	楽しく学ぼうキッズ献血	血液センター及び西之表市	小学4年～6年生と保護者	小学生とその保護者を対象に夏休みに実施し、命の大切さや献血の重要性を教え、献血バスを使用した模擬献血を行うことなどにより、将来の献血への誘導を図る。	情報誌への掲載や教育委員会を通じて小学校へ呼びかけたりし、キャンセル待ちの出る応募があった。

## 【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H25.3.27	新くもじ献血ルーム移転オープン	久茂地セントラルビル3階	県民一般	3月27日にオープンした献血ルームはキッズスペース等を設け、子供づれでも安心して来て頂けるようになった。	

### ③「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
	H24.4.11	施設見学	室蘭出張所	専門学生	施設見学を機会に血液事業について興味を抱いてもらうと同時に献血について身近に感じてもらうことを目的とする。	
	H24.4.12	学生献血推進ボランティア打合せ	室蘭出張所	学生献血推進ボランティア	若年層献血推進活動への意識向上および若年層献血啓発を目的とする。	イベント等の協力時、呼び掛け等の質が向上した
	H24.4.16/18	施設見学	室蘭出張所 北海道赤十字血液センター	高校生・専門学生	施設見学を機会に血液事業について興味を抱いてもらうと同時に献血について身近に感じてもらうことを目的とする。	
	H24.4.26	献血説明会	札幌リハビリテーション専門学校	専門学生	献血について身近に感じてもらうこと、献血啓発を促すことを目的とする。	要請時に団体での協力を頂いている。
	H24.5.7	献血説明会	北海道医療センター附属札幌看護学校	専門学生	〃	要請時団体協力、個人での献血協力有。
	h24.5.10/17	施設見学	北海道赤十字血液センター	中学生	施設見学を機会に血液事業について興味を抱いてもらうと同時に献血について身近に感じてもらうことを目的とする。	
	H24.6.1	献血説明会	函館短期大学	大学生	献血について身近に感じてもらうこと、献血啓発を促すことを目的とする。	
	H24.6.13	献血説明会	北海道赤十字血液センター	学生献血推進ボランティア	若年層献血推進活動への意識向上および若年層献血啓発を目的とする。	イベント等の協力時、呼び掛け等の質が向上した
	H24.6.21	献血説明会	釧路事業所	専門学生	献血について身近に感じてもらうこと、献血啓発を促すことを目的とする。	
	H24.7.5/11	学生献血推進ボランティア打合せ	北海道赤十字血液センター	学生献血推進ボランティア	若年層献血推進活動への意識向上および若年層献血啓発を目的とする。	イベント等の協力時、呼び掛け等の質が向上した
	H24.7.14	献血セミナー		高校生	献血について身近に感じてもらうこと、献血啓発を促すことを目的とする。	

北海道

H24.7.17	献血セミナー	北海道造形デザイン専門学校	専門学生	献血について身近に感じてもらうこと、献血啓発を促すことを目的とする。	
H24.7.19/21	献血セミナー	東海大学第四高等学校付属中等部 札幌山の手高等学校	中学生・高校生	将来の献血基盤となる若年層へ献血について知ってもらい、今後の若年層献血者確保対策として実施。	
H24.7.30/31	献血セミナー&救急法講習	北海道赤十字血液センター	小学生	将来の献血基盤となる若年層へ献血について知ってもらい、今後の若年層献血者確保対策として実施。	
H24.8.6	映像放映、献血事業説明	釧路事業所	専門学生	献血について身近に感じてもらうこと、献血啓発を促すことを目的とする。	
H24.8.29	献血セミナー	北海道建築デザイン専門学校	専門学生	〃	
H24.9.10	献血セミナー、講演	全日空ホテル	ライオンズクラブ331-A地区	献血推進協力団体の今後の献血推進活動へ役立ててもらうこと及び献血啓発を目的とする。	
H24.9.12	献血セミナー	苫小牧市立清水小学校	小学生	将来の献血基盤となる若年層へ献血について知ってもらい、今後の若年層献血者確保対策として実施。	
H24.9.18	献血セミナー、講演	ホテルフクベ	北見ライオンズクラブ	献血推進協力団体の今後の献血推進活動へ役立ててもらうこと及び献血啓発を目的とする。	
H24.10.17	献血セミナー、講演	グランドホテルニュー王子	苫小牧LC・苫小牧中央LC	〃	
H24.10.17	職場体験学習	旭川事業所	中学生	施設見学を機会に血液事業について興味を抱いてもらうと同時に献血について身近に感じてもらうことを目的とする。	
H24.10.18	献血セミナー	江別市立大麻東中学校	中学生	将来の献血基盤となる若年層へ献血について知ってもらい、今後の若年層献血者確保対策として実施。	
H24.11.5	献血説明会	武修館高校	高校生	献血について身近に感じてもらうこと、献血啓発を促すことを目的とする。	例年実施していることもあり、主となる献血協力実績有。

	同上	同上	武修館高校中等部	中学生	将来の献血基盤となる若年層へ献血について知ってもらい、今後の若年層献血者確保対策として実施。
	H24.11.7	職場体験学習受け入れ	北海道赤十字血液センター	中学生	施設見学を機会に血液事業について興味を抱いてもらうと同時に献血について身近に感じてもらうことを目的とする。
	H24.11.12	放課後学習(献血セミナー)	三笠市立小学校	小学生	将来の献血基盤となる若年層へ献血について知ってもらい、今後の若年層献血者確保対策として実施。
	H24.11.21	献血セミナー、講演	グランドホテルニュー王子	苫小牧白鳥LC	献血推進協力団体の今後の献血推進活動へ役立ててもらうこと及び献血啓発を目的とする。
	H24.12.12/13	献血セミナー、講演	札幌第一ホテル 札幌三越別館	札幌リパティライオンズクラブ	献血推進協力団体の今後の献血推進活動へ役立ててもらうこと及び献血啓発を目的とする。
	H24.12.25 H25.1.31 H25.2.9	献血セミナー	江別市立中央小学校 月形中学校 日高町 青少年自然の家	小・中学生	将来の献血基盤となる若年層へ献血について知ってもらい、今後の若年層献血者確保対策として実施。
	H25.1.21	献血セミナー、講演	かでる2.7	ライオンズクラブ331複合地区	献血推進協力団体の今後の献血推進活動へ役立ててもらうため及び献血啓発を目的とする。

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H24.6.14	小学生献血研修会	血液センター	3年生	スライドを使用して、血液及び献血についての勉強会を開催し、献血バスや献血搬送車の乗車体験をしてもらった。	生徒12名、先生1名参加
	H24.7.19	高校生献血研修会	青森県立青森中央高等学校	3年生	血液や献血に関してのスライド、パンフレット、DVDを使用して、勉強会を行い、献血への理解を深めてもらった。後日、献血ルームで献血に協力してもらった。	生徒28名、先生1名参加
	H24.7.25～7.27	献血親子セミナー	血液センター	小学校4～6年生と保護者	小学生の頃から献血に興味を持ってもらえるようにスライドを使用して血液や献血についての勉強会を開催し、献血バスや献血運搬車の乗車体験をしてもらった。	生徒16名、保護者11名参加
	H24.11.20	職場訪問	八戸市立吹上小学校	2年生	スライドを使用して、血液及び献血についての勉強会を開催し、献血バスや献血搬送車の乗車体験をしてもらった。	生徒9名、先生1名参加

## 【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	平成24年7月26日27日 30日31日 8月6日7日(延12回)	親と子の血液センター見学会	岩手県赤十字血液センター	小学生とその保護者	スライドを使用し血液センターの仕事、血液の働きなど説明し献血バス内や血液保管庫の見学等を行っている。	盛岡市近郊の小学校81校に案内を出し338人の参加があった。
	平成24年10月10日	高校生JRC委員会	日本赤十字社岩手県支部	高校生JRC委員会	献血セミナー用映像資料の活用。 岩手県の献血の現状の説明と献血の依頼。	JRC委員会90名参加があった。
	平成25年1月19日	献血ハートフルコンサート	大型ショッピングセンター	若年層	ミニコンサートの開催と献血トークショー FMラジオによる公開放送	126名の参加と公開放送により 広く県民に献血の必要性を訴えた。

## 【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県	通年	献血セミナー	県内の中学校・高等学校・大学・専門学校	中学生～専門学校生まで	血液センター職員が、各学校に赴き、献血について講和する事により、献血啓発を行う。	献血セミナーを6校で実施し、約780名が参加した。
	8月30日	職場体験活動	血液センター	仙台市立南光台東中学校	若年層の献血啓発、普及を目的として実施	1名

## 【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	H24.5.9	献血講話	秋田市立川尻小学校	小学生	小学校の体育館に児童へ献血啓発用パネルを使用し講話を含めた説明。また、校内に献血バスを設置しバスの中で献血の流れを説明。	5年生80名
	H24.6.14	献血講話	秋田県赤十字血液センター	高校生	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映する。	1年生97名
	H24.7.10	献血講話	秋田県警察学校	警察学校生	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映するとともに献血バスを設置し献血にご協力いただいた。	100名(講話)
	H24.7.19	施設見学	秋田県赤十字血液センター	中学生	血液事業に関わる内容をスライド説明するとともに施設見学等を実施した。	5名
	H24.7.21	親子ふれあい献血体験	秋田県赤十字血液センター	小学生と大人	親子で献血の疑似体験をして頂き、参加していただいた子供に修了証書を所長名で贈呈した。	50名程の親子
	H24.7.30	施設見学	秋田県赤十字血液センター	中学生	血液事業に関わる内容をスライド説明するとともに施設見学等を実施した。	2名
	H24.9.24	施設見学	秋田県赤十字血液センター	中学生	血液事業に関わる内容をスライド説明するとともに施設見学等を実施した。	6名
	H24.10.17	献血講話	秋田県赤十字血液センター	高校生	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映する。	1・2年生5名
	H24.11.8	献血講話	秋田県赤十字血液センター	高校生	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映する。	1年生100名
H24.12.8	献血講話	秋田県青少年交流センターユースパ ル	青年赤十字奉仕団	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映した。	50名	

## 【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	通年	次世代の献血者育成事業	県内中学校	中学生(主として3年生)	まもなく献血が可能となる中学生(主として3年生)に対し、献血の仕組みや必要性について、啓発を行い、将来に向けた安定的な献血協力体制の基盤整備を図った。	訪問学校数:47校(啓発資料配布) うち講演実施校数:7校
山形県赤十字血液センター	H24.10.16	東北ブロック血液センター施設見学	東北ブロック血液センター	山形東高等学校JRC部・保健委員会 山形県立山辺高等学校保健委員会	青少年等を対象とした血液センターでの各種体験学習を推進し、献血の必要性及び重要性を学ぶ機会を創出し将来の献血者を育成することを目的に行った。	両校計38名の参加があった。
山形県赤十字血液センター	H24.10.16	学生ボランティアの献血推進研修会(供給課作業室の見学)	山形県赤十字血液センター	山形大学・山形県立保健医療大学ボランティアサークル	学生ボランティアが献血の必要性及び重要性を学ぶとともに、今年度のボランティア活動をより効果的なものとするを目的に行った。	
山形県赤十字血液センター・山形県	H24.12.9	輸血療法セミナー	大手門パルズ	医療関係者を中心とする幅広い世代	各分野から研究発表をしていただき、血液の適正使用をはじめ、効率的な献血者の確保等を目的に行った。	医療機関関係者のほか献血者の来場も見受けられた
山形県赤十字血液センター	41203	献血セミナーと癒しのハーモニー	霞城セントラル	幅広い世代	冬期間に向けての継続的な献血呼びかけ及び新規献血者の確保、「献血ルームSAKURAMBO」の周知等を目的に行った。	約100名ほど入れる会場に8割ほどの集客があった。

## 【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H24.8.11	夏休み血液センター見学会	福島県赤十字血液センター	親子(子供が小学4~6年生)	施設見学、献血クイズ、献血の疑似体験を実施。	夏休みの自由研究として45名の親子が参加。地元紙の取材があり、市民に広く広報。
	H25.2.16	献血感謝デー	福島県赤十字血液センター	親子連れを含む献血者	献血にまつわるストーリー仕立てのバルーンショーを実施。	参加型の内容で献血について楽しみながら学ぶことができる企画とした。

## 【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	通年	献血出前セミナー	高等学校及び大学	高校生及び大学生	スライド及び映像素材を活用し血液に関するセミナー実施。	5ヶ所 656名参加
	平成24年7月30日	夏休み「なるほど献血ゼミナール」	東京都赤十字血液センター	小学生(保護者含む)	施設内見学、献血バスでの疑似体験、献血セミナー実施。	親子24名参加
	平成25年2月6日	平成24年度茨城県高等学校教育研究会養護部研究発表会	茨城県健康プラザ	養護教諭	スライド及び映像素材を活用し血液に関するセミナー実施。	90名参加(不参加者にも資料配布)

## 【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	平成24年5月28日	高崎8ライオンズクラブ合同献血打ち合わせ会	高崎労使会館	高崎ライオンズクラブ役員	献血協力団体である協会へ献血の概要の説明を行う	
	平成24年6月30日	献血セミナー	天理教群馬教務支庁	天理教群馬教区	献血協力団体である協会へ献血の概要の説明を行う	
	平成24年7月30、31、8月1日	親子献血教室	群馬県赤十字血液センター	小学校5、6年の親子	学童期から献血に親しんでもらうことを目的として血液の仕組みや献血について学んでもらい、献血バスで献血疑似体験や供給車試乗、病院検査室、ドクターヘリの見学など実施	
	平成24年8月25日	献血セミナー	渋川ホットプラザ	聴覚障害者	手話通訳を交え献血、複数回献血クラブ、骨髄ドナー登録の説明及びDVD上映	
	平成24年9月6日	献血セミナー	明和県央高校	保健委員	保健委員及び希望者を中心に献血の概要について説明、DVD上映	
	平成24年9月13日	献血献眼セミナー	サンピア高崎	ライオンズクラブ国際協会333-D地区役員	献血協力団体であるライオンズクラブで献血の現状の説明を行った	
	平成24年9月25日	職場体験	血液センター	前橋3中 2年生	血液センターの仕事を説明、仕事体験	
	平成24年10月20日	献血セミナー(学園祭)	東京福祉大学	来場者	学園祭の1日目でセミナー実施。献血、複数回献血クラブ、骨髄ドナー登録の説明。DVD上映。2日目献血実施。	
	平成24年10月28日	献血セミナー(学園祭)	群馬パース大学	来場者	学園祭での献血バスと献血セミナー同時開催。献血、複数回献血クラブ、骨髄ドナー登録の説明。DVD上映	
	平成24年12月6日	献血セミナー	群馬県民健康科学大学	学生	献血実施前学生を対象に献血の概要説明。DVD上映	
	平成25年2月24日	献血セミナー	群馬代協東毛支部定例会議	協会員	献血の現状について説明	

	平成25年3月25日	献血セミナー	群馬県立伊勢崎高校	JRC委員	献血、複数回献血クラブ、骨髄ドナー登録の説明	
--	------------	--------	-----------	-------	------------------------	--

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県赤十字血液センター	通年	献血に関する出前講座	申込のあった小中高等学校	学生、教員、学校保健委員会	血液センター顧問を講師とした献血啓発講座	県内14校で講座を実施した。

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H24.5.16	献血講話	八千代市立大和田中学校	中学2年生	「働く方のお話を聞く会」を通じて献血の知識を広める。	72名参加
	H24.6.20	献血講話	千葉県赤十字会館	高校生(県内JRC会員)	赤十字及び血液センターの使命や役割を学ぶ	55名参加
	H24.6.21	献血講話	八千代市立東高津中学校	中学2年生	「働く方のお話を聞く会」を通じて献血の知識を広める。	72名参加
	H24.7.9	献血セミナー	千葉県立姉崎高等学校	高校生(1・2年生)	血液や献血のしくみを学び献血思想の普及啓発を図る。	360名参加
	H24.7.17	血液センター見学	千葉県赤十字血液センター	小学生	近隣小学校の生活科授業としての施設見学	11名参加
	H24.7.19	献血セミナー	千葉県立成田国際高校	高校生(1年生)	血液や献血のしくみを学び献血思想の普及啓発を図る。	340名参加
	H24.7.20	献血セミナー	淑徳大学(ゼミ)	大学生(1年生)	血液や献血のしくみを学び献血思想の普及啓発を図る。	20名参加
	H24.10.2	献血セミナー	あずさ第一高等学校	高校生(全学年)	血液や献血のしくみを学び献血思想の普及啓発を図る。	128名参加
	H24.12.17	けんけつちゃんキャラバン隊	新木戸保育園	年長及び学童	献血紙芝居等を通じて献血の知識を広める。	70名参加
	H25.1.7	献血啓発DVD上映会	拓殖大学紅陵高等学校	高校生(全学年)	DVD鑑賞を通じて献血思想の普及啓発を図る。	1350人参加
	H25.1.22	献血セミナー	千葉県立茂原高等学校	高校生(3年生)	血液や献血のしくみを学び献血思想の普及啓発を図る。	80人参加
通年	赤十字職場体験	県内献血ルーム等	中学2年生	献血ルームでの職場体験を通じて献血の理解に努める。	14回実施/167名参加	

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	通年(随時)	献血セミナー(出張セミナー)	希望する小・中・高等学校・大学	児童、保護者・生徒・学生	教室等でスライド学習、DVD視聴等を行う。	高等学校等のセミナーを開催し18校3,812名参加。(12月現在)
	24.7~24.8	なるほど!献血ゼミナール	血液センター施設内	小学校の中高年児童と保護者	東京都センター内で小学生向けの広報資料を用い(DVD視聴、スライド学習、クイズ等)、普及啓発を行った。	小・中学校生に対する献血啓発活動として実施。637名の参加あり。

## 【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
	平成24年4月10日	高校献血セミナー	湘南工科大学高等学校	1年生 473名、先生 約20名	警察による薬物禁止講義の時間を借りて実施。スライドによる献血に関する講義を実施後献血セミナーDVD「いのちをつなぐ献血」ロングバージョンを視聴。約30分。	
	平成24年4月12日	川崎多摩ロータリークラブ例会	多摩ロータークラブ例会場	会員 30名	スライドによる献血に関する講義を実施	
	平成24年4月17日	積善会看護専門学校施設見学	神奈川県赤十字血液センター	3年生 35名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、献血に関する知識や少子高齢化による献血者減など、今後の献血協力につながる様な講話と施設見学の実施。	
	平成24年4月18日	高校献血セミナー	湘南工科大学高等学校	3年生 343名、先生 約20名	警察による薬物使用講義の時間を借りて実施。スライドによる献血に関する講義を実施後、DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。約30分。	
	平成24年4月19日	高校献血セミナー	湘南工科大学高等学校	2年生 497名、先生 約20名	警察によるインターネット講義の時間を借りて実施。スライドによる献血に関する講義を実施後、DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。約30分。	
	平成24年5月7日	PTA献血説明会	横浜市立新田中学校	PTA 15名	PTA会合日に実施。DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。献血の重要性・歴史・現状・若年層献血衰退実態など説明。約40分。	
	平成24年5月22日	PTA献血説明会	横浜市立城郷小学校	PTA 20名	PTA会合日に実施。DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。献血の重要性・歴史・現状・若年層献血衰退実態など説明。約40分。	
	平成24年5月25日	PTA献血説明会	横浜市立名瀬小学校	PTA 24名	スライドによる献血に関する講義を実施後、DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。献血の質疑応答を実施。約30分。	

平成2012年5月26日	FMリスナー「はじめて献血ツアー」	かわさきルフロン献血ルーム	一般 7人	FMヨコハマ番組とのコラボ企画として実施。番組を通じて参加者募集。番組パーソナリティーと一緒に献血の学習および献血体験。その様子を放送・FMフリーペーパーで紹介	
平成24年5月31日	PTA献血説明会	川崎市立小田小学校	PTA 20名	「愛のかたち献血」を使用して献血説明。献血セミナーDVD「いのちをつなぐ献血」ロングバージョンを視聴。約50分。「愛のかたち献血」小学生版600部配布。	
平成24年6月24日	RC献血説明会	鎌倉大船ロータリークラブ	会員 約10名	大船駅での献血実施にあたり、献血の重要性・歴史・現状・若年層献血衰退実態などスライドで説明。約30分。	
平成24年7月27日～8月10日	夏休み小中学生親子献血教室	血液センター母体/横浜駅西口献血ルーム/横浜駅東口献血ルーム/県民サポートセンター	小中学生および保護者 (小学生134人、中学生24人、保護者等130人)	スライドを用いた血液や献血に関する学習。血液センター母体や、ルーム・移動採血会場の見学、広報体験。	県業務課より県内全公立小中学校へ周知し288名の参加があった
平成24年8月1日	横浜薬科大学施設見学	神奈川県赤十字血液センター	1年生 25名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、献血に関する知識や少子高齢化による献血者減など、今後の献血協力につながる様な講話と施設見学の実施。	
平成24年8月22日	厚木ライオンズクラブ献血説明会	厚木アーバンホテル	会員 30名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴	
平成24年8月22日～24日	平成24年度社会体験研修	神奈川県赤十字血液センター 横浜駅東口献血ルーム 川崎駅東口献血ルーム	教師 3名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、献血に関する知識や少子高齢化による献血者減など、今後の献血協力につながる様な講話と施設見学の実施。	
平成24年8月30日	RC定例会	横須賀西ロータリークラブ	会員 20名	横須賀市と日赤の繋がり、献血の現状、実施に向けてのお願いを説明。DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。約30分	

神奈川県赤十字血液センター

平成24年9月7日	小田原市赤十字奉仕団研修会	小田原市社会福祉センター	団員 30名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴	
平成24年9月19日	PTA献血説明会	横浜市立太尾小学校	PTA 35名	PTA会合日に実施。DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。献血の重要性・歴史・現状・若年層献血衰退実態など説明。約40分。「愛のかたち献血」小学生版940部配布。	
平成24年10月1日	PTA献血説明会	横浜市立秋葉小学校	PTA 30名	スライドによる献血に関する講義を実施後、DVD「人は、人のチカラになれる」を視聴。献血の質疑応答を実施。約30分。	
平成24年10月3日	PTA献血説明会	横浜市立蒔田中学校	PTA 30名	スライドによる献血に関する講義を実施後、DVD「人は、人のチカラになれる」を視聴。献血の質疑応答を実施。約30分。	
平成24年10月4日	企業献血説明会	富士倉庫	関連企業より 約10名	献血実施にあたり、献血セミナーDVD「いのちをつなぐ献血」旧バージョンを視聴。献血について簡単に説明。約20分。	
平成24年10月4日	高校献血セミナー	川崎市立商業高等学校(定時制)	全校生徒 204名、先生 約10名	生徒会主催。DVD「人は、人のチカラになれる」を視聴。献血の質疑応答を実施。約15分。	
平成24年10月11日	PTA献血説明会	横浜市立北綱島小学校	PTA 15名	PTA会合日に実施。DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。献血の重要性・歴史・現状・若年層献血衰退実態など説明。約40分。「愛のかたち献血」小学生版600部配布。骨髓登録会説明会と同時実施。	
平成24年10月12日	PTA献血説明会	横浜市立保土ヶ谷中学校	PTA 25名	PTA会合日に実施。DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。献血の重要性・歴史・現状・若年層献血衰退実態など説明。約40分。	

平成24年10月19日	町内会説明会	松見町内会	役員 17名	献血の現状を説明。約5分。	
平成24年10月26日	健康あやせ普及員施設見学	神奈川県赤十字血液センター	普及員 33名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、献血に関する知識や少子高齢化による献血者減など、今後の献血協力につながる様な講話と施設見学の実施。	
平成24年10月29日	PTA献血説明会	川崎市立久末小学校	PTA 20名	「愛のかたち献血」を使用して献血説明。献血セミナーDVD「いのちをつなぐ献血」ロングバージョンを視聴。約50分。「愛のかたち献血」小学生版300部配布。	
平成24年10月30日	海老名市赤十字奉仕団施設見学	神奈川県赤十字血液センター	奉仕団員 20名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、献血に関する知識や少子高齢化による献血者減など、今後の献血協力につながる様な講話と施設見学の実施。	神奈川県支部からの依頼により実施。
平成24年11月1日	高校献血セミナー	向上高等学校	生徒教員 518人	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴 高校献血も実施	
平成24年11月8日	神奈川県薬剤師会施設見学	神奈川県赤十字血液センター	委員 19名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、献血に関する知識や少子高齢化による献血者減など、今後の献血協力につながる様な講話と施設見学の実施。	
平成24年11月12日	高校献血セミナー	聖光学院高等学校	1年生 225名、先生 1名	家庭科の授業時間を借りて実施。スライドによる献血に関する講義を実施後、DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。50分。	
平成24年11月15日	PTA献血説明会	横浜市立滝頭小学校PTA	PTA 20名	DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。献血の現状、採血基準、実施に向けてのお願い説明。約30分	

平成24年12月13日	二俣川看護福祉高等学校施設見学	神奈川県赤十字血液センター	2年生 45名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、献血に関する知識や少子高齢化による献血者減など、今後の献血協力につながる様な講話と施設見学の実施。	
平成25年1月19日	高校献血セミナー	日本大学高等学校	3年生 370名、先生 約20名	卒業前行事登校日に実施。スライドによる献血に関する講義を実施後、DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。約30分。ストラップクリーナー配布。	
平成25年1月24日・25日	生田中学校献血セミナー	かわさきルフロン献血ルーム	生徒 9人	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」「ダブルスカイ」を視聴、見学、広報体験	
平成25年2月7日	高校献血セミナー	法政大学 第二中・高等学校	3年生社会福祉学科進学予定者8名、先生1名	授業時間を借りて実施。スライドによる献血に関する講義を実施後、DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。50分。ストラップクリーナー配布。	
平成25年2月13日	高校献血セミナー	緑ヶ丘女子高等学校	3年生 127名、先生 約10名	授業時間を借りて実施。スライドによる献血に関する講義を実施後、DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」を視聴。50分。ストラップクリーナー配布。	
平成25年3月11日	日赤旭区地区委員会施設見学	神奈川県赤十字血液センター	委員 34名	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、献血に関する知識や少子高齢化による献血者減など、今後の献血協力につながる様な講話と施設見学の実施。	神奈川県支部からの依頼により実施。

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	随時	献血普及講演会	高等学校、中等教育学校、専門学校	小学生～専門学校生	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図った。	6校実施
		献血ルーム見学会	献血ルーム			1校実施

## 【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
富山県赤十字血液センター	H24.8.1	青少年の献血セミナー	砺波青少年の家	JRC加盟校の小学生、中学生、高校生	富山県支部協力のもと、JRC加盟校の学生を対象に、献血啓発のセミナーを行う。	約150名が参加。
		14才の挑戦	血液センター	中学生	中学生が血液センターの職場体験をすることにより血液事業を理解して頂くことを目的とする。	

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県赤十字血液センター	H24.6.1	第33回石川県高等学校JRC大会グループ活動	いしかわ子ども交流センター	高校生	献血についての講義を行い、献血の重要性を訴える。	献血に興味のある高校生30名が参加した。
	H24.6.30	萌の会との交流会	血液センター	萌の会（骨髄移植を受けた患者さんの会）	患者さんの立場から血液センターの役割、施設見学等を行った。	輸血医療の重要性について理解してもらった。
	H24.8.10	血液センター見学会（小松短期大学）	血液センター	短大生、先生	献血についての講義を行い、血液センターを見学する。	献血の重要性について理解し、献血ボランティアとして積極的に協力している。
	H24.8.29～31	中学生キャリア体験	血液センター、移動献血会場他	中学生	3日間に献血から供給までの血液センターの各仕事を体験し、献血の重要性について理解してもらう。	献血の呼びかけから、実際に血液製剤を医療機関に届けるまで体験し、献血の重要性について理解してもらった。
	H24.8～9	高校学校祭での献血ブース設置	各高校学校祭会場	高校生他	献血や赤十字についてのパネルを高校に貸し出し、学校祭で掲示するもの。	高校2校で設置し、献血に興味をもつ学生がいた。
	H24.9～H25.3	献血セミナー	各高校講義室等	高校生、先生	学校側の希望に応じ、30分～1時間程度で、部活、クラス学年単位で献血について講義し、輸血を受ける患者さんのドキュメンタリー映像を放映する。	全17回、高校生1280名、教師110名が参加した。

## 【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	通年	血液センター見学会	血液センター	小学生、高校生、奉仕団、ライオンズクラブ	血液センターの見学会をとおして、献血の普及啓発を行った。	
	H24.7.23、24、26、27	親子献血教室	血液センター	親子(小学生)	親子で献血について学ぶための教室を開催し、献血の普及啓発を行った。	
	通年	血液・献血出前講座	大学、短期大学、専修学校、高等学校、中学校、小学校	大学生、短期大学、専修学校生、高校生、中学生、小学生	血液・献血出前講座を20校で実施し、献血の普及啓発を行った。	
	通年	中学生社会体験学習	血液センター	中学生	血液センターの実務を体験してもらい、血液事業の普及啓発を行った。	

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県赤十字血液センター	平成24年5月11日	献血に関する説明会	山梨県美容専門学校	美容専門学校生1学年	献血の啓発活動	献血時の献血者増につながった
	平成24年8月3日	青少年赤十字リーダー養成トレーニングセンター	甲府献血ルーム	県下高校生	献血ルームにおいて献血・献血の呼びかけ	各高校において献血推進協力者となった
	平成24年8月16日	日赤救急法	山梨赤十字会館	〃	献血の啓発活動	〃
	平成24年11月8日	青少年赤十字高校生活動実践発表会	〃	〃	〃	〃
	平成24年12月5日	学校における献血に触れ合う機会	県立甲府工業高等学校	甲府工業高校全学年	〃	高校集団献血時の献血者増につながった

## 【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長野県	年間	長野県政出前講座	集会場、公民館等	県内に在住、在勤、在学するグループ	「身近に感じる献血」をテーマに最新情報や県の施策について、県職員による説明・紹介や意見交換を行う。	
長野県赤十字血液センター	6/4	献血セミナー	長野日本大学中学・高等学校	中学生・高校生	学校(生活指導担当教諭)から依頼があり、中学生・高校生合同で献血啓発の実施。7月5日、1月15日献血実施。	中学生272人、高校生1,068人の聴講。2日間で高校生107人献血。
	6/11・7/20	文化祭展示の為の献血セミナー	長野県赤十字血液センター	丸子修学館・北部高等学校生	文化祭における保健委員会の展示の為、事前に依頼があり献血啓発の実施。	両校併せて10人の聴講。
	6/28	献血セミナー	富士見高等学校	高校生	3年生の学年集会時、本社から配布のDVD上映及びスライド説明による献血啓発の実施。	113人の聴講。
	8/8	「献血を考える」と題した講和	須坂青年の家	高校生	長野県青少年赤十字高等学校リーダーシップ・トレーニングセンター参加者へ献血啓発の実施。	18人の聴講。
	9/16	文化祭における献血セミナー	飯田女子高等学校	高校生	文化祭(献血)当日、本社から配布のDVD上映及びスライド説明による献血啓発の実施。	121人の聴講、高校生23人の献血。

	9/28	文化祭における「地域との交流」	坂城町立坂城中学校	中学生	文化祭における催し物の中で、分科会24項目の中から各生徒が選択参加し、皆で地域との関係を深める「地域との交流」の時間が設けられ、その中の一つとして、献血の必要性・重要性を学ぶ「献血について」の講演依頼あり	全校生徒412人中60人の聴講。
	10/11	献血推進アドバイザー認定講習会	塩尻市総合文化センター	ライオンズクラブ334-E地区52団体	ライオンズクラブ主催等の献血時、推進(勧誘)を行っていただくため、献血推進に係る講習会を行う。	65人の参加。

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H24.7.11 H24.12.5	中学生の職場取材	岐阜県赤十字血液センター	中学生	「総合的な学習の時間」の授業の一環。血液や献血の話、血液センターの業務内容等についてのDVDを鑑賞した後、同センター内のあかなべ献血ルームにおいて、一般の方々が献血をしている様子等を見学した。	22名
	H.24.6.29	献血セミナー	岐阜県立関高等学校	高校生	献血セミナーを実施	50名
	H.24.4.22	献血セミナー	岐阜県警察学校	学生	献血実施前に献血セミナーを実施	120名

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県赤十字血液センター	H24.6月～H25.1月の間	献血セミナー	各高等学校(27校)	高校生	採血基準や献血受付から採血まで、献血のキャンペーンについて	若年層の献血者増加、献血思想の普及
	H24.5月～H25.1月の間	血液センター見学	血液センター、事業所	日本大学、静岡大学、東海大学、聖隷クリストファー大学の学生ボランティア	若年層献血の必要性、広報活動、採血基準、キャンペーン企画、広報資材、冬期の献血者確保、学生献血ボランティアについて	若年層の献血者増加、献血思想の普及

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H24.8.21,23,24	夏休み親子血液教室	愛知県赤十字血液センター(豊橋出張所)	小学生の親子	小学生の親子を対象に血液の大切さをDVDや学生ボランティアによるクイズにより学ぶ「血液教室」を開催。	参加者 321名(うち、子ども194名)

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県・三重県赤十字血液センター	平成24年7月30日	献血セミナー見学会	県内高等学校等	高校生等	講習・施設見学。	44名が参加。

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H24.8.1	ミニミニセミナー	県庁	県庁職員の子供	「県庁子ども参観日」と言う行事に献血セミナーを入れてもらった。DVD、紙芝居、クイズ、記念撮影	健康福祉部職員を対象に参加者を呼びかけ、10名の子供が参加した
滋賀県	H24.8.21.23	献血セミナー	血液センター	小学生と保護者	血液センターにおいて、DVD、講話、クイズ、採血車、運搬車の試乗、記念撮影	ホームページ等で広報し、14名の参加があった。

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H24.7/23.24.25.26.27	こどもレッドクロス隊	日本赤十字社京都支部	小学生4～6年生の親子	夏休み、親子で命の大切さを学ぼう	
	H24.7/24	献血セミナー	まるやま交流館	小学生1～4年生	赤十字について知ってもらうための出前講座	
	H24.7/27	献血セミナー	田原学童育成施設	小学生1～4年生	同上	
	H24.8.7	Kids献血探偵団	献血ルーム京都駅前	小学生とその保護者	献血ルーム見学、啓発映画鑑賞ほか	
	H24.10.1	献血セミナー	京都私立日星高校	高校3年生	献血について知ってもらうための出前講座	
	H24.11.16	献血セミナー	京都府立東舞鶴高校	高校3年生	同上	
	H24.11.28	献血セミナー	関西電力伏見営業所	会社員	同上	
	H24.2.5	献血セミナー	京都府立加悦谷高校	高校3年生	同上	
	H24.2.7	献血セミナー	京都府立西舞鶴高校	高校3年生	同上	
	H24.3.25	献血セミナー	(通信)第一学院	新2年生	同上	

## 【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府赤十字血液センター	H24.8.6、8.8、8.9、8.10	第17回「献血おもしろゼミナール」	大阪府赤十字血液センター	小学生の親子	献血に関する知識の普及啓発及び血液センターの見学	鉄道各社の主な駅に掲示 市町村広報誌 計238名の参加があった。
	H24.9.1	献血セミナー	上宮太子高校	全校生徒	セミナー用DVDの視聴と講演により、赤十字活動全般や献血についての知識を深めてもらい、若年層献血の必要性を訴えた。	献血意識の向上
	H24.9.10	献血セミナー	大阪府立西野田工科高校	3年生1クラス	セミナー用DVDの視聴と講演により、赤十字活動全般や献血についての知識を深めてもらい、若年層献血の必要性を訴えた。	献血意識の向上
	H24.11.10	献血セミナー	大阪府立佐野工科高校	全校生徒	文化祭において、セミナー用DVDの視聴とパネル展示、講演により、赤十字活動全般や献血についての知識を深めてもらい、若年層献血の必要性を訴えた。	献血意識の向上
	H24.11.10	献血セミナー	大阪府立成城高校	全校生徒	セミナー用DVDの視聴と講演により、赤十字活動全般や献血についての知識を深めてもらい、若年層献血の必要性を訴えた。	献血意識の向上
	H24.12.15	献血セミナー	大阪国際滝井高校	1年生1クラス	セミナー用DVDの視聴と講演により、赤十字活動全般や献血についての知識を深めてもらい、若年層献血の必要性を訴えた。	献血意識の向上

	H25.1.11	献血セミナー	大阪府立貝塚高校	2年生、3年生	セミナー用DVDの視聴と講演により、赤十字活動全般や献血についての知識を深めてもらい、若年層献血の必要性を訴えた。	献血意識の向上
	H25.2.1	献血セミナー	大阪市立西中学校	保健委員、生徒会	セミナー用DVDとスライドを用い、赤十字活動全般や献血についての知識を深めてもらい、若年層献血の必要性を訴えた。	献血意識の向上
	H25.3.19	献血セミナー	関西情報工学院専門学校	1年生、2年生	セミナー用DVDとスライドを用い、赤十字活動全般や献血についての知識を深めてもらい、若年層献血の必要性を訴えた。	献血意識の向上

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.4～	献血セミナー(献血出前講座)	県内高等学校	県内高等学校生	県主管部署等と連携を図り、県内高等学校へ献血セミナーの実施を依頼し、献血の次代を担う高等学校生への献血啓発を行った。	21校、約5,500人の参加があり、学校献血の実施にもつながった。
	H24.4～	町探検 トライやるウィーク	血液センター	県内小中学生 ・町探検(渚小20名) ・トライやるウィーク (渚中2名、筒井台中1名、啓名学院中2名、本山中2名、葺合中2名、本山南中2名、南武庫之荘中8名、塚口中8名)	高等学校生だけでなく、小中学生に対しても年少期における献血に触れ合う機会の設定を目的に血液センター見学や献血セミナーを積極的に受け入れた。	若年層に対する献血啓発が図られた。

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県赤十字血液センター	H24.8.1・6・8	献血まるわかりゼミ	血液センター	小学生・保護者	パワーポイントでの説明、施設見学	参加者 約293名
	H24.10.31	出前講座	一条高校	高校生・教員	全校集会の一部で講演	参加者 生徒1090名 教員80名
	H25.1.15	出前講座	奈良文化高等学校 衛生看護専攻科	高校生・教員	授業の一環として実施。パワーポイントでの説明	参加者 生徒160名 教員10名
	H25.3.8	出前講座	大和郡山市立郡山西中学校	中学生・教員	授業の一環として実施。パワーポイントでの説明	参加者 生徒117名 教員5名

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H24.5.19	献血セミナー	血液センター	学生献血推進協議会メンバー 47人	献血ボランティアをするにあたり、必要な知識について職員が講演を行った。	献血の必要性を理解できたと考ええる。
	H24.8.2	献血セミナー	血液管理センター及び近畿ブロック血液センター	小学生 46人、 保護者 31人	観光バス2台借上げ。車内で献血学習、各施設で講習並びに見学を実施した。	献血を身近なものとして感じ、関心を持ってもらえた。
	H24.9.11	献血セミナー	和歌山市立楠見小学校	小学6年生 94人	所長による「いのちの大切さ、血液の大切さ」講演	血液というものを、怖さでなく、身近なものとして感じてもらえた。

	H24.10.1、10.10、11.9、12.12、 H25.1.15	献血セミナー	県内中学校5校	中学生 計297人	DVD「いのちをつなぐ献血」上映、所長講演「いのちの大切さ、血液の大切さ」	献血の必要性について関心を持ってもらえた。
	H25.1.19	献血セミナー	高田グリーンランド(新宮市)	新宮市内の青少年赤十字 54人	DVD「いのちをつなぐ献血」上映、所長講演「いのちの大切さ、血液の大切さ」	献血の必要性について理解できたと思う。
和歌山県	H24.8.28 H24.12.18	高校生献血学習	県立笠田高等学校 県立耐久高等学校	全校生徒517名 3年生160人	外部講師による献血講演を実施した。	講師の講演が感動を呼び、聴講した多くの生徒に献血意識を持っていただくことができた。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	平成24年7月29日	けんけつおもしろセミナー	倉吉未来中心 セミナールーム	小学4～6年生および保護者	血液の歴史、構成、現状および必要性を学習。また、血液センターにおいては施設見学、その他については移動採血車および血液運搬車等の見学を行った。	チラシによる参加が多数を占めており、ラジオ視聴、ホームページによる参加は少数であった。
	平成24年7月30日～8月1日		鳥取県赤十字血液センター 研修室			
	平成24年7月29日		米子コンベンションセンター 会議室			
	平成24年5月8日～9日	中学生の職場体験学習	鳥取県赤十字血液センター 研修室	鳥取市内中学生	血液の歴史、構成、現状および必要性を学習。また、施設見学(供給課、採血課)の見学を行った。	
	平成24年7月3日～4日、6日					
	平成24年7月25日、27日					

## 【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県 島根県赤十字血液センター	H24. 8. 9～13(4日間7回)	夏休み小学生親子血液センター見学体験教室	島根県赤十字血液センター	県内小学校5・6年生の親子	親子で血液や献血についての知識、興味や親しみを持ってもらうことを目的に、クイズを交えた講座と施設見学を実施	7回開催し179名の参加
島根県赤十字血液センター	H24. 6. 30	学生献血セミナー	島根県赤十字血液センター	島根大学学生献血推進サークルぐっば 島根県青年赤十字奉仕団ぶらす	DVD「ありがとうっていっぱい言わせて」 上映スライド学習 血液センター施設見学 意見交換会	学生5名参加
	H24. 10. 3	血液センター見学・献血セミナー	島根県赤十字血液センター	松江工業高等学校JRC部員、顧問	血液センター施設見学 献血体験 献血セミナー DVD上映「ありがとうっていっぱい言わせて」	高校生8名、教員2名参加
	H24. 10. 6	島根大学凧風祭献血セミナー	島根大学凧風祭献血会場	学生及び一般	凧風祭プログラムに献血の広告を掲載。 凧風祭実行委員会、島根大学学生献血推進サークルぐっばと連携して献血セミナー及び学内献血を実施。 献血セミナーではDVD「ダブルスカイ」の上映と来場者に「献血Walker」配布、及び抽選で献血ちゃんストラップをプレゼント。けんけつちゃん着ぐるみにより凧風祭会場内で献血の呼びかけを実施。	セミナー参加者45名 献血者35名
	H24. 10. 7	松江高専高専祭献血セミナー	松江工業高等専門学校 第一体育館	学生及び一般	高専祭プログラムに献血の広告を掲載。 高専祭実行委員会、社会奉仕部と連携して献血セミナー及び校内献血を実施。献血セミナーでは吹奏楽部演奏会の冒頭で、けんけつちゃん着ぐるみも登場して社会奉仕部の皆さんから特に若年層の献血参加の呼びかけ実施と来場者に「献血Walker」配布、及び抽選で献血ちゃんストラップをプレゼント。	献血セミナー参加者約300名 献血者39名(献血実施:10月6日)
島根県	H24. 10. 26	JRC松江ブロック研修会	松江工業高等学校	県内高校生	DVD上演「ありがとうっていっぱい言わせて」 スライド学習	6校 高校生44人、教員8人参加
	H24. 10. 31	JRC秋の研修会	大田あすてらす	県内高校生	DVD上演「ありがとうっていっぱい言わせて」 スライド学習	14校 高校生75人、教員16人参加
	H24. 11. 3	島根大学ギター部定期演奏会協賛 献血セミナー	松江市プラバホール	学生及び一般	プログラムに献血の広告を掲載。 演奏会に先立ち、DVD「ありがとうっていっぱい言わせて」の上映と「献血Walker」を配布して若年層献血者へ献血思想の普及啓発を実施。	入場約150名
	H24. 12. 7	中学献血セミナー	安来市立第一中学校	全校生徒	DVD上演「ブロック血液センターガイダンスシアター小学生版」	全校生徒471人、教員10人参加

島根県赤十字血液センター	H25. 1. 30	高校献血セミナー	大東高等学校	高校3年生及び教員	DVD上演「ありがとうっていっぱい言わせて」 スライド学習「献血と血液について」	高校3年生70人、教員2人参加
	H25. 2. 4	高校献血セミナー	横田高等学校	高校3年生及び教員	DVD上演「ありがとうっていっぱい言わせて」 スライド学習「献血と血液について」 救急法講習	高校3年生70人、教員5人参加
	H25. 2. 7	高校献血セミナー	浜田商業高等学校	高校3年生及び教員	DVD上演「いのちをつなぐ献血」 スライド学習「献血と血液について」	高校3年生94人、教員3人参加
	H25. 2. 15	高校献血セミナー	隠岐島前高等学校	高校3年生及び教員	DVD上演「いのちをつなぐ献血」 スライド学習「献血と血液について」	高校3年生31人、教員2人参加

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	通年	赤十字出前講座	県内の高校・大学・専門学校	県内の高校生・大学生・専門学校生	若年層を対象に一次救命処置の実践するとともに献血に対する知識の習得および普及啓発を行った。	県内全域の各学校で実施することにより、若年層への普及啓発を行う事ができた。(実施回数42回、参加人数3388名)
	通年	職場体験・施設見学(中学生)	岡山県赤十字血液センター	中学1・2年生	将来の献血者として、輸血医療を支えていただける中学1・2年生の職場体験や施設見学の受入れを行い、知識や興味をもっていただくと共に献血思想の普及を図った。	実際の仕事の体験、施設見学により知識の習得と見識を広める事に繋がった。(職場体験2校・6名、見学5校・44名)

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H24.8.17~22	なるほど献血教室	血液センター	小学生高学年と保護者等	献血バス及び血液センター見学、血液に関するクイズ等	児童282名、保護者188名、計470名
	通年	献血セミナー	中学・高校	中学生・高校生	中学・高校での献血についての講義	
		献血セミナーの紹介	市町担当者会議、献血推進協議会等	市町、献血推進協議会委員、教育委員会、高校等	献血セミナーの紹介等	

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H24.8.1～3	小学生親子赤十字一日体験教室	山口県赤十字血液センター	県内の小学生	血液・献血の大切さを学び将来の献血につなげる	21校、103名(小学5・6年生42名、保護者37名、その他24名)が参加
	通年	献血出前講座	県内の小・中・高等学校・専門学校・大学	県内の小・中・高校・専門学校・大学生	血液・献血の大切さを学び将来の献血につなげる	16校(小学校3校、中学校3校、高校7校、専門学校1校、大学1校)、1,272名の児童・生徒・先生が参加

## 【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県赤十字血液センター	平成24年7月21日、22日、23日、27日、28日、29日の午前・午後	夏休み親子血液ゼミナール	徳島県赤十字血液センター	小学生と保護者	血液の働き、輸血の歴史、献血から輸血までの流れ、血液センターの仕事などを学習し、児童と保護者への血液事業に対する理解及び関心を高めることを目的に、夏休みを利用して学習会を開催した。	延べ120組、280人が参加
	随時	献血セミナー	各公立高校 徳島県赤十字血液センター	高校生・大学生	高等学校の学内献血会場及び徳島県赤十字血液センターでの定例会において献血セミナーを実施。	

## 【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県	H24.8.6～H24.8.10	小学生親子血液センター見学教室	香川県赤十字血液センター	小学4～6年生親子	献血に関する学習会を開催し、献血の大切さを学んでもらった。また、血液センター施設内の見学も実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(児童168名、保護者118名参加)
	H24.10.16～10.18 H24.12.12～12.13	中学生職場体験学習	香川県赤十字血液センター	中学生	血液センターの仕事を体験学習	血液センターの仕事を体験学習することで、献血意識の動機となった。(2校7名参加)
	H24.5.5	献血セミナー及び献血ルーム見学	献血ルーム	高校生	新聞部取材活動の一環として、献血に関する学習をした後、献血ルームを見学	生徒8名、引率2名の参加があり、具体的に献血のことを知ってもらうことができた。
	H24.7～H25.3	献血出前教室	県内3小学校	小学4～6年生	希望のあった小学校に血液センター職員が出向き、学校の授業の一環として、献血に関する基礎知識の啓発を実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(3校生徒204名参加)
	H24.7～H25.3	高校における献血セミナー	県内3高校	高校生	希望のあった高校に血液センター職員が出向き、学校の授業の一環として、献血に関する基礎知識の啓発を実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(3校生徒440名参加)

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H24.8.1,2,3,5,6	小学生親子血液センター見学体験教室	愛媛県血液センター等	小学生及びその保護者	若年層への献血普及の一環として、「愛の血液助け合い運動」期間中に、献血年齢に満たない小学生を対象にして、思想普及を図るため開催した。	愛媛県赤十字血液センターと共催

## 【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	年間	献血出前講座(合計12回)	各小学校、中学校、高等学校	児童、生徒	血液や献血の説明	
	平成24年10月1月～5日	職場体験学習	血液センター	中学生	血液や献血の説明	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	献血セミナー	県内小中高短大専学校	小学校6校480人、中学校2校46、高校6校3,700人	献血セミナーを実施。輸血の始まりから現在に至るまでの歴史的背景～献血の必要性までをスライドにして説明。DVD「ありがとうっていっぱい言わせて」上映	高校等ではセミナー後に献血希望者を募集し学校献血を実施。献血前にセミナーを実施するため、献血への意識が高まり多くの献血者確保につながった。

## 【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	平成24年12月5日・6日	佐賀大学医学部学生研修	日本赤十字社九州血液センター	佐賀大学医学部生	現在、血液センターが実施している検査内容等に関する説明	
	平成24年11月7日	佐賀県立総合看護学院研修	佐賀県赤十字血液センター	看護学生	献血の状況(動向、供給状況等の説明)	献血の必要性について理解が得られた。
	平成24年10月3日・4日	職場体験学習	佐賀県赤十字血液センター	中学生	献血のしくみについて(職場体験学習を行った)	献血の必要性について理解が得られた。
	平成24年4月～平成25年1月	献血セミナー	佐賀県赤十字血液センター	小学生・高校生・一般	献血のしくみについて	献血の必要性について理解が得られた。
	平成24年12月～平成25年3月	献血セミナー	各高等学校	高校生	献血のしくみについて	献血の必要性について理解が得られた。

## 【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	平成24年11月17日 平成25年1月23日 平成25年2月12日	献血講話	長崎南山高等学校 県立島原商業高等学校 県立口加高等学校	3年生対象	校内献血前に献血の必要性を認識していただき、実際に献血体験をしていただいた。	献血の意義について理解の上協力いただいた。
	平成24年7月13日	命の大切さをテーマにした講話	佐世保市立日宇中学校	全学年	受血者の親として輸血を必要としている人々のために、献血の必要性と命の大切さを訴えた。	将来に向かって心の支えとなる貴重な体験をした。
	平成24年8月20日	インターシップの一環で体験学習	献血はまのまち	県職員、大学生	献血のしくみや献血状況について学習した。	献血の必要性について理解していただいた。
	平成24年12月11日	ふれあい献血	大村市立放虎原小学校	小学校6年生134名	小学6年生を対象に献血DVD並びに講話により献血・血液についての理解を深め、移動献血バスでは保護者や教職員の献血に触れる機会を設けた。	献血にふれあう機会が持て、初歩的な献血・血液について学んだ。

## 【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
	H24.5.26～27	熊本県学生献血推進協議会リーダー研修会	県立あしきた青少年の家	熊本県学生献血推進協議会44名	県内9大学11校舎から組織する献血推進リーダーに対し、献血の知識と若年層の啓発の重要性について理解を深め、各大学でのリーダーとしての責任感を明確にさせることを目的とする。また、学生同士の親睦を深めることにより、県下大学への活動拡大を図り、若年層の献血参加を広げることを目的とする。	献血について知識が無い新リーダーに対し、献血啓発活動に取り組む重要性を理解してもらうことができ、学生献血推進協議会の協力体制が図れるようになった。
	H24.7.9	献血セミナー	熊本マリスト学園中学校・高等学校	中学生175名 高校生566名	血液センターによるパワーポイントによる説明(高校生のアンケート調査による資料含む)及びDVDを活用した献血の必要性の啓発。	献血の必要性を理解してもらうとともに、献血の協力に対する前向きな意欲が覗かれた。献血ルームでの献血に繋がった。
	H24.8.11	オープンキャンパス	血液センター会議室	高校生15名	献血可能年齢となる高校生に対し、学生献血推進協議会の学生が講師となり、献血の知識並びに重要性の講義を行ったうえ施設見学も行い、献血への理解を深めてもらった。	献血に対し堅いイメージを抱いている生徒が殆どであったが、献血を身近に感じてもらうことができた。また、研修後に初めて献血を体験して帰る生徒もいた。
	H24.10.13	献血セミナー	県立多良木高等学校	高校生294名	保健所及び血液センターによるパワーポイントによる説明(高校生のアンケート調査による資料含む)及びDVDを活用した献血の必要性の啓発。	献血の必要性を理解してもらうとともに、献血の協力に対する前向きな意欲が覗かれた。また、その後は校内献血に至った。

熊本県

H24.11.7	献血セミナー	県立熊本西高等学校	高校生1,060名	保健所及び血液センターによるパワーポイントによる説明(高校生のアンケート調査による資料含む)及びDVDを活用した献血の必要性の啓発。	献血の必要性を理解してもらうとともに、献血の協力に対する前向きな意欲が覗かれた。多数の生徒による献血ルームでの献血に繋がっている。
H24.11.8	献血セミナー	熊本市立御幸小学校	6年生116名	献血セミナー、DVDを活用した献血の必要性の啓発、血液センター看護師による生徒への模擬献血の実施。	“献血”に興味を持ってくれるばかりでなく、献血の必要性を理解し、将来は献血協力をするという声が多かった。
H25.1.7	献血セミナー	陸上自衛隊北熊本駐屯地	新成人160名	血液センターによるパワーポイントによる説明及び献血への参加呼び掛け。	1/9実施の新成人を対象とした同駐屯地での献血で、130名(400mL)の献血協力があった。
H25.1.25	献血セミナー	熊本県立松橋高等学校	3年生220名	血液センターによるパワーポイントによる説明(高校生のアンケート調査による資料含む)及びDVDを活用した献血の必要性の啓発。	2/18に実施した同校3年生を対象とした献血で37名(400mLのみ)の協力があった。
H25.3.23	九州ブロック血液センター施設見学	九州ブロック血液センター	熊本県学生献血推進協議会26名	献血血液が輸血用の血液製剤となる製造工程を理解してもらうこと及び献血の必要性の理解を図る。	今後の学内献血や学生献血のリーダーとして活躍してくれることと思われる。
H25.3.	セミナー参加者への記念品作製	セミナー受講対象者	セミナー参加者	献血セミナーに参加したことや血液の基礎知識を覚えておいてもらうように、マスコットキャラクター入り消しゴムを全員に進呈。	学用品のため、身近に置いてもらい、献血のきっかけになると思われる。

## 【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県	平成24年4月～平成25年3月	献血推進リーダーによる出前講座	小・中・高等学校	小・中・高等学校生	学校薬剤師や各保健所・市町村献血担当者による高校等での出前講座の実施。	生徒及び教諭に対し、献血の必要性を訴えることができた。
大分県赤十字血液センター	平成24年8月10日	施設見学	センター及び献血ルーム	日本赤十字社九州国際看護大学	授業の一環で、赤十字事業の実施機関を訪問し、実際の活動の場の見学を通して考え、レポートにまとめ発表する。	
	平成24年8月28日～9月5日	職場体験学習	センター及び献血ルーム	大分県立芸術文化短期大学	授業の一環で、希望する職場の体験を行うなかで、献血の重要性を理解していただいた。	
	平成24年8月21日～24日			大分市立城南中学校4名		

## 【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H24.8.6	夏休み献血スクール	宮崎青島青少年自然の家	小・中・高校生	小・中・高校生を対象とした献血セミナー	参加者101名
	H24.8.20～H24.8.22	夏休み献血ルーム親子見学会	献血ルーム「カリーノ」	小学生	小学生親子を対象とした献血教室	参加者38名
	通年	献血セミナー	県内の高等学校等	高校生	高校生を対象とした献血セミナー	14回2,059名

## 【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県	H24.6～	血液教育事業	各中学校	中学生	献血可能年齢間近の中学3年生を対象に、血液に関する正しい知識と責任ある献血の重要性を認識させるため、県薬剤師会に委託し、学校薬剤師による講義を行った。	
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H24.4～	献血出前講座・献血講座	中学校・高校・専門学校・血液センター等	中学生～大学・専門学校	献血講座を実施し、献血に関する知識を深めてもらうとともに、献血者が持っている不安等を少しでも軽減できるよう説明した。	献血を実施した学校では、事前の出前講座を行うことにより、多くの献血協力を得た。
鹿児島県赤十字血液センター	H24.4～	職場体験学習の受入れ	血液センター及び献血ルーム	中学生	中学生の職場体験の実施に伴い、献血の周知や命の大切さを学んでもらう。今後献血可能年齢となった時の献血への協力を依頼。	
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H24.8	楽しく学ぼうキッズ献血	血液センター及び西之表市	小学4年～6年生と保護者	小学生とその保護者を対象に夏休みに実施し、命の大切さや献血の重要性を教え、献血バスを使用した模擬献血を行うことなどにより、将来の献血への誘導を図る。	情報誌への掲載や教育委員会を通じて小学校へ呼びかけたりし、キャンセル待ちの出る応募があった。

## 【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	通年	献血教室	県内各学校	小中高大学・専門学生	輸血を実際に受けた方の講話、献血に関するドキュメンタリー映像の上映、パワーポイントを使用して若年層の献血離れが進行し、血液確保が困難になっている現状を説明。低学年には将来に向けての献血の重要性を理解して頂き、献血への参加を呼び掛ける。	
	通年	就業体験学習	血液センター・献血ルーム等	県内中学校、高等学校	採血から医療機関への供給、センターの業務を実際に体験していただき献血への参加を呼びかける。	
	H25.9.5～H25.11.16	施設見学	血液センター	奉仕団、看護学生		

#### ④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

##### 【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H24.10.14	献血パネル展	藤女子大学	大学生および一般来場者	学校祭に併せ献血を実施。それに伴い、学内スペースを借り血液事業に関するパネルを展示し、血液事業および献血に意識を向けさせるとともに献血活動への理解・普及を目的とする。	学際来場者及び学生に献血の啓蒙ができた。
	1か月に1度のペース	医療に携わる学生への研修会	北海道赤十字血液センター	大学生	医療専攻している学生に対して、血液事業に関して理解・更なる興味を示してもらうこと、受講者のスキル的一端となることを目的とし講演を実施。研修の最後には献血の協力をお願いしている。	研修会を経て、献血に対する意識向上が見られ、参加者の半数は献血協力していただいている。
	H24.6/8、10	献血ブース出展	北海道大学	大学生および一般来場者	北海道大学イベントの一つである「ミスコン」に献血ブースを出展し、広報資材の配布・学生ボランティアの募集等、献血に触れる機会を設けた。	来場者及び関係者の方に献血の啓蒙活動が出来た。

##### 【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H24.4.1～H25.2.28	弘前大学医学部見学実習	弘前献血ルーム	医学部学生	医療従事者をを目指す学生に血液事業の現状や青森県の献血状況を理解してもらい、献血への理解を深めてもらった。	学生183名参加
	H24.4.1～H25.3.31	大学献血	各大学・短期大学	大学生・短大生	学生ボランティア(青森県学生献血推進連絡会)が学校献血時に献血の呼びかけを行い、同世代の方に協力を求めた。	
	H24.5.7	青森大学薬学部研修会	血液センター	薬学部学生	薬剤師を目指す学生に血液事業の現状や青森県の献血状況を理解してもらい、献血への理解を深めてもらった。	学生5名参加
	H24.9.1～10.30	学園祭広告	各大学	大学生	学園祭パンフレットに献血広告を掲載し、各献血ルームの所在地等の周知を図った。併せて学園祭献血を実施した。	広告掲載4大学

##### 【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	平成24年7月18日		岩手県赤十字血液センター	薬学部の学生4名	血液センター各課による血液事業全般について説明	献血の事業について理解いただいた。
	平成24年11月14日		岩手県赤十字血液センター	薬学部の学生4名	血液センター各課による血液事業全般について説明	献血の事業について理解いただいた。
	平成25年3月19日		岩手県赤十字血液センター	薬学部の学生4名	血液センター各課による血液事業全般について説明	献血の事業について理解いただいた。
	随時	大学・専門学校への配車	大学・専門学校	大学生等	大学(看護学部)・看護学生の献血実施	

## 【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	H24.6.23	施設見学	秋田県赤十字血液センター	大学生	血液事業に関わる内容をスライド説明するとともに施設見学等を実施した。	31名
	H24.10.25	献血講話	聖霊女子短期大学	短大生	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映するとともに献血バスを設置し献血にご協力いただいた。	100名

## 【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県赤十字血液センター	平成24年度	山大医学部研修	献血ルーム	山形大学医学部4、5年生	学生に対し、献血ルームにて講義。また、講義終了後、成分献血を促し、集める側の重要性を理解してもらった。	

## 【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H24.5.9	福島県立総合衛生学院臨床検査学科の学生による施設見学	福島県赤十字血液センター	福島県立総合衛生学院臨床検査学科 学生	血液事業の概要と献血血液の検査項目について説明した。	献血協力も授業の一環として取り入れられる内容とし、学生に身を持って体験してもらうことができた。
	H24.4月～H25.3月(月1回)	臨床実習(BSL)	福島県赤十字血液センター	福島県立医科大学医学部5学年	血液センター実習(採血、検査、製造、供給の工程)	血液事業について理解を深めるとともに、採血から供給までの過程を学ぶことができた。

## 【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	平成24年11月10日	学内献血キャンペーン	茨城大学	学生	学園祭実施でパネルを展示し献血の普及啓発を図った。	献血者 55名

## 【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	平成24年6月18日	社会環境医療学実習	血液センター 前橋献血ルーム	群馬大学医学部医学学科3年7名	献血の概要について説明	
	平成24年11月22日	臨地実習 血液センター研修	血液センター	群馬大学医学部保健学科3年42名	献血の概要について説明	
	平成25年2月21日,22日	臨地実習 血液センター研修	前橋献血ルーム	前橋准看学校	献血の概要について説明	
	平成24年8月21日	インターンシップ	群馬県庁	県内大学薬学部5年生	献血および献血に関わる職業について説明	

## 【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県赤十字血液センター	通年	学生連盟との協同啓発	各大学	県内大学生	学生献血連盟による広報支援	

## 【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H24.4.19 H24.11.28	献血体験学習	国際医療専門学校	全生徒	医療福祉専門学校において授業の一環として献血活動の意義・理解を深めて、献血にご協力いただいている。	献血者136名
	通年	グループ献血キャンペーン	管内における各大学・短大	全学生	グループで献血に参加するよう促し、新規協力者や400mL献血のリピーターの増加を図る。	グループリーダー439名(3人1組)
	通年	400mLキャンペーン	管内における各大学・短大	全学生	400mL協力者へ記念品を配付する。	献血者6,954名 122名増
	通年	献血体験学習	看護専門学校	全生徒	平日の授業時間において献血にご協力いただく	10会場 献血者585名

## 【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	通年(随時)	グループ献血	各大学の献血会場	学生・大学関係者	学生ボランティア、サークル等が主体となり推進する。若年層への啓発も兼ね、3人一組での400mL献血を推進。	696名参加
	通年(随時)	医学生等施設見学	東京都赤十字血液センター	医学部生、医学専門学校	医療を目指す学生に検査・製剤・供給部門の所内見学を実施し、将来の献血者育成及び献血者の普及、啓発を図る。	医療に携わる学生445名参加。(12月現在)

## 【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字血液センター	平成24年4月21日	ボラフェスタ参加学生事前学習会	横浜駅西口献血ルーム、県民サポートセンター	学生ボランティア 7人	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、見学、今後の献血協力等につながる講話。	
	平成24年6月16日	ボラフェスタ参加学生事前学習会	かわさきルフロン献血ルーム	学生ボランティア 19人	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、見学、献血体験、今後の献血協力等につながる講話。	政府インターネットテレビにて取材
	平成24年6月16日	ボラフェスタ参加学生事前学習会	横浜駅西口献血ルーム	学生ボランティア 6人	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、見学、献血体験、今後の献血協力等につながる講話。	
	平成24年6月23日	ボラフェスタ参加学生事前学習会	かわさきルフロン献血ルーム	学生ボランティア 17人	スライドによる献血に関する講義およびDVD「ありがとうっていっぱい言わせて」を視聴し、見学、献血体験、今後の献血協力等につながる講話。	
神奈川県	平成24年11月1日	神奈川県学長・知事懇談会	セントジェームスクラブ迎賓館	県内大学・短大学長64名ほか	懇談会の配布資料として、「若年層の献血が減少しています」、「初めて献血キャンペーン」のチラシと「思いやりからつなぐ命 献血」のリーフレットを配布	

神奈川県赤十字血液センター	平成23年11月28日～平成24年7月31日	『学生献血推進ポスター』の各大学への掲出	掲出依頼先: 県内移動採血受入大学・ボラフェスタ参加サークル所属大学	【ボラフェスタ参加大学・12大学】 神奈川県立保健福祉大学・神奈川県立工科大学・神奈川県立鎌倉女子大学・関東学院大学・相模女子大学・多摩大学・田園調布学園大学・東京農業大学・東洋英和女学院大学・日本大学生物資源科学部・明治学院大学 【移動採血受入大学(ボラフェスタ参加大学を除く)・14大学】 横浜国立大学・横浜市立大学・慶應義塾大学・産業能率大学・湘南工科大学・神奈川県立歯科大学・青山学院大学・洗足学園音楽大学・東海大学湘南校舎・東京工芸大学・東京都市大学・北里大学・麻布大学・明治大学	平成23年度から引き続き、県内移動採血受入大学・ボラフェスタ参加サークル所属大学に対し、『学生献血推進ポスター(女優・南沢奈央氏)』を平成24年7月31日までの間、掲出依頼した。	
---------------	------------------------	----------------------	------------------------------------	--	---	--

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	随時	大学、専門学校等への献血バスの配車	大学、専門学校等	大学生、専門学校生等	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図った。	
		献血普及講演会、献血ルーム見学会				

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
富山県	H24.4	大学生等への働きかけ	県内の大学及び専門学校	新入生	入学オリエンテーションにおいて、献血への理解と協力を働きかけた。	4校約770名の新入生に呼びかけ。
	H25.1	大学生等への働きかけ	県内の大学	大学生	「はたちの献血」キャンペーンに合わせ、献血を呼びかけるチラシを各校に配布。	6校にチラシ約3,300枚を配布。
富山県赤十字血液センター	H24.4～H25.3	大学生等への働きかけ	血液センター	富山大学医学部学生	血液センター見学時に献血の現状を説明し、献血への理解と献血体験を実施する。	スモールグループ(4名～5名)21回実施。約100名が参加。

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県	H24.10.7、10.28	大学祭での献血啓発・推進	県内2大学	大学生	県職員及び血液センター職員が献血啓発資材を配布し、献血の必要性を訴える。	多くの初回献血者の参加、協力を得た。
石川県赤十字血液センター	H24.5～H24.12	医師臨床研修教育訓練(金沢大学附属病院)	血液センター、献血ルーム	臨床研修医	2日間を通して、血液事業全般の講義を受け、血液センター内を見学し、検診業務に携わる。	12名の臨床研修医を受入れ、献血の重要性について理解を得る。
	H24.5～H25.3	医師臨床研修教育訓練(県立中央病院)	血液センター、献血ルーム	臨床研修医	2日間を通して、血液事業全般の講義を受け、血液センター内を見学し、検診業務に携わる。	5名の臨床研修医を受入れ、献血の重要性について理解を得る。
	H24.4～H25.3	大学献血の推進	県内8大学	大学生	大学構内での献血実施を複数回行い、若年層の献血の機会を設ける。	平成24年度において、25回実施し、1,927名の献血協力があった。

## 【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	H24.9～10	2012学園祭献血	各大学、短期大学	大学生、短期大学生	県内の各大学・短大に献血バスを配車し、福井県学生献血推進連盟を中心とした学生ボランティアによる啓発活動を行った。	
	通年	卒後臨床研修医オリエンテーション(血液事業について)	血液センター	臨床研修医(1年次)	オリエンテーションを開催し、血液事業の周知を行った。	

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県赤十字血液センター	平成24年4月～	山梨県学生推進連絡会主催献血	県下7大学	県下7大学生	山梨県学生推進連絡会による献血の呼びかけ	知人による呼びかけで献血者増
	平成24年7月23日	山梨大学医学部公開授業	山梨大学医学部キャンパス	山梨大学医学部進路希望高校生	山梨大学医学部進路希望高校生に公開授業のなかの輸血講座を受けてもらう	医学部入学後の血液事業への協力
	平成24年10月13日	県立大学看護学部聖灯祭	県立大学看護学部池田キャンパス	県立大学看護学部生	将来看護師になる生徒への献血の啓発活動	医療従事者への血液事業の現状説明を行うことにより、血液の適正使用及び献血者数増加

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長野県赤十字血液センター	6/2 小諸看護専門学校 9/22 長野県看護大学 10/20 長野工業高等専門学校 10/21 飯田女子短期大学	学園祭会場での移動採血車による献血	学園祭会場	学生、学校職員、来場者	学園祭に合わせて移動採血車を学校に配車し、献血を実施するとともに啓発活動を行った。	6校で436名が受付、319名が献血
	4/17	総合学習	長野県赤十字血液センター	長野赤十字看護専門学生	看護師を目指す看護学生に対し、献血普及・啓発を行う。	45人の聴講、13人献血。
	4/20・7/13・12/6・12/21	献血当日の推進	信州大学教育学部・工学部	大学生	献血当日(午後からの献血)、12時～13時にかけて食堂付近においてティッシュ配布を行い、推進(勧誘)を行った。	両校併せて102人献血。
	7/3・10/5	薬学生実務実習研修	長野県赤十字血液センター	大学生	地域医療に貢献する薬剤師を目指す6年生薬学実習生に対して、献血普及・啓発を行う。	両日で14人の聴講、13人献血。

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H24.4月～H.25.3月	医学部学生研修	血液センター	医学部1・5年生	年間21回開催。血液センターにて献血や血液について学習し、採血現場の見学や可能であれば実際に献血を体験してもらう。	168名
	H24.4月～H.25.3月	一緒に献血キャンペーン	各大学、短大、専門学校	大学生、短大生、専門学校生	2人以上での献血協力者に粗品進呈	前年比102%

## 【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県赤十字血液センター	H24.7月、12月、H25.1～2月	大学等における集中的な献血(献血パス)の実施	県内各大学、専門学校	学生	サマーキャンペーン、クリスマスキャンペーン、はたちの献血キャンペーン等、献血啓発期間中に、大学等を中心に献血を集中的に実施した。	若年層の献血者増加、献血思想の普及

## 【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	平成24年4月～平成25年1月	大学献血	三重大学	三重大学	ミドナサポーターとして協力いただく三重大学の学生による学内啓発活動や文化祭における献血。	年間6回実施。合計218名の方にご協力いただいた。
	平成24年9月24日	献血セミナー	血液センター	三重看護専門学校	看護学校の学生等に対する血液センターの見学会、研修会。	43名の学生が参加。

## 【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H24.10.27	献血セミナー	滋賀医科大学「若あゆ祭」	医学生・看護大学生	滋賀医科大学の学園祭で献血と献血セミナーを開催し、献血活動と輸血用血液について理解していただくことを目的とする。	当日、医療従事者を目指す方にDVD鑑賞(ダブルスカイ)と実際に献血を体験してもらった。献血参加者30名
	H24			県内の大学生	環びわ湖・大学地域コンソーシアムを通じて献血啓発パンフレット配布	
	通年	献血受付窓口の設置	県内2大学	大学生	血液センターに近い大学2校に献血の受付窓口を設置し、送迎を行い献血に協力してもらう。	H24.4月～12月に234人が献血に協力
	通年	県内大学での献血説明会	各大学	大学生	大学の体育会系クラブに献血説明会を実施し、定期的な献血に協力してもらう。	H24.4月～12月に1,031人が献血に協力

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H24.10.4～H25.1.17	健康づくりアドバイス(栄養相談)事業	府内大学等	献血実施大学生等	献血会場で献血できなかった方等を対象に栄養相談を実施	

## 【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府赤十字血液センター	・H24.7.7・8 ・H24.8.11 ・H24.9.17 ・H24.12.15・16・23 ・H24.1.20 ・H25.3.3・9・10	・七夕献血キャンペーン ・サマー献血キャンペーン ・第3回近畿統一企画キャンペーン ・クリスマス献血キャンペーン ・はたちの献血キャンペーン ・春の3days献血キャンペーン	・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他3箇所 ・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他3箇所 ・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他2箇所 ・HEP FIVE前他6箇所 ・HEP FIVE前他3箇所 ・京阪守口市駅前他1箇所	府民	大阪府学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけ	
	H25.2.20	血液管理センター見学会	血液管理センター	大阪府学生献血推進協議会メンバー	血液管理センターについて説明を受けることにより、血液事業の内容についての知識を深める	参加者36名

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.4～	血液センター見学研修会	血液センター	栄養士志望の県内大学生(5校23名)	将来の医療関係従事者の担い手となる大学生等に対して、献血によって輸血医療が支えられていることや献血の推進について理解を深めていただくことを目的に研修の受け入れを図った。	献血、輸血の知識を深めていただけた。

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H24.10～	大学祭等におけるリーフレットの設置	県内大学等	大学生等	大学祭等においてリーフレットを設置いただくことにより、来場者等への啓発を実施。	在校生に限らず大学祭等への来場者など、幅広い年齢層に対して啓発を実施することができた。
奈良県赤十字血液センター	41016	学推主催 講演会	近畿大学農学部 教室	大学生(希望者)	パワーポイントでの説明	参加者 約25名
	41261	講演 施設見学会	血液センター	専門学校生・教員	奈良県立奈良病院附属看護専門学校の授業の一環として実施	参加者 生徒29名 教員1名
	定期	県立医大での献血継続	奈良県立医科大学	大学生	学生主催	学校献血を機に、献血のリピーターになってくれる方が多い。
	随時	研修医等への講演会	血液センター、大学等	研修医	献血から供給まで、問診内容などについての話	将来血液を使う立場になる人たちに、血液の大切さを理解してもらうことができた。

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H25.1.23	献血セミナー	和歌山県立医科大学看護学部	学生 78人	輸血を受けた患者さんの講演「いっぱい！ありがとう！～闘病を通して見えてきたもの～」	献血の必要性を理解できたと考ええる。
和歌山県	H24.5.18 H24.9.7 H25.1.11	献血について	和歌山県庁 和歌山県薬剤師会 和歌山県薬剤師会	薬学部5年生	献血の必要性について講習を実施。	献血の必要性について理解できたと考ええる。(1回目15名、2回目22名、3回目11名)

## 【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	平成24年4月1日	信任研修医研修会	鳥取大学医学部	新任研修医	血液の現状と適正使用について学習	

## 【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県 島根県赤十字血液センター	H24. 4. 18、6. 13、7. 11 10. 6、11. 30、H25. 1. 16	島根大学学内献血の実施	島根大学	島根大学学生・職員	島根大学学生献血推進サークルぐっぱの協力を得て年間6回の学内献血を実施し、計230名の400mL献血の協力をいただいた。	

## 【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H24.7.1	血液センター見学研修	岡山県赤十字血液センター	岡山赤十字看護専門学校生	将来を担う医療従事者として、血液や献血について一層の知識を習得いただくため、当センター所長の講義と施設内の見学をおこなった。	研修に参加いただくことにより新たな知識が身についた。参加者(41名)
	H25.2.14	血液センター見学研修	岡山県赤十字血液センター	岡山労災看護専門学校生	将来を担う医療従事者として、血液や献血について一層の知識を習得いただくため、当センター所長の講義と施設内の見学をおこなった。	研修に参加いただくことにより新たな知識が身についた。参加者(42名)
	H25.3.14	血液センター見学研修	岡山県赤十字血液センター	岡山済生会看護専門学校生	将来を担う医療従事者として、血液や献血について一層の知識を習得いただくため、当センター所長の講義と施設内の見学をおこなった。	研修に参加いただくことにより新たな知識が身についた。参加者(51名)

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H24.8.19.24	中国四国統一学生キャンペーン	JR広島駅・フジグラン神辺	大学生	学生ボランティアによる献血呼びかけ	
	H24.12.23.24	全国学生クリスマスキャンペーン2012	イオンモール広島府中・フジグランナタリー	大学生	学生ボランティアによる献血呼びかけ	

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H24.5.26 H24.11.10	学生献血セミナー	山口県赤十字血液センター	学生献血推進協議会	献血・血液についての勉強会及び献血キャンペーンの企画を行うことで、献血やボランティアにつなげる	8校、68人が参加した。
	H24.7.8	七夕献血イベント	イオンタウン防府	学生献血推進協議会	学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけを行った。	事前告知FM山口1回・要請ハガキで1会場受付数124名
	H24.9.22	中国四国学生統一献血キャンペーン	イオンタウン防府	学生献血推進協議会	学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけを行った。	事前告知FM山口1回・要請ハガキで1会場受付数93名
	H24.12.15 H24.12.16 H24.12.22	クリスマス献血キャンペーン	イオンタウン防府、ザ・モール周南	学生献血推進協議会	学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけを行った。	事前告知FM山口1回・要請ハガキで3会場受付数296名

## 【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	平成24年5月	新入生への献血パンフレットの配布	各大学, 看護学校等	大学等新入生等	大学・看護学校等の新入生に献血パンフレットを配布し、献血に対する理解と協力を呼びかけた。	大学等10校
徳島県赤十字血液センター	随時	大学等での献血	各大学, 専門学校	大学生等	大学キャンパス献血時に、献血啓発用パネルの掲示を行った。	実施回数13回 視聴人数556人

## 【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県	H24.8.19及びH24.9.17	学生献血推進協議会主催キャンペーン	献血ルーム	香川県学生献血推進協議会	夏場等の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。	広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。
	H24.12.22～12.24	クリスマス献血キャンペーン	献血ルーム	香川県学生献血推進協議会	冬場の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。献血協力者へはクリスマスプレゼントを手渡した。	広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。
	H24.4～H24.7	大学等における献血セミナー	県内3大学(短期大学を含む) 専門学校等3校	大学生、専門学生等	希望のあった大学等に血液センター職員が出向き、献血に関する基礎知識のセミナーを開催。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(6校生徒339名参加)

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	常時	大学生(特に医学生)での献血	大学等の教育機関	学生	大学等の移動採血車献血を実施することで、実際に献血をしていただき、献血の意義を理解してもらった。	

## 【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	平成24年10月7日	学園祭	高知大学	大学生	大学での学内献血の推進	
	平成24年10月20日、21日	学園祭	高知工科大学	大学生	大学での学内献血の推進	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	平成24年10月5日	献血セミナー	博多学園博多高校	看護専攻科学生120名	上記献血セミナーの内容に同じ	文化祭献血で多くの協力を得られた。
	平成24年6月	献血セミナー及び献血	北九州事業所	看護学生	献血セミナーの実施と施設見学及び献血	理解を得て献血いただけた。
	平成24年12月	献血セミナー及び献血	献血ルームおっしょい博多	医療系専門学校	献血セミナーの実施と施設見学及び献血	理解を得て献血いただけた。

## 【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	4月・12月	学内献血	佐賀大学(本庄キャンパス)	佐賀大学生	大学学内複数日献血を実施した。	500名以上の献血協力があった。学生ボランティアが増えた。
	10月	学園祭献血	佐賀大学医学部(鍋島キャンパス)	佐賀大学医学生他	学園祭で2日間献血を実施した。学園祭の学生実行委員会との献血タイアップをおこなった。	117名の献血協力があった。
	4月・12月	学内献血	西九州大学	西九州大学学生	大学学内2日間献血を実施した。	84名の献血協力があった。

## 【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	平成24年7月7、8日 平成24年12月22、23日	献血サマーイベント クリスマス献血キャンペーン	献血ルームはまのまち	一般献血者	学生ボランティアが主催する献血イベント。特に同年代である学生への活動参加や献血勧誘をおこなった。	新聞取材や街頭での活動を広くアピールすることにより、若年者への献血PR効果も期待できる。
	平成24年7月7日 平成24年12月15、16日	献血サマーイベント クリスマス献血キャンペーン	献血ルーム西海	一般献血者	学生ボランティアが主催する献血イベント。特に同年代である学生への活動参加や献血勧誘をおこなった。	新聞取材や街頭での活動を広くアピールすることにより、若年者への献血PR効果も期待できる。
	平成24年12月12日	献血セミナー	長崎国際大学講義室	献血ボランティア及び学生	血液の知識と若年層献血の必要性について講演を実施した。	キャンパス献血及び献血イベントにおいて効果を発揮した。
	平成24年11月10日 平成24年10月27日	大学学園祭での献血	長崎県立大学(佐世保市) 長崎純心大学(長崎市)	大学生	献血受付会場での献血セミナーDVD放映しボランティア活動及び献血の勧誘を行った。さらに献血処遇品を増やした。	初回献血者も多く、今後のつながりもできた。成分献血のPRをした。

	平成25年3月8日	献血、血液の学習講演と施設見学	佐世保出張所	九州文化学園高等学校衛生看護科1年生50名	献血や血液製剤についての講演と施設見学を実施した。	将来医療現場において役立つと思われる。
	平成25年3月15日	献血、血液の学習講演と施設見学	長崎センター	長崎玉成高等学校衛生看護科1、2年生100名	献血や血液製剤についての講演と施設見学を実施した。	将来医療現場において役立つと思われる。

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	通年	学内献血	県下各大学	大学生・大学職員	学生ボランティア(熊本県学生献血推進協議会)を通じ、学内献血の増強(学生主体の呼びかけ、イベント等)を図り、学生への献血に対する理解を図ると共に献血者確保を行う。	学内献血の充実が図れた。
	通年	学内献血	看護専門学校及び医療系大学	大学生及び専門学校生	事前にリーフレット等を配布することにより、血液の必要性の理解を図ると共に、献血を通じ献血によって支えられている尊い生命の大切さを理解してもらう。	献血への協力のみでなく、献血実施には本人の健康管理も必要だということを理解してもらい、血液確保の難しさを理解してもらえた。

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県学生献血推進協議会	平成24年5月～平成25年3月	学生献血推進協議会研修会及び啓発キャンペーン	各学校及びキャンペーン会場	医学部学生等	学生献血推進協議会の研修や活動を通じて、献血について学習。	
大分県赤十字血液センター	平成24年7月2日	献血研修会	豊西准看護学校	学生	学生に講義をとおして献血の重要性を理解していただいた。	
	平成24年5月15日	学内献血事前説明会	大分大学	学生	学内献血の実施日前に体育会や文化会の責任者に集まっていたき、献血の重要性や現状を説明し、学内献血者の確保を図る。	
	平成24年10月9日					
	平成25年1月15日					

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	通年	学生研修	血液センター	医学部学生	血液事業の概要の説明	毎月2回、1回5名程度

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H24.4～	学生献血推進協議会の支援	固定施設		会議等参加による助言・指導, 活動費等の支援等	献血に関する知識を広め, 社会に出てからの献血推進につなげる。
鹿児島県赤十字血液センター	H24.4～	医学部生への実技指導	血液センター	医学部生	輸血や献血の検査実技指導を含めた勉強会の実施	
	H24.4～	学内献血の推進	各大学及び専門学校	10代～20代	献血実施に向けた献血講座の開催等又学生献血推進協議会のキャンペーンの企画による学生勧誘	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	通年	献血教室	血液センター・県内各大学	学生	輸血を実際に受けた方の講話、献血に関するドキュメンタリー映像の上映、パワーポイントを使用して若年層の献血離れが進行し、血液確保が困難になっている現状を説明。献血の重要性を理解して頂き、献血への参加を呼び掛ける	

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H24.11.1～11.30	シニア層献血依頼	全施設	50～69歳の献血依頼可能者	50～69歳までを対象に採血基準の改正をお知らせするとともに献血記念品の引換券を同封し、献血した方に記念品を差し上げた。	4,358通発送 応諾人数852人 応諾率19.6%

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	通年		献血パークるうぶ、献血ルーム、献血ステーション	50歳以上	特に成分献血(血小板)が可能な方へ電話による献血依頼をし、継続的な献血への協力をお願いしている。	

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H25.2.17	献血感謝デー	福島県赤十字血液センター	40歳以上	地元ラジオ局のアナウンサーによる講演会を実施。	被災地福島に生きる人々に勇気を与える演題(心つないで)で50名以上の市民が集まった。

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	平成24年7月22日 平成25年1月27日	高崎駅献血ルームボランティアパレード	高崎駅周辺並びに市街地	若年層から成人と幅広い年齢層の市民	献血ルームボランティア(約50名・高齢者と学生)により、若年層から50～60歳代と幅広い年齢の通行人に、献血者確保と啓発活動を実施	

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県赤十字血液センター	平成24年8月～10月	「60歳からの献血」		60～64歳で献血歴のない方	65～69歳の献血必要条件を満たしていただくために、かもメールにて該当者に協力を依頼	送付数5272枚 ハガキ持参献血者219人

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H24.4.20～H24.4.27	PPP献血依頼要請	県内献血ルーム	55才～64才女性	通常は、PC要請を主体としているため、要請される機会の少ない年齢層の女性を対象にPPP献血の依頼葉書を郵送。	629通発送し、応諾率12.7%にあたる80人の応諾を得ることができた。

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	随時	AM民放ラジオによる定期的な献血情報の提供		主に車を運転中の中高年層	リスナーの年齢層が高いAM民放ラジオで定期的に献血情報の提供を行った。	

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県赤十字血液センター	H24.4～H25.2	64歳到達者への献血依頼	血液センター	献血者	54歳～57歳に献血経験があり、60歳～63歳に献血経験がない方、830名にかもめーるを郵送し、献血意欲を促す。	期間中468名の受付、387名の献血協力があった。

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県赤十字血液センター	平成24年9月28日	ライオンズクラブ国際協会330B地区と血液センター合同会議	ベルクラシック甲府	ライオンズクラブ国際協会330B地区メンバー	血液事業の現状とライオンズクラブ献血協力状況を認識、及び効率的な献血者確保事例を参考にしながらの献血推進を目的とする	献血主催時の献血推進方法が認識された

## 【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H24.4月～H25.3月	献血依頼要請はがきの送付	全献血受入施設	400mL、成分献血可能献血者	年間複数回、献血依頼要請はがきを送付している。	

## 【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県赤十字血液センター	H24.11～12月	50代～60代成分献血キャンペーン	県内献血ルーム	50代～60代 既献血者	献血年齢条件の周知と献血の案内(お誕生日献血)はがきを約600枚	血小板献血者の確保

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H24.6.18	献血セミナー	ウイングス京都	婦人会	献血について知ってもらうための出前講座	
	H24.12.20	献血セミナー	北区総合庁舎	地域献血実行委員会	同上	
	H25.1.21	献血セミナー	上京保健センター	府民	同上	
	H25.2.4	献血セミナー	西京保健センター	府民	同上	

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.4～	55歳以上男性の成分献血者への定期的な献血依頼	ハガキの送付	55歳以上の男性	2ヶ月前に成分献血に協力いただき、以後に献血歴のない方を対象に協力依頼を行った。	1日平均10名以上の血小板成分献血者を確保することができている。
	H24.5.27	学生献血推進担当者研修会	血液センター	学生献血推進担当者	学生献血推進協議会が毎月の役員会に加え、年2回、献血の知識と献血推進に係る意識の向上を目的に研修会を行い、キャンペーンの実施と各大学における献血推進について情報、意見交換を行った。	年間を通じ献血キャンペーン等を実施し、若年層を中心とした幅広い年代層に献血を呼びかけることができた。

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H24.9.29	献血セミナー	天理教和歌山支庁	各分教会代表者16人	輸血の使用用途。親が子に献血することを教える必要性を説明。	献血の必要性を身近なものとして感じ、関心を持ってもらえた。

## 【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	毎月1回	複数回献血協力者確保	街頭献血会場	50～60歳	ハガキによる献血協力要請	

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	随時	献血啓発リーフレット		地域献血組織	献血に関するリーフレットの配布	

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	通年	献血協力の周知	各献血場所	50・60代献血者	DM・電話要請を行い、献血を要請	役職の上の方及び退職者等、平日・休日に時間の余裕のある方で効果あり。
	通年	血小板献血者55歳以上の要請	山口県赤十字血液センター(母体)	55歳～69歳血小板献血可能献血者	DM・電話要請を行い、献血を要請	役職の上の方及び退職者等、平日に時間の余裕のある方で以前血小板献血経験者を対象にすることで、効果あり。

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	常時	年配者への献血	献血会場	一般	企業やイベントの献血巡回時に、これまで啓発していなかった年配の方へより一層の普及啓発を図った。	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	平成25年3月	60歳以上対象献血要請	血液センター	59歳までに献血経験者で60歳～64歳の間に献血暦のない方。	定年後献血から遠ざかった60～64歳までの間に65歳以降69歳まで延長ができる内容のDM周知をおこなう。	平成25年3月に約3,000通を送信。リピーター確保につながった。

## 【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	平成24年度	献血依頼はがき	固定施設	60歳～68歳の献血経験者を含め献血依頼対象者	12月現在で60歳以上の献血構成比率が6.8%であるが、さらに頻回献血者の増加を目指すため、献血依頼はがきを発送した。	比較的時間の余裕があり応諾も高いと思われる。

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字	H24.9.1～H25.3.31	献血バス広告	各献血バス	県民	献血バス後部に設置されている広告表示板に、AKB48の写真を掲載し、赤十字に対するイメージアップを図った。	献血バス4台に掲載

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	平成24年9月	献血ルームの機能強化	献血ルーム	県民	ベッドを増床し、献血協力者の待ち時間の短縮(12ベッド→14ベッド)を図り、ドナーサービス向上に努めた。	新聞・ラジオ・ホームページで広く県民に周知し、移転後の献血協力者は、移転前に比べ1日当たり7.5人増加した。

【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県	H24.6/1～8/31(募集) H24.11/19(表彰式) H25.2/22～3/15(ラジオCM放送)	愛の献血70字ストーリー事業	・県内の高等学校, 市町村等に応募を依頼, インターネット, 郵便等を利用(募集) ・「献血者に感謝する集い」で表彰	若年層を中心に幅広い年代	献血思想の普及と献血意識の向上を図るため、「献血」に関するショートストーリー仕立てにした作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、ラジオCM広報を行う。	163作品の応募があった。

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	H24.7.21	秋田県赤十字血液センター夏の感謝祭	秋田県赤十字血液センター	県民	屋台コーナー(無料)や親子ふれあい献血体験(模擬体験)等を設け県民、近隣事業所の方々とふれあいの場を提供。	チラシ・ポスター・ハガキを作成 新聞・ラジオでも告知
	H24.7.27	中通出張所(アトリオン献血ルーム)リニューアルオープン	アトリオン献血ルーム	幼児から小学生	リニューアルオープンを周知。	チラシ・ポスター・ハガキを作成 新聞・ラジオでも告知

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県赤十字血液センター	H24.10.10	献血ルーム移転	献血ルームSAKURAMBO		施設面積を1.7倍に拡張し、待合、休憩、受付のスペースをゆったりと確保して、10ベッドから12ベッドに増設し、待ち時間の短縮と献血者の受入数の拡大を図った。	

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H24.10月～	採血所のパネル設置	福島県赤十字血液センター	献血者	萌えキャラグランプリで金賞を受賞したご当地のキャラクターの等身大パネルを作製して採血所に設置。	ポスターも作製して活用。採血所の雰囲気明るくなり若年層の注目も集まり、テレビの取材を受けた。

## 【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H24.10.4	津田沼献血ルーム移転	津田沼献血ルーム	各年齢層の献血ご協力者	流行のカフェのような内装で、ゆったりくつろいでご協力いただける空間を目指す。	地元紙や地元TVで紹介される。

## 【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	通年	環境改善	献血会場・献血ルーム	幅広い年代層の献血者	献血者にゆったりとした気分で献血にご協力をいただけるよう受入れ環境の改善を図った。	献血ルームの改修や移動献血会場のイメージアップを図った。

## 【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	H25.1.13	テレビ媒体による献血PR		一般	県の広報番組において、県民へ「はたちの献血」キャンペーンを周知するとともに、献血に対するイメージを向上させ、幅広い世代から献血に協力いただくことを目的として実施した。	冬季の献血者確保に貢献した。
	H25.3.1～H25.5.31	テレビCMによるPR		一般	献血未経験者に対して献血に対する疑問・不安の解消等、マイナスイメージを払拭することを目的に実施した。	
	H25.1.12～H26.1.17	シネアドスクリーン広告		一般		

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県赤十字血液センター	H24.4～H25.3	季節に合わせた献血会場の飾り付け	血液センター	献血者	季節に合わせて、献血会場に手製キルトの飾り付けを行い、訪れる献血者を楽しませる。	献血者に好評だった。
	H24.4～H25.3	献立レシピの掲示	献血ルーム	献血者	栄養士監修のもと、健康に役立つ献立レシピを毎月紹介する。	低ヘモグロビン量の方や、肝機能数値の高い方、高血圧の方向け等、種類を増やしている。

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県赤十字血液センター	平成24年9月13日	献血ルームの新規オープン	甲府献血ルーム	—	献血ルームの新規オープンすることにより、新たな献血者層の掘り起し	落ち着きと開放感のある献血ルームの周知
	平成24年4月～	サッカー(J2)クラブとのコラボ	—	県民	ポスター、コラボグッズ作成・配布により、サッカーファン及び県民への呼びかけ	県民への周知

## 【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長野県赤十字血液センター	H25.3.28(開所式)	献血ルームの移転	長野献血ルーム	県内外の献血者	「長野市は、古くから門前町として栄え、閑静で情緒あふれる街並みを今も残している。そんな日本の伝統的な風情を取入れ、訪れた方がゆっくりとくつろいで献血していただけるルーム作りを目指す。若い方や家族連れが、善光寺への行き帰りにお休みいただけるような空間を創造する。」をコンセプトとする。	

## 【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H24.4月～H25.3月	検診車の稼働	各献血会場	献血者	屋外で受付を実施している献血会場を中心に検診車の稼働を増やし、献血者への環境面でのサービス向上を目指した。	

## 【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県赤十字血液センター	H24.7.27	柿田川献血ルームのオープン	献血ルーム・柿田川	献血者	集客の多い場所へ移転し、キッズルームを設ける等	移転前の献血者数から大幅に増加した

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	通年	献血ルーム四条の整備	献血ルーム四条	府民	京都で一番広い献血ルーム。キッズスペースの設置等	

## 【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府赤十字血液センター	H25.4.4～	あべの献血ルーム開所予定	あべの献血ルーム KiZooNa	府民	付近の商業施設や地元の商店街、自然があふれる動物公園など、多彩な表情を持つ街「あべの」。自然と地域特性を取り込み、多種多様な生物の命がこの場所につながることをコンセプトとして、設置を準備した。	

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.12～	SAVE LIFEキャンペーン(若年層献血キャンペーン)	各献血ルーム	幅広い年代層	若年層キャンペーンに合わせ、けんけつちゃんグッズを満載したガチャポンの配置や明るいポップの掲示により、楽しい雰囲気作りに努めた。	初回献血者にも、気負うことなくお立ち寄りいただける会場作りに役立っている。

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県赤十字血液センター	随時	各種イベントの実施	固定施設	全献血者(メール会員優先)	マッサージ、カラーセラピー、まつげエクステ、タロット占い等	イベントを楽しみに来所される方も多い。平日の献血者の数が全体的に上がった。
	随時	雑誌、漫画等の整備	固定施設	全献血者	献血者のリクエストを反映した雑誌、漫画等の購入	献血後に雑誌・漫画を読みながらゆっくり休憩を取られる方が増えた。

## 【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	通年	採血室のイメージアップ	鳥取県赤十字血液センター	献血者	献血者の方に趣味の写真を募集し、採血室内に展示することで明るい雰囲気確保している。	献血者の方から定期的に写真の提供がある。

## 【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県赤十字血液センター	H24. 10	血液センター待合ホールの改装	島根県赤十字血液センター	献血者	約20年ぶりに血液センター待合ホールのテーブル、ソファ、テレビボードを一新し、明るくモダンな待合ホールとなった。インターネット用パソコンを2台設置し献血者へのサービス向上を図った。	待合ホールのが明るくなったと献血者から好評であった。

## 【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H24.10.10～H25.3.31	献血ルームの移転オープン	表町出張所	全県民	献血者の導線を鑑み、受付から休憩までをワンフロアとした。また、キッズスペースの新設、ベッドの増床、ゆったりとした休憩スペースを確保することにより利便性を充実させた。	定休日を廃止したこともあり、2月末献血者数が18,027名(対前年比106.5%)となった。

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H24.4.22	広島LC:カープ献血デー	マツダZOOM・ZOOMスタジアム		野球場での献血参加	
	H25.3.25	RCC中国放送:カープ鯉祭り	マツダZOOM・ZOOMスタジアム		野球場での献血参加	

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H24.3	検診車増車	献血会場	献血者	1台増車したことで、街頭献血等検診・接遇スペースがない会場の献血日程の確保が容易になった。	特に、夏・冬街頭献血の環境整備が整った。
	H24.12.19	Daytime Street 公開生放送 in 山口県赤十字血液センター	山口県赤十字血液センター	県民	血液センター内で、FM山口の番組を公開生放送し、献血啓発を図った。	当日の献血者数が増加した。

## 【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県赤十字血液センター	通年	ラッピングバスの運行	採血車の運行経路	一般	採血車の車体にけんけつちゃんを描き、一般向けに、献血及び献血車の親しみやすさを訴えた。	
	通年	「献血ルーム アミコ」のリニューアル	献血ルーム アミコ	一般	献血ルームアミコの移転に伴い、総面積が3倍と広くなり、ベッド数は6床から10床へ、またキッズスペースも設けた。採血するルームからは、市のシンボルである眉山が見渡せるようになり、非常に過ごしやすいルームとなった。	献血ルーム アミコでの平成24年度献血者数12,926人

## 【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県	H24.4.～H25.3	献血カード入れの配布	県、各市町及び香川県赤十字血液センター	県民	表面にけんけつちゃんと標語、裏面に新しい献血ルームの地図等を印刷し、地域献血時や成人式等で配布してもらい、献血ルームのPRを行った。	献血ルームのPRになっている。

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	常時		愛媛県大街道献血ルーム		献血ルームの休憩室外壁を各種サークル等の広報用に一部開放し、若年層への取り込みを図った。	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	イベント時におけるキャンペーン	各イベント会場	一般市民	各種イベント会場において献血を実施する際は、その会場や時期、イベント内容にあった装飾などを施した。	祭り感覚での装飾であるため、比較的献血会場に寄り付きやすくなっていた。
	平成24年11月～	ホークスファミリー応援団	各イベント会場	一般市民	福岡ソフトバンクホークスファミリーによる献血啓発運動を実施。併せてオリジナルタンブラーを進呈。	親子連れの参加が多くなった。

## 【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	年度全般	検診車(マイクロバス)の活用	各献血会場	一般献血者	夏場・冬場の献血条件の改善	安全で快適に事前検査が行える

## 【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	H23.8～	検診車の導入	献血会場受付	献血者	献血会場において、受付場所(採血車への待ち合い)及び検診スペースが確保できない場合に活用。検診車による献血待ちのスペースを確保することによって、献血の順番待ちをされている方の環境改善を図る。また、混雑が予想される会場においては、同車内での検診によってプライバシーの確保を図る。	献血の順番待ちをされている方の環境改善及び、混雑が予想される会場での献血者に対する検診時のプライバシー確保が図れた。
	H25.1.14	はたちの献血キャンペーンイベント	下通り献血ルーム	献血者及び一般	キャンペーンイベントを通じ、繁華街である下通り献血ルーム前で学生ボランティア約40名による献血呼び掛け実施。 当日は、本県の広報部長“くまモン”と地元J2サッカーチームマスコット“ロアッソくん”の1日所長と献血呼び掛け、更に、ロアッソ熊本の選手も参加しての献血呼び掛けを実施。	人気キャラクターや地元のプロサッカー選手を活用したことによる話題性と献血のイメージアップ並びに協力につながった。
	H25.2.23	Love in Action ご当地イベント in Kumamoto	イオンモール熊本	一般	血液事業本部が主導するLove in Actionプロジェクトにより、人気Djやミュージシャン等を通して、若者を中心とした広く一般に対し、献血の必要性和献血協力のメッセージを伝えた。	有名人の活用により、献血に興味が無かった人達に対しても、献血の必要性を理解してもらえたことと思われる。

## 【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	通年	サロン車(検診車)の活用	献血会場	献血バスの献血車	献血バスの待合室として受付以降の機能を備えたサロン車を配備。	

## 【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H24.8	町内会祭りでの献血広報	各市町村	地域住民	町内会祭りにて献血の必要性、重要性を啓蒙し、献血への理解を図る。	夏祭り会場で赤十字のブースを設け来場者へ現在の血液事業の現状をパンフレット類を配付した

## 【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H24.5.6	検診車2台購入		県民一般	老朽化の為、新車2台を購入、ソーラー電源によりテレビ、クーラーの使用が出来、機能面の充実を図る	
	H25.3.27	新くもじ献血ルーム移転オープン	久茂地セントラルビル3階		事前広報等の周知等でオープン5日間で466名の方に来て頂いた	

## ⑦若年層献血者数の増加

### 【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H25.2.4～3.28	ラジオ放送	Air-G FM北海道放送圏内	若年層を中心に幅広い世代	「LOVE in Action AIR-G' edition ～はじめYo! けんけつ北海道献血カレッジ～」をタイトルとし、献血に関する知識を職員が講義する。	キャンペーンに対する効果測定では、600人を対象として認知度18%と、費用対効果では良い結果となった。
	H24.11.11	LOVE in Action ご当地大作戦in札幌	イオンモール札幌発寒	若年層を中心に幅広い世代	当開催場所にてフリーアナウンサーの小林麻耶氏Air-G' DJ 高山秀毅氏をMJに北海道出身のお笑い芸人「アップタウン」、シンガーソングライターの「YU-A」を招き献血に関するトークショー等を実施し献血啓発を促した。また、献血バスの配車。	イベントの集客、献血とも多くの参加をいただいた。
	H24.11.5	全国高校訪問キャラバン(Let's GAKUKU)	釧路私立武修館高等学校、中学校	高校生、中学生	当校での献血実施前日に献血に対する意識を高めることを目的として実施。LOVE in Actionプロジェクトリーダーの山本シュウ氏を招き、若者に訴える内容の講演をしていただいた。また、私たちの献血キャンペーンキャラクターである女優の南沢 奈央氏からのメッセージビデオも上映した。	献血実施当日にはイベント効果もあり、多くの協力をいただいた。

### 【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H24.6.1～6.30 H24.12.8～12.30	若年層献血依頼	全施設	16～29歳の献血依頼可能者	採血基準改正に該当する年代を中心に、採血基準改正のリーフレットと記念品引換券を同封し、献血依頼をした。	併せて6,031通発送 応諾人数481人 応諾率8.0%
	H24.9.8～9.23	ファッション甲子園写真展	各献血ルーム	高校生	各献血ルームでファッション甲子園大会の写真展を開催し、大会パンフレットに献血広告を掲載して献血の協力を呼びかけた。	1,280名の協力 内10～20代282名で22.0%
青森県赤十字血液センター	H24.10.1～25.3.31	高校訪問	献血未実施高校・休眠高校	各校長・養護教諭	県の担当者と一緒に献血未実施高校及び休眠高校を訪問し、25年度からの献血実施・献血セミナーの開催を依頼した。	県内18高校を訪問(実施に向けて検討してくれる高校多数あり)
青森県	H25.1～H25.2	はたちの献血キャンペーン	全県	はたちを中心とする若年層	キャンペーンのポスターを市町村や学校等の関係団体に配布した。また、県内のコンビニエンスストアにポスターを掲示した。	県内110箇所に配付。コンビニエンスストア233箇所に掲示。
青森県赤十字血液センター	H25.1.20 H25.3.3	若年層献血者確保イベント	サンロード青森 イオンモールつがる柏	若年層を中心に幅広い年代	県内で有名なタレント・歌手を呼んで、献血の必要性の話し、ゲストとの献血トーク、献血クイズ、じゃんけん大会等を行い、献血バスを配車して、献血への参加を呼びかけた。	2回実施 採血102名
青森県	H25.3	若年層向けパンフレット作成	県内全高等学校、大学等	高校生、大学生	県内の全高校1年生に対し若年層向けパンフレットを配布するとともに、全大学にも配布した。	27,000部作成
	H24.5～H25.3	フリーペーパーによる広報	フリーペーパー3誌	県民	フリーペーパーに広告を掲載し、周知を図った。	計8回掲載
	H24.4～H25.3	県の広報番組による広報	テレビ、ラジオ、メルマガ、インターネット映像番組	県民	県の広報番組を利用して周知を図った。	テレビ1回、ラジオ12回、メルマガ2回、インターネット番組1回

## 【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	平成24年5月～平成25年3月		県内高等学校	高校生	学内において献血の実施	74校で80回実施し2,585名の協力があった。
	平成24年4月～平成25年2月		県内大学	大学生	学内において献血の実施	5大学で21回実施し997名の参加があった。
	平成24年4月～平成25年2月		県内専門学校	専門学校生	学内において献血の実施	21校で35回実施し1,412名の参加があった。
	平成24年7月21日 平成24年8月4日	学生夏の献血イベント	大型ショッピングセンター	一般県民	大型ショッピングセンターで、学生奉仕団による若年層への呼びかけ	来店者に対し広く献血の呼びかけができた。
	平成24年4～5月	高等学校訪問	各高等学校	保健担当教諭等	保健所・市町村・血液センターの三者で県内高等学校を訪問し、献血への理解と協力要請を行った。	74校で80回実施し2,585名の協力があった。
	平成24年12月	献血啓発テレビスポットCM制作・放映	県内	若者を中心とした県民全般	県内民放4社で県が制作した献血啓発テレビスポットCMを制作し献血思想の普及啓発実施	放送回数 120回

## 【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県	平成24年12月3日	Date Fm Teen's Action2012 ～献血ルームで待ってるぜい!!～	仙台RENSA	10代・20代の献血者及び一般公募	若年層を対象として、イベントを実施する事により献血啓発と献血ルームを周知する。	約200名の参加があった。

## 【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	H24.12.17～25	クリスマス献血キャンペーン	献血パークるうぶ、献血ルーム、献血ステーション	献血協力者等	若年者の既献血者を中心にDMを送り献血の依頼をした。	ハガキ・ポスターを作成
	H25.2.1～14	バレンタイン献血キャンペーン	献血パークるうぶ、献血ルーム、献血ステーション	献血協力者等	若年者の既献血者を中心にDMを送り献血の依頼をした。	ハガキ・ポスターを作成
	H25.3.1～14	ホワイトデー献血キャンペーン	献血パークるうぶ、献血ルーム、献血ステーション	献血協力者等	若年者の既献血者を中心にDMを送り献血の依頼をした。	ハガキ・ポスターを作成
	H25.2.17	はたちの献血 in ALVE	秋田市民交流プラザ ALVE(アルヴェ)	献血協力者等	はたちの献血キャンペーンの一環として実施。普及啓発を行うとともに献血バスを設置し、献血にご協力いただいた。	チラシ・ポスター・ハガキを作成 新聞でも告知
	H25.3.10	秋田献血大作戦	秋田市にぎわい交流館AU(あう)	献血協力者等	秋田ゆかりのタレントに出演していただき、若年層献血の普及啓発を行うとともに献血バスを設置し、献血にご協力いただいた。	チラシ・ポスター・ハガキを作成 新聞・ラジオでも告知
	H24.11	情報誌に掲載		県民	秋田市を中心に情報誌「エークラス」に若年層献血普及啓発及び固定施設の案内イベント告知等を掲載した。	広く県民の皆様へ告知し好評だった
	H25.2	情報誌に掲載		県民	秋田県内を対象に情報誌「あきたタウン情報」に若年層献血普及啓発及び固定施設の案内イベント告知等を掲載した。	広く県民の皆様へ告知し好評だった

## 【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	H24.7.17～H24.10.26(応募期間)	献血推進ポスターコンクール		中学生・高校生	制作過程を通じて献血の必要性、重要性を認識してもらい、入賞作品を展示することで、献血普及啓発を図った。	ポスター応募数:79点
	H24.4.1～8.31(放映) H24.12.1～H25.3.31(放映)	献血啓発CM放映事業	映画館「MOVIE ON やまがた」(山形市)	映画館観客	若年層の多く集まる映画館において、献血を呼びかける啓発CMを放映し献血の普及啓発を図った。	
山形県赤十字血液センター	H24.6.17～6.18	大学祭プログラムへのルーム広告掲載	山形県立保健医療大学	山形県立保健医療大学生	献血ルームの周知を目的。学生のみならず、一般来場者にも配付されることから広く「献血」を周知を図った。	
山形県赤十字血液センター・山形県	H24.10.28	モンテディオ山形ホームゲームにおける献血啓発活動	NDソフトウェアスタジアム山形	モンテディオ山形サポーターを中心とした若い世代	モンテディオ山形ホームゲームの観戦者に対し献血啓発資材の配布等を行うことにより、献血の啓発を図った。	
山形県赤十字血液センター	H25.3.9～3.10	佐藤唯の献血さ来てけろ	山形駅前出張所・イオンモール三川(非公開・公開ラジオ収録)	若者を中心とした幅広い世代	国が掲げている「献血推進に係る新たな中期目標について～献血推進 2014～」の目標達成に向け、各都道府県における若年層献血率を上げることを目的に行った。	
	H24.8月(計3日4会場)	サマーキャンペーン	各献血会場・なのかまち献血ルーム	県民	東北6県の各血液センターに所属する学生献血推進ボランティアが中心となり、夏場の血液不足を補うため、広く献血の協力を呼びかけるとともに、特に若年層に対する献血の理解と協力を求めることを目的に行った。	5会場で受付553名、採血470名
	H24.12月(計4日5会場)	クリスマスキャンペーン	各献血会場・献血ルームSAKURAMBO	県民	学生による全国統一のキャンペーンを12月に行うことにより冬場の血液不足を補う手段の一つとする。また、若年層への献血の理解と協力を促すことを目的に行った。	4会場で受付424名、採血343名
	H25.1.14	1日ルーム長	献血ルーム「SAKURAMBO」	県民	モンテディオ山形2選手による1日所長を実施。献血の呼びかけや、献血実施者への声掛け、またトークショーと献血に関する内容盛りだくさんで広報活動を実施した。	マスコミにも取り上げられ、広く周知がなされた

## 【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H24.7.4～H24.9.7(作品募集) H24.11.16(審査会)	ジュニア献血ポスターコンクール	県内全中学校	県内全中学校	県教育委員会の協力の下に、中学生を対象とした献血基礎知識の啓発を兼ねたコンクール。優秀作品を用いたポスターを中学校に配布し、献血思想の普及啓発を図る。	
	H24.10月～	若年層献血者確保対策	各採血所	10代、20代	「私たちからはじめよう」をスローガンに小峰シロをキャラクターに活用して記念品等を作製し、献血者へのプレゼントとした。	新たな切り口から新しい献血者層の獲得ができた。
	H25.1.26	若年層献血者確保対策イベント	イオンフェスタ郡山店	専門学校生・大学生	学生が主体となりイベントを開催。地方紙2紙及び地元ラジオ局で複数回事前広報を実施。	事前の広報の段階でイベント内容についての問い合わせが多数寄せられた。
	H24.10月 H25.3月	献血ルームの待合室の充実	福島市、郡山市、会津若松市、いわき市の各献血ルーム	10代、20代	学生の意見を取り入れて人気漫画コミックを3種全巻各献血ルームに設置。	ホームページや学生間の口コミから献血ルームの若年層の献血者が増加した。
	H24.12.22～H24.12.25	クリスマス献血キャンペーン	街頭献血会場	10代、20代	学生ボランティアにより同世代の若年層に向けて啓発活動を実施。	

## 【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	平成24年8月21日	献血サマーキャンペーン	ショッピングセンター	買い物客	献血クイズ・抽選会を実施し若者に献血を呼びかけた。	献血者 60名
	平成24年2月11日	バレンタイン献血キャンペーン	ショッピングセンター	買い物客	けんけつちゃんの着ぐるみを着て若者に献血を呼びかけた。	献血者 61名
	平成24年11月11日	J2ホーリーホックとサッカー教室	水府グランド(水戸市)	小学生	サッカー教室開催時に血液の必要性を呼びかけた。	小学生120名、保護者80名
	平成24年12月1日～平成25年3月31日	ヤング献血キャンペーン	各献血会場	10代から20代の献血者	期間中献血の協力者には記念品「ショットノート」進呈	
茨城県赤十字血液センター	平成24年10月1日～平成25年3月31日	高校献血キャンペーン	献血実施高等学校及び献血ルーム	高校生	ポスターコンクール及びアンケート・献血者に記念品進呈	
	平成24年11月1日～平成25年2月28日	はたちの献血キャンペーン	専門学校・大学・献血ルーム	平成24年度中に20歳を迎える新成人	成人式会場や大学等でチラシを配布し、キャンペーン期間中新成人及び同行者に記念品進呈	

## 【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
栃木県	平成25年1～2月	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマズ宇都宮	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送、新聞広告、県内1か所の映画館でシネアドの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	・新成人へのリーフレット配布数 22,260枚 ・シネアド放映日数 28日間

## 【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	平成24年9月23日	ザスパ 試合献血	正田醤油スタジアム	一般来場者	Jリーグのサーカーの試合会場に採血車を配置。入場者に献血に関するグッズを配布。また試合の開始前、ハーフタイムに献血のアピールを行った	
	平成24年11月18日	パナソニックワイルドナイツ選手握手会	太田献血ルーム	ワイルドナイツファンの方や若年者から成人と幅広い年齢層の来場者	地元実業団ラグビーチーム(パナソニックワイルドナイツ)選手による献血ルーム内多目的室で握手会やトークショーで献血啓発を図り、選手との交流を図った	
	平成24年12月2日	パナソニックワイルドナイツ試合献血	太田陸上競技場	一般来場者	ラグビートップリーグの試合会場に採血車を配置。ハーフタイムには放送を実施し献血のアピールを行った	
	平成25年1月13日	はたちの献血街頭キャンペーン	イオンモール太田	一般	はたちの献血街頭キャンペーンでの献血者への呼びかけを高校生、大学生から呼びかけを行った。また地元アイドルグループやスポーツ選手のトークショーなどを行い若年者の献血への誘導を行った	
	平成25年1月17日	薬物乱用防止教室	高崎市中室田小学校・	小学校4.5.6年	献血協力団体であるライオンズクラブの方に同行し薬物乱用防止教室の合間に献血の大切さを話した	
	平成25年1月30日		高崎市箕郷東小学校	小学校6年		
	平成25年1月	中学生への啓蒙啓発	県内各中学校3年生	中学3年生	県内中学3年生全員に『あなたのやさしさで助かる命があります。献血』クリアファイル配布	
	平成25年2月～3月	いっしょに献血キャンペーン	県内高校3年生、大学、短大	高校3年生、大学、短大生	県内高校3年生全員に献血に行く『USBメモリ』がもらえる引換券がついたチラシを配布。大学短大には同チラシを設置	
	平成25年2月11日	吹奏楽演奏会	渋川市民会館	一般来場者	市民吹奏楽団と中学生の合同演奏会の休憩時間でのいのちをつなぐ献血DVD上映、所長からの挨拶、	

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県赤十字血液センター	平成24年5月13日	赤十字ふれあい広場	イオンモール羽生	県民	赤十字事業を広く県民にアピール	献血者数 209人
	平成24年6月14日	世界献血者デー	移動バス及び県8ヶ所献血ルーム	県民	6月14日が世界献血者デーであることを広く県民にPRするとともに、献血に協力いただいた方々に感謝する。	献血者数 827人
	平成24年7月-8月(第5期) 平成25年2月-3月(第6期)	献血ゆる玉応援団による「献血ありがとう」キャンペーン	県内8カ所献血ルーム	若年層(10代-20代)	献血協力者に、ゆる玉応援団関連グッズ(携帯ストラップ、クリアファイル)をプレゼント	携帯ストラップ3870個、クリアファイル2216枚を配布。400ml献血者が前年比512人増加した。(第5期)
	平成24年7月27日	愛の血液助け合いの集い	さいたま商工会議所会館	表彰、感謝状の受賞者	献血功労団体や献血推進ポスター優秀作品の表彰や、献血に関する看護体験発表などを行い、献血への理解と協力を求め、献血普及を図った。	若者から若者へ献血協力の輪が広がった。
	平成24年8月28日(イベント)		イオンレイクタウンMori	若年層を中心に幅広い年代	ポスターコンクール優秀作品95点の展示、大学生・高校生ボランティアによる献血協力の呼びかけ	
	平成24年4月5日-22日(受付) 平成24年7月27日(表彰)	献血推進ポスターコンクール	県内	県内中学生	献血推進用ポスターの原画を募集し、最優秀作品を「愛の血液助け合い運動」ポスターとして計900枚作成し、県内中学校や市町村、県警等に配布した。	応募総数 602枚
	平成24年12月1日-25日	クリスマス献血キャンペーン	県内8カ所献血ルーム	若年層を中心に幅広い年代	平成24年12月23日、本川越駅前にて埼玉西武ライオンズ選手によるトークショー、写真撮影会等を行い広く献血を呼び掛けた。	献血者数(イベント3ヶ所) 471人
	平成24年12月23日(イベント)		本川越駅前ペペ広場、イオンモール川口前川、イオンモール羽生			
	平成25年1月1日-2月28日	はたちの献血キャンペーン	県内8カ所献血ルーム	新成人	献血協力者に記念品をプレゼント。成人式会場で献血啓発パンフレットを配布。	啓発パンフレット32000枚
	平成25年1月14日(イベント)		イオンモール与野	新成人を中心に幅広い年代	大学生ボランティアによる献血の呼びかけ	献血者数(イベント) 57人
平成25年2月1日-4月30日	卒業献血キャンペーン	県内8カ所献血ルーム	高校卒業予定者	県内高等学校に対してリーフレットの配布及びポスター掲示を依頼し、卒業記念の献血推進を依頼した。		
平成25年3月29日(イベント)	Heart Beat Festa	大宮ソニックシティ	県内の高校・大学・専門学校に在籍する若者	パフォーマンス大会。参加者(パフォーマンスチーム)が献血を呼びかけるメッセージを発信した。		

## 【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県	H24.7月～H24.9月	献血推進啓発ポスター募集	県内全域	県内の各高校生及び中学生	千葉県主催により、献血啓発作品(ポスター)の募集を募り、県知事並びに血液センター所長から賞状と記念品を授与した。	県内の中学・高校に募集し、中学78校(536作品)高校13校(77作品)の応募があった
	H24.4月～	中学生向けテキストの作成	県内全域	千葉県下の中学3年生	平成23年度献血推進ポスターの中学生の部最優秀賞の作品を活用し、テキストを作成	献血可能年齢前からの広報により献血への理解を深めていただく
	H25.1月～	リーフレットの作成	県内全域	成人式や保健所等の窓口で配布	平成24年度献血啓発推進ポスターの高校生の部 最優秀賞の作品を活用し、リーフレットを作成	
千葉県赤十字血液センター	通年		県内の SHIPPING センター	若年層を中心に幅広い年代	さまざまな推進団体に広報等をお願いし、室内を借用しての出張採血スタイルで献血を実施することで多くの献血者の確保ができ、若年層の増加にも繋がる。	着ぐるみ(けんけつちゃん等)でのPRをすることにより集客効果があった
	下期	若年層献血者確保対策	学域献血会場	大学生	献血会場でイベント(抽選会等)を実施	12大学(27会場)で実施し好評であった
			県内全献血会場	16歳～29歳	16歳～29歳までの方を対象に複数回献血くらぶ既登録者及び新規登録者に限定記念品を差し上げる	献血者 3,354名
千葉県 千葉県赤十字血液センター	H24.10.25	千葉県献血感謝のつどい	千葉県文化会館	県内献血推進協力団体及び献血推進啓発ポスター受賞者	千葉県主催により、献血啓発作品(ポスター)の募集を募り、県知事並びに血液センター所長から賞状と記念品を授与した。	県内の中学・高校に募集し、中学78校(536作品)高校13校(77作品)の応募があった

## 【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	24.8.5	東京都学生サマー献血キャンペーン	池袋駅・上野駅・南大沢駅	一般・学生・参加学生	各キャンペーンに沿った装飾や看板等学生独自のアイデアによる作成を行った。当日は、学生が主体となり献血の受入れや広報を展開した。	学生が主体となり実施。キャンペーンを通して、献血推進を行い、一般の方を含め、学生を中心に同年代の若者に対する広報を強化した。
	24.12.9、15	全国学生クリスマスキャンペーン	池袋駅・八王子駅	一般・学生・参加学生		
	25.2.11	東京都学生バレンタイン献血	JR上野駅前・上野公園	一般・学生・参加学生		
	25.3.28	中川翔子Special Live! ～献血しよう! 2013 in Tokyo～	渋谷O-EAST	献血会場の来場者を対象に応募受付(1月～3月)	若年層の集客を目的に人気のあるタレントを代理店を通じて起用しイベントを開催。募集にあたっては、テレビCMのほか、携帯メールクラブの10代、20代会員へイベントを情報を配信。	イベント会社を通じてTVCM(MXTV)・タレント本人のツイッターやブログによる広報等で周知をはかり約8000名の応募。
日赤都支部 (東京都補助金)	25.1～25.2	コンビニエンスストア内のレジポップ及びBGMによる広報	ファミリーマート、ローソン、サークルKサンクスの都内店舗	一般、学生	はたちの献血キャンペーンについて、レジポップ及び店内BGMで広報を行った。	店内BGM合計6,532回 レジポップ合計7,080回
東京都	24.7 25.1～2	夏期、冬期のキャンペーン時にポスターを作製(B3サイズ)	大学、高校、専門学校に掲出を依頼	学生、教員、保護者等	オリジナルポスターを学校に配布するとともに、JRや地下鉄の中刷広告を実施した。	1,200校に送付
東京都	24.11～24.12	はたちの献血キャンペーン時に引き換える、記念品引換券の配布	各大学の献血会場	学生・大学関係者	血液センターとは異なるジャンルの記念品(レトルトカレー等)を若年層を対象に配布	
東京都	25.1～25.2	街頭ビジョン	新宿、渋谷、秋葉原、有楽町、池袋、立川の6か所の7ビジョンで放映	一般、学生	献血ルームがあり、若者が多く集まるターミナル駅前のビジョンで、キャンペーンCMの放映を行った。	
東京都	25.3	トレインチャンネル	都内のJR車内で放映	一般、学生	けんけつちゃんを用いたCMを作成し、放映	

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県 神奈川県赤十字 血液センター	平成24年4月1日～5月31日	春のかながわ献血キャンペーン	神奈川県内	新社会人及び新大学生を 中心に広く県民を対象	「献血の絵」ポスター展最優秀作品を活用したポスター を作成し、市町村、保健所、大学、高等学校、県経営者 協会会員等へ配布、県広報紙、ホームページ、毎日新聞 等で広報を行い、広く県民へ普及啓発を図った。	
神奈川県赤十字 血液センター	平成24年9月29日	ボラフェスタinKANAGAWA2012	日本丸メモリアルパーク	県民(およびボラフェスタ参 加大学等学生)	県内のボランティア団体が一堂に集まり、ボランティア の輪を広げ、県民に意識の普及を図ることを目的として 開催。 ボランティア活動としての献血をPRすることにより、幅 広い年齢層(特に若年層)に献血推進への協力的基盤 を築くことを目指す。(FMヨコハマ特別番組の生放送と 連動して、広く県民にボランティア精神や献血思想を普 及する)	FMヨコハマの公開放送を通じて 広く県民に献血の必要性を訴え る事が出来た
神奈川県 神奈川県赤十字 血液センター	募集期間:平成24年9月3日～ 14日 表彰式:11月24日 展示会:11月下旬～1月上旬	小中学生献血の絵ポスター展	県立音楽堂(表彰式)、神奈川県支 部(展示)、横浜新都市ビルシビル プラザ(展示)	県内小中学校(応募総数 204校 1,372点)	将来の献血者である小中学生を対象に「私たちと献血」 をテーマにポスターを募集、入選作品は表彰式で表彰	県業務課より県内全公立小中 学校へ周知し204校から応募があ った
神奈川県赤十字 血液センター	平成25年1月1日～2月28日	はたちの献血キャンペーン(全社行 事)	各献血ルームおよび各献血会場	新成人を中心に幅広い年 代	各献血会場でポスター等により周知、FMヨコハマ番組 にて周知、スポーツチームコラボ献血イベントにて選手 PR、街頭献血会場にて青年学生奉仕団が広報PR	
神奈川県 神奈川県赤十字 血液センター	平成24年10月1日～平成25年3 月31日	10代20代はじめて献血キャンペーン	各献血ルームおよび各献血会場	10～20代の初回献血者 ※1月から全世代に拡大	16歳～29歳の初回献血者ならびに左記血者の紹介者 を対象に実施	県を通じて各自治体や県内各高 校大学に周知
神奈川県赤十字 血液センター	平成25年3月1日～3月31日	横浜献血キャンペーン「これからもY OKOHAMA」	横浜市内献血ルーム	若年層を中心に幅広い世 代	横浜駅東口献血ルーム開所5周年を機に横浜F・マリノ スとコラボしてポスターや記念品などを展開	駅前でけんけつちゃん着ぐるみと の撮影会イベントでPR

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
	H24.12	はたちの献血キャンペーンの広報 (CMの放送依頼)に係るマスコミ訪問		テレビ、ラジオ各局	県、血液センターで県内のマスコミ各社を訪問し、献血 への理解と協力、CM放送依頼を行った。	
	通年	学校訪問		高等学校、中等教育学校	県、市町村、血液センターで高等学校等を訪問し、献血 への理解と協力を依頼した。	
	H24.5.12～5.13 H24.10.13～10.14	「古町どんどん」(商店街イベント)で の献血PR	新潟市古町通り			延べ25名の学生ボランティアに 参加していただき、PR場所近隣 の献血ルームで多くの献血者か ら協力いただいた。
	H24.12.23	クリスマス年末年始献血呼びかけ献 血キャンペーン	新潟市万代シティ	若年層を中心に幅広い年 代	学生ボランティアが街頭献血キャンペーンを実施し、献 血への協力を呼びかけた。	高校生と大学生合わせて171名 のボランティアに参加していただ いた。また、当日会場に献血バス を配車し、会場と隣接する献血 ルームと合わせて230名の受付 があった。(バス73名・ルーム1 57名)

新潟県	H24.5.26	街頭献血PR活動	MEGA.ドン・キホーテ柏崎店、			青年赤十字奉仕団加盟校による、献血PR活動を実施。
	H24.12.29	街頭献血PR活動	しばたショッピングセンターコモタウン			青少年赤十字加盟校による、献血PR活動を実施。
	H25.1.1～3.31	JR駅設置のJ・ADビジョン	献血ルーム最寄JR13駅	高校生、大学生、専門学生	通学に利用する高校生及び大学生・専門学生の乗降の多い各駅と車両に、献血ルームのイメージアップを目的に実施した。	
		JR車両のドア上ポスター掲示	JR車両			
	H25.2.13	「はたちの献血」&プレバレンタイン献血キャンペーン	イオンモール新潟南	若年層を中心に幅広い年代	「はたちの献血」キャンペーン期間中に学生ボランティアが献血への協力を呼びかけた。	10名の大学生からボランティアに参加していただき、当日会場に配車した献血バスに78名の受付があった。
随時	若年層ターゲットの雑誌への献血情報掲載		10代、20代	若年層をメインターゲットにしている雑誌に献血ルーム紹介や献血の手順あるいは同世代の献血体験談を掲載することで「知らない」ことによる不安やマイナスイメージを払拭することを目的に実施した。		

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
富山県	H24.7	ジャンボ黒板消しの配布	県内の全高校及び高等専門学校	高校3年生	献血啓発用「ジャンボ黒板消し」を県内の高校3年生全クラスに配布。	54校、279クラスに配布。
	H24.7～9	献血推進ポスターの募集		県内の小・中学生	県内の小・中学生を対象に、献血推進ポスターを募集し、優秀作品を表彰。	未来の献血を担う児童、生徒に対し献血への理解を深めることができた。
富山県 富山県赤十字血液センター	H25.1.11	「はたちの献血」キャンペーン街頭活動	JR富山駅前	一般県民	啓発資材(ポケットティッシュ)を街頭で配布。	若年層をはじめ、広く県民に献血を呼びかけることができた。
富山県	H25.1.1～1.31	駅コンコース踏込広告の設置	JR富山駅前コンコース	一般県民	「はたちの献血」キャンペーン期間中に駅コンコースへ献血を呼びかける広告を設置。	若年層をはじめ、広く県民に献血を呼びかけることができた。
	H25.1～2	献血啓発ラジオスポットCMの放送	FMとやま	一般県民	ラジオを聞く機会が多いと思われる若者に向けた献血啓発CMを放送。	20回放送。
	H25.1.30～2.5 H25.2.8～2.14	献血推進ポスター優秀作品の展示	県内の大型ショッピングセンター	一般県民	献血推進ポスターの優秀作品の展示を行い、献血思想の普及を図った。	若年層をはじめ、広く県民に献血を呼びかけることができた。
富山県赤十字血液センター	H24.4.15	Love in Actionご当地大作戦inとやま	イオンモール高岡	一般県民	FMとやまラジオ公開生放送、歌手LOVEさんのミニライブ、プロスケーター村主章枝さん・南沢奈央さんのトークショーなどを行い、献血意識の向上に努める。	日本赤十字社主催。
	H24.10～H25.2	高校生400mL献血キャンペーン	各高校献血会場	17歳・18歳400mL献血者	各高校献血会場にて400mL献血者にAKBクリアファイルを配布し400mL献血推進を図る。	400mL献血者:481名

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県	募集 H24.7.1～10.31 表彰式 H24.12.20 展示会 H24.12.5～H25.1.11	献血ポスターコンクール	県庁特別会議室	県内中学生	県内中学生を対象に、献血に関するポスターの公募を行い、献血できる可能年齢に達した際にも、献血に対する抵抗が少なくなることを期待する。	26校312名の応募があった。
	H25.1	新成人対象献血啓発	各市町成人式会場	新成人	成人式出席者に啓発資材を配布する。	
石川県赤十字血液センター	H24.6.26	石川県学生献血推進連絡会	金沢市内ホテル	大学教職員、大学生	県内の大学、短大、高専の学生及び教職員が若年層の献血推進に理解を深め、学生ボランティアの活動を支援する。	9大学、19名の参加があった。
	H24.7.1	学生七夕献血キャンペーン2012	ショッピングセンター、献血ルーム	学生献血ボランティア	浴衣やけんけつちゃん着ぐるみを着た学生ボランティアが街頭で献血を呼びかける。	当日は2会場で208名の受付、166名の献血協力があった。
	H24.8.5	東海北陸ブロック統一サマー献血キャンペーン2012	ショッピングセンター、献血ルーム	学生献血ボランティア	東海4県、北陸3県が統一スローガンを掲げ、1稼働当り受付80人を目標に、献血会場周辺で献血協力を呼びかける。	当日は2会場で172名の受付、130名の献血協力があった。
	H24.12.9、16	全国学生クリスマス献血キャンペーン2012	ショッピングセンター、献血ルーム	学生献血ボランティア	全国統一のスローガンを掲げ、サンタやトナカイの格好をした学生ボランティアが献血会場周辺で献血協力を呼びかける。	2日間4会場で416名の受付、331名の献血協力があった。

## 【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	H24.9～10	2012学園祭献血	各大学、短期大学	大学生、短期大学生	各大学において献血を実施し、若年層の献血者を確保した。	
	H24.9.15	Heart Wave Action 2012	JR福井駅西口広場	県民、学生	移動採血者による献血の協力をよびかけるとともに、事前に公募を行った「命・献血・助け合い」をテーマとした作品の表彰を行い、献血思想の普及啓発を行った。	
	H25.1～3月	「福井でかなえるDream」への掲載	福井新聞、同紙のマガジン	県下全ての高校2年生	同企画は、高2生に配布される雑誌で、企業紹介(=献血)を周知するために使用する。	
	H25.3.14	ホワイトデー特別試写会(献血感謝祭)	テアトルサンク1(シネコン)	若年層(10・20代)	主に若年層(献血経験者および未経験者)400名を集め、献血啓発・周知するイベントを行なった。	

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県	平成24年12月～	中学3年生への啓発	—	県内の全中学3年生	中学3年生に対して啓発資料の配布	中学3年生に周知
	平成25年1月	はたちの献血キャンペーン	成人式会場	県内の20歳	市町村と連携をとり成人式に出席した方への啓発資料配布	20歳の若者に周知
山梨県赤十字血液センター	平成24年5月～3月	高校集団献血	各高等学校	県下41校高校生	県下全日制すべての高校での献血。3年生及び1月よりは2・3年生対象に400ml献血の推進	年間3,000人以上の献血者確保
	平成24年8月～12月	学生献血推進連絡会主催献血	各献血会場	各大学生等	年間3回街頭献血を学生献血推進連絡会主催で行い、学生中心の献血者を集う	年間約300人の献血者確保
	平成24年12月28日～平成25年1月6日	ハートフルコネクション	献血ルーム及び街頭献血	10代・20代の若年層	血液不足が生じる年末年始に、若年層にFM局を通して献血の呼びかけ	12班で800人以上の献血者確保

## 【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長野県	6月～2月	学校訪問等による働きかけ	高等学校、短大、大学、専門学校	学生	保健所職員が学校を訪問する等により、献血についての啓発を図る。	
	6月	高校生へのリーフレット配布		高校生	高校生に献血を正しく理解してもらうため、県作成リーフレットを全高校生に配布	66,200部作成
	5月～1月	新成人献血啓発リーフレット配布	成人式会場	新成人	新成人に献血への協力を呼びかけるためのパンフレットを作成し、市町村で開催する成人式等において新成人に配布する。	24,000部作成
	4～8月	献血推進ポスター図案募集		中・高校生	中・高校生に献血思想の普及を図るため、献血推進に関するポスターを募集する。優秀な作品から献血推進ポスターとポケットティッシュを作成し、県内の電車・バスの車内に掲示する等、献血の普及啓発を図る。	応募総数179点 ポスター2,000枚作成 ティッシュ30,000個作成
	12月～2月	”けんけつ”啓発ラジオマンスリー放送	民放ラジオ1局	県民	献血者が減少する冬期に聴取率の高い時間帯の番組内で、平日毎日、同じ時間に献血への協力を呼びかけた。	放送回数：延べ65回
	7月、24.1月	ラジオスポット放送	民放ラジオ2局	県民	全国的な献血キャンペーンの期間中に民放ラジオ2局でそれぞれ7日間ずつ献血への協力を呼びかけた。	放送回数：延べ28回

長野県赤十字血液センター	7/1・7/8・7/16	学生サマー献血キャンペーン	JR長野駅前、上田市及び飯田市内のショッピングセンター	若年層を中心に幅広い年代層	学生ボランティアの献血運動の推進・理解・活性化を図るとともに、若年層への献血PRを行い、献血者の確保に努めた。	3日間の献血者213人の内、若年層献血者59人。
	12/2・12/8・12/23	全国学生クリスマス献血キャンペーン	JR長野駅前、上田市及び飯田市内のショッピングセンター	若年層を中心に幅広い年代層	学生による全国統一のキャンペーンを12月に行うことにより、冬場の血液不足を補う。また、若年層への献血の理解と協力を促すことを目的に実施した。	3日間の献血者218人の内、若年層献血者57人。
	H24.12/15～H25.3/31	「若年層献血者確保対策」に係る献血キャンペーン	県内の固定採血施設及び移動採血車	若年層	10代・20代の献血者確保対策として、「元気で人の役に立ちたいそんな10・20代 大募集」と題して献血キャンペーンを実施した。 ・フリーペーパー及び新聞へ広告掲載 ・ポスターを作成し、高校・大学・専門学校等へ提示依頼 ・ポケットティッシュを作成し、学校・街頭献血時等で配布	・期間中10代献血者934人(対前年比124.5%) ・期間中20代献血者3,789人(対前年比109.6%)

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H.24.4月～6月	高校生向啓発パンフレット配布	県内各高等学校	高校2年生	県が作成したパンフレットを、高等学校への献血推進時に配布した。	毎年行っているため、県内の高等学校全員にいきわたっている。
	H24.8月 H24.12月	サマー献血・クリスマス献血キャンペーン	献血会場(ショッピングモール、献血ルーム)	献血者	学生ボランティア主催のキャンペーン	献血者数 サマー献血3会場で199人 クリスマス献血2会場で130人
	H25.2.9	はたちの献血キャンペーンinマーサ21	献血会場(ショッピングモール)	新成人を中心に10代～20代の若年層	タレントによるトークショー、献血クイズ等で献血への理解と知識を深めてもらう。	来場者200名程
	H24.4月～H25.1月	地元J2サッカークラブとの連携した献血啓発	スタジアム、県内	若年層を中心にした全ての世代	スタジアムに献血啓発の横幕掲示。選手による献血啓発ポスターを作成し県内各地に掲示。	今までポスター掲示ができなかった場所にも掲示ができ広く啓発ができた。
	H25.1.25～H25.3.31	氷菓×献血 献血キャンペーン	献血ルーム、一部の街頭会場	若年層を中心にした全ての世代	地元高山市を舞台にしたアニメ「氷菓」とコラボした献血啓発ポスターとクリアファイルを作成し献血協力者に配布した。	キャンペーン期間中、昨年同時期と比較して、10代の献血者数が127.1%、20代が108.9%と増加した。

## 【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県	H24.5～H25.3	アボちゃんサポーター事業 大学生等献血ボランティアの育成	高等学校、大学、専門学校、各地域	県内の高校生、大学生、専門学生 県民	・県保健所の所管地域にある高校の生徒に献血ボランティア「アボちゃんサポーター」を委嘱し、学内献血や学校祭、地域の健康まつり等において献血広報活動を行うとともに、活動記録「ABOニュース」を制作した。 ・大学生等献血ボランティアの育成等について、血液センターに委託して実施した。	献血者増加、献血思想の普及
静岡県赤十字血液センター	H24.3月	若年層献血者確保対策(1629プロジェクト)	静岡県内	県民	血液センター若手職員が当該プロジェクトチームとして、若年層対策を企画し血液センター全体の取り組みとした。今回、特記することは、県内のミュージシャンと献血CMソングを作成し、県内3カ所のイベント会場でミニコンサートを実施した。TVCM(15秒)は実在する学生ボランティアを起用し民放3局で69本放送した。	献血者増加、献血思想の普及

## 【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H25.1.1～H25.2.28	はたちの献血キャンペーン	県内全域	新成人、高校1年生	啓発リーフレットを作成し、県内のすべての新成人及び高校1年生に配布した。	110,000部配布。

## 【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	平成25年2月16日～	Roll up your sleeves!若いあなたに！ キャンペーン	献血会場	16～29歳の若年層	若年層ヘリストバンドを配布し、それを身に着け献血いただいた方へ粗品を進呈。現在継続中。	平成25年3月31日までに683名の方にご協力いただいた。
	平成25年3月9日	スタ☆フェス	イオン津店	16～29歳の若年層	「三重県学生献血推進連盟 みえっち」の立ち上げイベントの実施。	採血者41名中20名の方が若年層だった。
三重県 三重県赤十字血液センター		各キャンペーン	県内ショッピングセンター等	若年層を中心に幅広い年代	学生を中心とするボランティアにより、街頭献血で同年代へ広く献血の呼びかけを行った。	ボランティア参加数 のべ343名。

## 【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
	H24.7.16	サマー献血	JR近江八幡駅南口	県民	滋賀県学生献血推進協議会が主体となって街頭献血を呼びかけ、啓発活動を行った。	献血者87人
	H24.8.5	サマー献血	近江八幡市役所	県民	滋賀県学生献血推進協議会が主体となって街頭献血を呼びかけ、啓発活動を行った。	献血者81人
	H24.10	「草津市パワフル交流・市民の日」において献血啓発キャンペーン	草津市	県民	NPO法人が献血啓発キャンペーンを実施。	

滋賀県	H24.12.15～25	クリスマス献血キャンペーン	血液センター・湖北献血ルーム	献血者	血液センターと湖北献血ルーム内でクリスマス装飾をし、普段と雰囲気の違う採血所を造り献血者に楽しんでいただくことを目的とする。	ホームページ・メール会員に事前広報をした結果、同期間で前年比113.4%の実績となった。
	H24.12.23	クリスマス献血	JR近江八幡駅南口・北口	県民	滋賀県学生献血推進協議会が主体となって街頭献血を呼びかけ、啓発活動を行った。	献血者171人 メール会員に事前広報と開催地付近に新聞折込みを入れた結果、サマー献血と併せて10代～20代の協力者数が前年より15名増え、前年比183.3%の実績となった。
	H25.1.1～2.28	「はたちの献血」キャンペーン	各市町	成人式参加者、県民	成人式で献血啓発資材を配布。また、メッセージキャンペーンとして献血者の皆様にメッセージをお願いした。	
	H24.3	献血啓発キャンペーン	草津市	県民	NPO法人が草津エイスクエアで献血啓発キャンペーンを実施。	

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H24.6、H24.12、H25.1、H25.2	大学生等向け広報の実施	府内の学生等向け無料情報紙「ガクシン」「moco」「エキサイト」	大学生・専門学校生等	京都府学生献血推進協議会の活動、献血ルーム、献血ルームでの献血の流れの紹介等	
	通年(年10回程度)	大学生による献血キャンペーン	JR京都駅前広場、献血ルーム	若い世代を中心とした府民	献血協力呼びかけ。献血ルームの装飾。啓発資材配布。アカペラ&ダンスイベント等	
	H24.12	高校生だよ、献血キャンペーン	府内高等学校	府内の高校2、3年生	高校生向けリーフレットの配布等	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府	H.24.7.9～H.24.9.28(募集) H.24.12.19(発表) H.25.1.22(表彰式)	献血ポスター原画募集	・府内の高校、市町村等に募集告知用チラシを配布 ・大阪市営地下鉄主要駅へのチラシ配架 ・府HP等による募集告知	府内16歳～29歳	献血離れが進んでいる10代・20代の若者に献血の重要性、輸血によって救われる命の大切さを訴えるため、同世代の若者を対象に献血のポスター原画を募集	・府内の学生を中心に心券あり。 ・優秀作品を利用したカレンダーを作成し、府内高校、大学等に配布する他、啓発物品”菜”を作成し、府内高校新1年生に配布予定。 ・優秀作品は府庁、近鉄難波駅で展示
	H.24.11.19,26	高校生による献血啓発物品の作成	西野田工科高校	西野田工科高校デザイン科	献血啓発物品のデザインを今後の献血を担う高校生に依頼	・参加した高校生の献血への意識の向上 ・府民への啓発
大阪府 大阪府赤十字血液センター	①H.24.12.21(府立高校4校) ②H.25.2.18(府立高校2校)	高校生による献血キャンペーン	①まいどなんば献血ルーム、御堂筋献血ルーム ②近鉄難波駅	①生徒29名 ②生徒5名	・献血ルーム周辺での街頭キャンペーン ・献血者への接遇 ・献血者対象の似顔絵イラストサービス(①のみ) ・啓発物品(携帯ストラップ)の配布(②のみ)	・参加した高校生の献血への意識の向上 ・府民への啓発
大阪府赤十字血液センター	H24.12～H25.3	10代、20代はじめての献血キャンペーン	大阪府内の全献血会場	府内16歳～29歳	・10代、20代の献血初回者へ記念品進呈 ・友達紹介カードを用い、10代20代の献血初回者を紹介していただいた方に記念品進呈 ・キャンペーンイベントの実施 ・FMラジオのスポットCM ・若年層献血者推進用パネルの作成 ・新聞折込チラシの配付	・10代20代の初回献血者の増加

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.4～	高校・学生献血キャンペーン	各実施校	若年層(高校、大学生等)	若年層に受け入れやすい記念品や専用ティッシュを製作のうえ若年層向けキャンペーンを企画し、10代、20代の献血者増を図った。	年間を通じ若年層に献血を呼びかけることができ、400ml献血中心の献血協力が得られた。
	H24.12～	SAVE LIFEキャンペーン(若年層献血キャンペーン)	各施設	10代20代の献血者及び紹介者	SAVE LIFEキャンペーンをロゴマークで周知し、会場でロゴマークを掲示いただいた10代20代の献血者及びその紹介者に記念品を進呈した。	若年層を中心に献血を呼びかけることができた。
	H25.1	新成人に対する啓発	県内15成人式会場での若年層献血キャンペーンカードの配布	新成人	各市町の成人式配布資料に若年層献血キャンペーンカードを同封いただき、新成人への献血啓発を図った。また、西宮市の成人式会場に出向きPRすることができた。	新成人約15,000人に対して、献血の必要性と献血場所の案内を行うことができた。
兵庫県	H24.4～	高校生献血推進ボランティア事業	県下の高等学校	県下の高校生	高校生(高等専門学校生含む)がボランティア活動を通して、同年代への普及啓発を行う。	県下36校で実施

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H25.3	高校生へのリーフレット配布	県内高等学校等	高校生等	献血可能年齢(16歳)となる県内高校1年生を対象にリーフレットを配布	
	H24.12～	若年者献血記念品の配布	固定施設	16歳以上の若年者で初めて献血にご協力いただいた方	16歳以上の若年者で初めて献血にご協力いただいた方に対し、若年者初回献血記念品としてオリジナルタンブラーを配布(先着100名)。	初めて献血にご協力いただいた方に対し配布することで、繰り返し献血にご協力いただくきっかけづくりとした。
奈良県赤十字血液センター	H24.12～H25.3.31	若年層献血キャンペーン	学校関係での献血実施時・血液センター・近鉄奈良駅ビル献血ルーム	10代・20代の献血者	献血にご協力頂いた10代・20代の方に「赤十字オリジナルエコバッグ」「学生献血推進実行委員会作成・けんけつちゃんオリジナル卓上カレンダー」「お菓子セット」をプレゼント	お菓子セットが好評であった。
	H25.2.17	「初音ミク×奈良県赤十字血液センター」コラボキャンペーン	イオンモール橿原	特に若年層	若年層に人気のキャラクターとのタイアップイベント。献血バス・供給車・採血装置・パネル等の展示。AED講習会。当日献血頂いた方には「初音ミク」のオリジナルポスター&ポストカードを進呈した。	平均60～70名の受付数が、この日は135名。10代～20代の献血者については普段よりも約20名の増となった。
	H25.3.9	「初音ミク×奈良県赤十字血液センター」再び	イオンモール大和郡山	特に若年層	イオンモール橿原での盛況を受け店舗側より依頼があり、実施。当日献血頂いた方に「初音ミク」オリジナルポスターを進呈した。	普段の倍の受付数となった。

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H24.12.27～H25.3.31	WANTED！10・20歳代の献血者求む	県下一円	10・20歳代の若者	若者向けフリーマガジン2誌に広告掲載。高校・大学・専門学校・自動車学校にポスター掲示依頼。ホームページ等掲載。対象者に若者に人気のあるアニメグッズ進呈。	若者の目に留まるよう広報展開を行い若年層に啓発効果があった
	H24.5～H25.3	学生推進協議会主催キャンペーン	県内の大型スーパー	若年層を中心とした献血者全般	期間中、延べ18回(昨年度15回)実施。学生推進協議会の企画の下、メンバーによる移動献血車で献血実施時献血協力啓発及び接遇を行った。	献血協力啓発を積極的に行ってくれたので、1,930人(昨年度1,596人)より献血協力を得られた。また、約30%が若年層献血者であり若年者の献血者増加に効果があった。
	通年	高校生献血	各高等学校	高校生、高等学校職員等	高等学校で文化祭、授業中に献血を行った。	高等学校25校で27回献血者1,053人(昨年度23校で27回952人)で10歳代若年層の献血者増加に効果があった。

## 【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	平成24年7月16日	高校生等献血研修および献血呼びかけ	パープルタウン	10～20歳	血液の歴史、構成、現状および必要性を学習。献血呼び込み。	
	平成24年7月22日	高校生等献血研修および献血呼びかけ	イオンモール日吉津			
	平成24年8月5日	高校生等献血研修および献血呼びかけ	イオンモール鳥取北			

## 【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県赤十字血液センター	H24. 11. 14～H25. 3. 31	しまね若者献血推進キャンペーン	血液センター 献血ルームふれあい 移動採血会場	10代、20代の若年層	10代・20代の若年層献血者を増やすため、ポスター・ラジオCM等により広報し、キャンペーン記念品を進呈するとともに、紹介カードにより新たな10代・20代の献血者を増加させる。	平成25年1月末現在 10代献血者数759人(対前年比109.7%) 20代献血者数3684人(対前年比95.3%)
島根県 島根県赤十字血液センター	H24. 7. 1～H24. 9. 30	高校生ふれ愛キャンペーン	・県内の全高校への配布依頼 ・郵便、FAX、メールで応募可能 ・全問正解者への図書券の供与	県内の高校生全員	県内高校生全員を対象として、献血に関するクイズ付きのリーフレットを配布し、クイズへの応募、献血に関する質問等を募集。	・クイズ応募者:53名 ・全問正解者:42名 ・質問に対する回答を行い、ホームページでも公開
	H24. 8、 H25. 1	「はたちの日」成分献血啓発事業	成人式会場	県内の新成人	次世代の献血を担う新成人を対象に、成人式会場において、成分献血を中心とした献血に関するリーフレットを配布し普及啓発を図る	6,635枚のリーフレット配布

## 【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H24.6.13～H24.10.15(募集) H25.2.3(授賞式)	第7回いのちと献血俳句コンテスト 岡山センター所長賞(授賞式)	岡山県赤十字血液センター	若年層を中心に幅広い年代	若年層を中心に幅広い年代から、献血に関する俳句の公募を行い、献血を通して支えられる生命に意識を向けさせると共に献血活動の意義理解・普及の機会を創出することを目的とする。	全国約36万句の応募の中より、岡山県においては、岡山センター所長賞1名、入選2名、団体賞4団体が受賞した。
	H24.12.20～H25.2.28(募集) H25.3.24(授賞式)	ももたろう献血ポスターコンテスト	岡山県赤十字血液センター	県内に在住もしくは在学・在勤の中学生～29歳の方	献血に関するポスターの公募を行い、年々協力率が減少している若年層に対し献血への理解と普及啓発を図る。	184枚の応募の中より、最優秀賞1名、金賞3名、銀賞6名、銅賞9名、地域賞7名が受賞した。

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H24.4.1～6.15	献血推進ポスター募集		中高生	献血を呼びかけるポスターの図案募集	応募総数372点
	H25.1	はたちの献血チラシ配布	成人式典会場	新成人等	成人式典において啓発チラシ配布	式典主催者である市町の協力
	H25.1	ありがとう献血	高校	高校3年生	県内全高校3年生に啓発資材(リーフレット・クリアファイル)の配布	

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H24.9～H25.2	高校での学校献血	県内10校	高校生	学校で献血を実施	10校、310人が献血
	H24.6～25.3	高校生献血推進ボランティア育成事業	22校	高校生	文化祭等で高校生ボランティアが献血啓発活動を実施	22校で実施
	通年	学校献血	各大学・専門学校	各大学・専門学校生	学内献血等に合わせ、献血要請	11校、事前チラシ・ティッシュ配布当日の呼びかけ
	H24.6.9～9.15(募集) H24.12.20(表彰式)	献血推進ポスター・作文募集	県内中学、高校に募集を依頼 県庁(表彰式)	県内在住・通学の中・高校生	中・高校生から献血推進ポスター・作文の募集を行い、献血意識の普及啓発を図ることを目的とする。	ポスター21校(81点)、作文14校(325点)の応募があった。
	H25.3.1	献血読本の作成・配布	県内中学、高校	中・高校生	献血推進ポスター・作文の受賞作、献血啓発事業の概要を掲載し、献血意識の向上を図ることを目的とする。	高校1年生全員、中・高校全学級へ配布。16,740部作成
	H24.11.23～H25.3.14	ラジオ放送	FM山口 大学等学校献血開催場所等で収録	若年層	学校献血等で実際に献血を行った若年層に対してインタビュー形式を行い、献血を身近なものと感じる事を目的とする。	放送22回

## 【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	平成24年4月～平成25年3月	けんけつ「ハートメッセンジャー」事業		若年層	若年層の献血離れに歯止めをかけるため、若者向けのタウン誌に年間6回、献血に関する記事を掲載し、啓発活動を行った。	6回(各1ページ)掲載
	平成24年7月～9月	献血「キミに伝えたい愛のメッセージ」事業		若年層	献血啓発のショートメッセージを募集し、若年層の献血啓発に活用した。	81作品の応募
	平成24年4月～2月	貧血対策レシピの作成		若年層	食物栄養学科の学生に貧血対策レシピの作成を依頼。若年層の血色素量不足の人に啓発するため、大学の食堂や売店に当該レシピを配置した。	大学4校に配置
	平成24年7月～9月	献血推進ポスター入賞作品募集	徳島県内中学高校	徳島県内中高校生	献血について理解を深めるため、徳島県内中高校生を対象に献血推進ポスターを募集した。	13作品の応募
	平成24年10月～平成25年3月	若年層献血者確保対策	徳島県赤十字血液センター 献血ルーム アミコ各大学・専門学校、各高等学校 移動採血車(マチ★アソビ)	10代～20代	・学内献血(高等学校)・キャンパス献血(大学等)の回数の増加 ・マチ★アソビ(徳島県で実施しているアニメのイベント)への参加 ・けんけつちゃんの着ぐるみを活用したPR(街頭・学内・キャンパス内等) ・JRC部員による街頭キャンペーン(同世代からの献血呼びかけ)	

## 【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県	H24.7.22 H25.1.27 H25.2.16	高校生街頭献血キャンペーン	イオンモール高松 ゆめタウン丸亀 ゆめタウン三豊	高校生	高校生献血ボランティアに献血に関する学習をしてもらった後、店内で献血への協力呼びかけを実施。	高校生を対象に献血ボランティアを募集したところ、延べ13校88名の参加があり、若年層への献血意識の啓発につながった。
	H24.7.24 H24.8.2	高校生献血サポーター事業	献血ルーム	高校生	高校単位で献血ボランティアを実施。実施内容は献血に関する学習をもらった後、献血ルーム前で献血への協力呼びかけを実施。また実際に献血を体験。	2校で実施、延べ12名の参加があり、若年層への献血意識の啓発につながった。

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H24.7.29	夏の献血キャンペーン2012	エミフルMASAKI	一般	県内の高校生を中心とした献血の呼びかけや実際に献血を実施してもらう等の参加型の普及啓発活動を行った。	
	H25.1.1～H25.2.28	はたちの献血	献血会場等	一般	各市町で実施される成人式会場等において啓発用パンフレットを配布し、献血の普及啓発を行った。	
	H24.8.10	愛顔の高校生献血推進会議	ひめぎんホール	高校生	若年者に対する学習・参加型普及啓発として、高校生を対象に開催。献血の重要性や意義について講演、発表及び意見交換を通して、高校生自らが献血について考えて献血思想の普及啓発を図った。	高校生52名が参加し、献血の理解を深め、献血に関する問題点等の意見交換を行った。

## 【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	H25.1.14	はたちの献血キャンペーン	イオンモール高知	幅広い年代	今年20歳になる学生に1日所長になってもらい、若い年代を中心にPRをしてもらう	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
	平成24年11月～	初回者紹介キャンペーン	各大学学内	大学生等	献血未経験者(初回者)を紹介いただき、献血に協力いただいた方双方にソフトバンクホークスオリジナルタンブラーを進呈。	紹介者カードを作成し献血協力いただいた学生にカードを渡し書会社の紹介(初回献血)いただいたことで、初回者が増加した。
	平成24年12月～	スタンプラリー	各大学学内及び街頭献血、献血ルーム	大学生等	12月・1月・2月・3月を限定し、400mL献血は2回、成分献血は3回のスタンプを集めたらオリジナルタンブラーを進呈する。	現在進行中
	平成24年11月～2月	エコ箸包装広告	県内大学食堂・売店	大学生等	割箸の包装紙に献血推進広報記事が掲載した割箸を大学の食堂・売店に設置し、広く献血を呼びかける	献血を知る機会となり、献血者が増加した。
	平成24年11月～3月	ラッピング路線バスによる献血広報	福岡市内循環バス	若年層～一般	若年層に絶大な人気があるAKBメンバーの画像を福岡市内中心部を循環する路線バスに掲載し、ラッピングバスとして広報活動を実施。	献血を知る機会となり、献血者が増加した。
	平成24年12月～	フリーペーパーへの献血記事掲載	福岡県内	若年層～一般	若年層向けのフリーペーパーに献血関連記事を掲載。	献血を知る機会となり、献血者が増加した。
	平成25年1月20日	はたちの献血キャンペーンのTV撮影	福岡大学、献血ルーム	若年層～一般	はたちの献血キャンペーン開催期間中に、学生献血の模様と献血ルームでの献血の流れ(問診から採血まで)について県広報番組で放送した。	献血を知る機会となり、献血者が増加した。

## 【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	年度後半	卒業献血(高校2・3年生対象)	県内の4高校	高校2・3年生	献血に協力を求めるため血液センター職員が献血の必要性について事前に高校で説明し、献血を校内で実施した。	若年層への献血普及が行えた。
	平成24年12月～平成25年3月	若年層献血キャンペーン	各献血会場	10代・20代	10代・20代に対してキャンペーンを実施することにより献血の必要性を訴えた。	10代・20代の目標献血率が達成できた。

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	平成25年1月10日 平成25年1月11日 平成25年1月22日 平成25年1月28日	はたちの献血キャンペーン	長崎大学 長崎女子短期大学 長崎国際大学 長崎県立大学佐世保校	大学生	若年層啓発活動として献血者の底辺拡大を目標に学生が楽しめて、参加しやすいイベントを開催した。	学生献血の体験を一人でも多く増やし、将来の献血へのよき理解者、献血者になっていただく。
	平成24年4月～1月	高等学校訪問	高等学校	校長、教頭、養護教諭等	新採血基準改正内容について説明し校内献血、献血セミナーを依頼した。	今年度校内献血28校実施。前年度より3校増、1校減であった。

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	H25.1.2～H25.4.30(予定)	はじめよう献血	県下全域	10代・20代の献血者	減少傾向にある同年代の献血者を対象としたキャンペーンの展開。 県下全高校・専門学校の全生徒に「はじめよう献血」リーフレットを配布。更に、大学及び自動車学校への配布を行い、若年層に対し献血の啓発とキャンペーンの実施を周知。 キャンペーングッズとして、「くまモン血液型携帯ストラップ」を作製し、対象献血者に配布。 広報展開は、成人式での新成人へのチラシ配布(各市町村)、若者向け情報誌、生活情報誌、大学・自動車学校へのポスター掲示、ホームページの活用、ラジオ番組での周知(期間中5本)、熊本市役所ロビーのビジョン活用、市電への広告掲載、各学校献血時の事前告知・ポスター掲示等。	キャンペーン実施後、毎月減少傾向であった10代・20代献血者が増加に転じ、1月～3月末現在で、期間中の対前年度比10代438名(1,004名→1,442名)、20代204名(3,582名→3,786名)の増加があった。 献血推進2014で目標とする献血率:10代5.7%→6.2%、20代8.5%→8.2%となった。
	H25.1.9	自衛隊「はたちの献血」	陸上自衛隊北熊本駐屯地	新成人及び隊員	1/7に新成人の隊員への献血セミナーを実施したうえでの献血協力。	採血車2台配車で400mL献血のみ130名の協力があった。
	H25.3	トヨタカローラ熊本新入社員研修	トヨタカローラ熊本(株)本店	新入職員	新入職員を対象に「はじめよう献血」リーフレットを配布し、献血への理解と協力を図る。	3/31(日)新入社員を含めて71名の献血協力があった(400mLのみ)。
	H25.3	学内献血用のぼりの作製及び各大学への設置	県下各大学	大学生	学内献血の充実を図るため、献血の事前告知のためののぼりを作製し、各大学学生献血推進協議会で管理。学内献血の事前告知用として活用。 のぼりのデザインは、学生により作成。	事前告知を行うことにより、採血車の配車の周知が広がると思える。
	通年	献血Walkerの配布	県下各大学、専門学校	学生	本社作製の同冊子を効果的に配布し、若年層に対する献血への理解を図る。	若年層に対する効果的なアプローチができた。
	H23.6～	高校への説明及び献血協力依頼	県下各高校	学校長または副校長	県、市町村担当と共に、県下各高校に直接出向き、献血基準改正の説明及び採血車配車依頼。	前年度比で、高校への配車が配車12台から14台に増加し、高校献血での献血者数が609名から751名へと増加した。
	通年	高校献血の実施	県下高校(H24度12校)	生徒	献血実施前に、血液センターが準備した献血に対する「同意書」または「希望書」を学校から生徒に配布していただき、献血希望の生徒が、事前に献血の知識について理解を図ったうえでの献血を実施する。	自らの高校で献血を実施することによって、全生徒に対し早い時期から献血の体験や理解が図れたことにより、次回以降の献血へのハードルが低いものとなり、今後の継続的な献血協力が期待できる。

	年4回	情報誌「くびる」の配布	県下各大学、専門学校、高校	学生、生徒	本県オリジナルの情報誌配布により、若年層に対する献血への理解を図る。	若年層に対する効果的なアプローチができた。
--	-----	-------------	---------------	-------	------------------------------------	-----------------------

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県	平成24年4月～平成25年3月	高校生献血の輪拡大推進事業	各高等学校等	高校生その他	12ヶ所の高校を「高校生献血の輪拡大推進校」に県が指定し、各高校のボランティア部の生徒が、献血について学びながら啓発活動を実施。	活動を通して、高校生の献血に対する意識が向上。地元のボランティア団体と連携して活動した高校もあった。
大分県学生献血推進協議会	平成25年1月13日	はたちの献血キャンペーン街頭広報	大分市成人式会場	新成人	成人式会場で、新成人に献血のPRを行った。	
	平成24年7月15日	献血サポーター	大分銀行ドーム	大分トリニータサポーター	大分トリニータの公式試合前の学推協による献血の呼びかけ	
	平成24年12月16日	赤十字ふれあい広場	血液センター	地域住民	献血クリスマスキャンペーンとして学推協によるイベントを実施し、若年層の献血者の確保を行う。	
大分県 大分県赤十字血液センター	平成24年4月～2月	若年層献血者用バス	県内高校	学生	県主管課より、県教委を通じて県内高校へ献血協力の通知を実施いただき、センター職員が高校へ校内献血の依頼等のため訪問する。	高校献血が1校増となる。

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H24.5.4	こいのぼり献血キャンペーン	ホームワイド高鍋店	若年層	宮崎県学生献血推進協議会会員による献血の呼びかけ	献血実績400mL47名
	H24.7.1～H24.7.7	七夕献血キャンペーン	献血ルーム「カリーノ」	若年層	室内に七夕の飾り付け・献血の呼びかけ	献血実績400mL122名・200mL12名・成分258名
	H24.7.14	サマー献血	イオンモール宮崎	若年層	学生ボランティアによる呼びかけ	献血実績200mL2名・400mL40名
	H25.2.3～H25.2.9	「はたちの献血」キャンペーン	献血ルーム「カリーノ」	若年層	学生ボランティアによる呼びかけ	
	H25.2.11	「はたちの献血」キャンペーン	イオンモール宮崎	若年層	式典・GILLE凱旋ミニライブ	
	通年	啓発資材の配布	献血セミナー会場等	高校生	セミナー参加者等への献血ちゃんオリジナル啓発資材の配布	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県赤十字血液センター	H24.11.18	鹿児島県ヤング献血フォーラムin南さつま	南さつま市	16歳から29歳の献血者、献血に関心のある方・もてる方	高齢人口の増加により輸血用血液の需要が増える一方で、それを支える十代から二十代の献血者が減少しているため、「献血フォーラム」を通して、命の大切さや献血の重要性に対する理解を求めた。	ラジオCMの他、固定施設、献血バス、大学、専門学校、高校で応募の呼びかけをし、1,500通以上の応募があった
鹿児島県	H24.4～	血液教育事業	各中学校	中学生	献血可能年齢間近の中学3年生を対象に、血液に関する正しい知識と責任ある献血の重要性を認識させるため、県薬剤師会に委託し、学校薬剤師による講義を行った。	
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H24.4～	献血出前講座・献血講座	各高校・専門学校・血液センター等	小学生～大学・専門学校	講話やDVDにより命の大切さや献血の重要性を学んでもらい、献血への誘導を図る。	学校献血前に実施した場合、協力者を得られやすい。

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H25.1.7～	若年層献血者確保対策	県内各学校	高校、大学、専門学校	処遇品とは別にタンブラーを購入し、事前周知等で献血者増加を図る。	
	H24.11.4 ・ H24.12.30	プロバスケットボール選手握手会	読谷祭り会場・イオン北谷店前街頭	県民一般	県プロバスケットチームの選手による握手会を実施。	

## ⑧安定的な集団献血の確保

### 【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H24.8.21、H25.2.8	献血説明会	札幌駅前出張所	大学生	例年、定期的に大学の寮生へ献血についての説明会を実施。要請時など寮全体での献血協力及び周囲への波及を期待し実施。	定期的に取り組んできたこともあり、緊急要請時等、団体での献血協力をいただいている。
	H252.15	献血推進に係る研修会	日本赤十字社北海道支部	ラクロス協会他関係者(札幌)	例年、市内ラクロス協会に所属する団体へ血液事業の現状および今後の献血推進について講演を実施し、献血意識の向上およびラクロスサークル団体での献血協力を促すことを目的としている。	定期的に取り組んできたこともあり、緊急要請時等、団体での献血協力をいただいている。

### 【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H24.4.1～25.3.31	事業所訪問	献血未実施事業所	従業員	市町村担当者と一緒に献血未実施事業所を訪問し、血液事業の現状や献血の必要性を説明して、新規開拓に努めた。	新規協力事業所18ヶ所
青森県 日本赤十字社 青森県支部	H24.8.9	献血感謝の集い	青森市アウガ5階AV多目的ホール	厚生労働大臣表彰受賞者、知事感謝状受賞者、日赤有功賞受賞者、その他県民	県民の献血への理解を深め、献血運動のさらなる推進を期するもの内容は、厚生労働大臣表彰状等伝達、知事感謝状贈呈、日赤有功章伝達、ミニコンサート等。	来場者 250 人
青森県	H25.1	事業所への献血協力依頼	献血協力事業所、学校等	県民	県内の献血協力事業所・学校等に対し、今後も引き続き献血に協力していただけるように通知を送付した。	1,404箇所へ送付

### 【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	平成24年11月	ライオンズクラブ献血推進研究会	岩手県赤十字血液センター	ライオンズクラブ	ライオンズクラブ献血担当委員長等に集まっていたが、献血に関する研修会を開催した。	
	平成24年5～10月	遊技業協同組合青年部の協力	県内各地のパチンコ店	従業員	今年度は、県内12カ所のパチンコ店を拠点に、周辺の店舗からも協力をいただいた。	
	平成25年1月～2月	岩手県アスファルト合材協会の協力	県内アスファルト合材工場	協力加盟の従業員	協会加盟の事業所に献血バスを設置し、関係各社の従業員に協力をいただいた。	
	通年	新規協力団体の開拓	県内	県内事業所等	市町村・献血推進専門員・血液センター等で新規開拓を行った。	20団体(会場)新規に実施した。

## 【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県	平成24年12月1日～12月25日	クリスマス献血	各献血会場	献血者	冬季の献血者確保を目的として実施	昨年比110.4%と献血者が増加した。
	平成25年1月2日～1月14日	ニューイヤー献血	移動献血バス会場	献血者	冬季の献血者確保を目的として実施	昨年比110.1%と献血者が増加した。
	平成25年2月1日～2月14日	バレンタイン献血	各献血会場	献血者	冬季の献血者確保を目的として実施	昨年比102.4%と献血者が増加した。
	平成25年3月1日～3月14日	ホワイトデー献血	各献血会場	献血者	冬季の献血者確保を目的として実施	現在実施中

## 【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	通年	献血サポーターの募集		県内事業所	全県的に事業所等に対する献血サポーターへの登録呼びかけ。	7社が新規に登録

## 【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	通年	献血サポート団体育成事業		県内事業所	献血に協力的な事業所等を市町村ロビー等に掲示することにより、顕彰を行い、本県における事業所等が行う献血活動のより一層の推進を図った。	登録事業所等232団体 (H25. 3. 31現在)
山形県赤十字血液センター	H24.11.15	ライオンズクラブ献血推進研究会	山形市内	332-E地区LC会員	ライオンズクラブ意見交換会及び勉強会を行った。	ライオンズクラブからの支援強化

## 【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H24.8.3	陰山建設(株)献血協力	陰山建設(株)	関連会社職員他	特に輸血用血液の在庫不足が危惧される期間において効率的確保を意図して企画。今年度から献血バスの配車数を被災前の8台に戻して実施。	献血申込者: 744名
	H24.10.13 及び H25.2.14	ハートフルサタデー献血(郡山市ハートフルサタデー献血推進実行委員会主催)	ビックパレットふくしま	関連会社職員他	特に輸血用血液の在庫不足が危惧される期間において効率的確保を意図して年2回の実施を企画。10月は献血バスの配車数を8台に増やして実施。	献血申込者: 1,190名
	H24.4.30 及び H25.2.14	献血イベント(福島県中小企業家同友会郡山地区主催)	郡山カルチャーパーク ビックパレットふくしま	関連会社職員他	特に輸血用血液の在庫不足が危惧される期間において効率的確保を意図して年2回の実施を企画。2月は献血バスの配車数を5台に増やして実施。	献血申込者: 538名

## 【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	通年	新規事業所の開拓		県内事業所	保健所・市町村の情報により新規事業所の開拓	15ヶ所 334名
	通年	休眠事業所の開拓		過去に実施した献血事業所	献血者減少等で献血をやめた事業所の再開拓	17ヶ所 566名
	通年	複数回献血実施所		事業所	年1回及び2回実施事業所の実施回数増加	22ヶ所 615名

## 【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
栃木県	平成24年6月15日(金)	「県民の日」献血キャンペーン	栃木県庁舎内 県民広場(宇都宮市) 県民の日記念イベント会場内	県民	栃木県医薬品配置協会の協力を得て、県民に対し、献血の普及啓発を行うとともに、移動採血車による献血を行うことにより、「献血思想」の意識の醸成を図った。	献血者数：41名
	平成24年7月	「愛の血液助け合い運動」キャンペーン	県内	県民	ラジオやテレビによるスポットCM放送や新聞広告、県政広報誌への記事掲載により、400mL献血及び成分献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	
	平成24年7月27日(金)	献血功労者表彰式	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	県民	献血に功績のあった個人又は団体の表彰を行うとともに、一般県民も参加可能な記念コンサートを開催し、県民に対して、献血の普及啓発を図った。 第1部 式典 献血功労者の表彰 第2部 アトラクション ケーナコンサート	参加者：約150名
	平成24年8月1日(水)～31日(金)	チャレンジ！400mL献血&成分献血キャンペーン	うつのみや大通り献血ルーム、栃木県赤十字血液センター、県内献血会場	県民	血液が不足する時期に献血者を確保するため、実施期間中に初めて「400mL献血」または「成分献血」に協力いただいた方にオリジナル記念品を贈呈し、県民各層の間に献血思想の普及を図った。	初回献血者 ・400mL献血 573名 ・成分献血 161名
	平成24年9月30日(日)	「ヒューマンフェスタとちぎ2012」献血キャンペーン	栃木県立県南体育館(小山市)	県民	栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、啓発物資の配布、移動採血車による献血等を実施することにより、県民に対して、献血の普及啓発を図った。	献血者数：44名
	平成25年1～2月	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマズ宇都宮	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送、新聞広告、県内1か所の映画館でシネアドの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	・新成人へのリーフレット配布数 22,680枚 ・シネアド放映回数 延べ約900回

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	年間を通じて	集団献血	県内各献血会場	県内各生命保険会社の会員及び家族等	各生命保険会社での献血バスの配車や個人が献血ルームに出向くなど組織的な献血活動に積極的に協力していただいています	
	年間を通じて	集団献血	県内各献血会場	群馬県信用組合協会	信用組合への献血バスの配車や個人が献血ルームに出向くなど組織的な献血活動に積極的に協力していただいている	
	年間を通じて	集団献血	県内各献血会場	群馬県信用金庫協会	信用組合への献血バスの配車や個人が献血ルームに出向くなど組織的な献血活動に積極的に協力していただいている	
	平成24年9月6日 平成25年3月6日	集団献血	群馬総合ガードシステム	社員及び関連企業の職員	関係団体の職員を含め組織的に献血事業に理解を示され、血液が不足する夏季、冬季に継続して集団献血「移動採血車4台配車を実施し安定した献血者確保を行っている(約20の関係会社)	
	平成25年2月7日 平成25年3月8日	集団献血	県内 損害保険会社(2会場)	群馬県損害保険代理業協会加盟の会員	県内の協会加盟の会員を対象に、不足する冬期に継続して集団献血(オープン献血2会場)を実施し安定した献血者確保を行っている。	

## 【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H25.1月、2月、8月、9月	動員型集団献血	公民館・保健センター等	ボランティア団体会員の友人・知人等	ボランティア団体会員の方より多方面に広報していただき、また、友人・知人・社員等を動員していただき移動採血車3台～6台配車して実施する	1台平均59名 1台平均単位数103u
	H24.5月(中旬) H25.1月(中旬)	企業献血	NTT幕張ビル	社員	会社・労働組合の支援で献血を実施、年2回(5月・1月)で各3日間実施いただいている	献血者636名 1日平均106名 1日平均単位数195u
	H24.12.1～H25.1.31	動員型献血	千葉県内の献血会場	千葉県生命保険協会会員	千葉県生命保険協会会員(約9,000名)に協会事務局より献血要請して頂き最寄りの献血会場(ルーム・移動)で協力いただく	献血者753名 献血率8.3% 参加率14.0%

## 【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	通年	献血協力団体	企業・町会等の会議室及び施設内	協力団体社員・一般	安定した献血者確保対策の一環として継続的に年1回及び複数回協力を依頼。また、新規協力企業の開拓をはじめ中断団体の掘起こし等で推進強化を図る。	1年間187件の新規、掘起こし企業の協力を確保した。

## 【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	H24.7.30	新潟県献血功労者表彰式	新潟県自治会館	献血推進団体	献血推進に功績のある団体に対して表彰を行った。	大臣表彰状 3件 大臣感謝状 8件 知事感謝状 16件 日赤新潟県支部長感謝状 14件
	通年	企業等訪問		献血協力企業等	県、市町村、血液センターで企業等を訪問し、献血への協力を依頼した。	

## 【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
富山県赤十字血液センター	H24.6.13	ライオンズクラブ例会での講演	富山国際会議場	次期四献委員会:四献・環境保全委員会	血液事業の現状を説明し、血液の必要性をより理解いただくことにより街頭献血等での安定的な献血者確保に繋げる。	街頭献血での400mL献血率の向上と安定的な献血者数の確保ができた。
		氷見・志貴野・神通各ライオンズクラブ例会	例会会場	ライオンズクラブ会員		

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県赤十字血液センター	H24.6.18	ライオンズクラブ献血推進懇談会	金沢市内ホテル	各ライオンズクラブ献血担当者	各ライオンズクラブ献血担当者に献血の講義、平成24年度推進計画を説明し、献血推進の理解を得る。	当日は38名の出席があった。
	H24.8.8	血小板成分献血協力企業・団体の交流会	血液センター	企業・団体の各献血担当者	血小板献血の要請に応じていただける企業、団体の献血担当者に成分献血への理解を深めてもらう。	当日は10の企業、団体から出席があった。

## 【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	通年	成分献血者の送迎	血液センター	市役所、町役場	各市役所、各町役場から職員を血液センターまで送迎し、成分献血実施者を確保した。	
福井県 福井県赤十字血液センター	H24.6.11	ライオンズクラブ担当者会議	サンドーム福井	ライオンズクラブ担当者会議	献血に関する研修会を開催する他、ライオンズクラブ主催の献血を実施し、安定的に献血者を確保した。	

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県赤十字血液センター	平成24年4月～	団体での年間2回実施	各献血会場	県下献血団体	献血者数50人以上の団体(高校は除く)は、年間2回以上の献血をしていただく	毎年同じ時期の恒例行事化
	〃	ライオンズクラブ主催献血	〃	ライオンズクラブ関係者	県下31ライオンズクラブ中26ライオンズクラブが主催献血を行う	年間3, 500人以上の献血者確保
	平成24年5月～3月	高校集団献血	各高等学校	県下41校高校生	県下全日制すべての高校での献血。3年生及び1月よりは2・3年生対象に400ml献血の推進。男子が多い高校・献血者が多い高校等は年間2回要請	年間3, 000人以上の献血者確保

## 【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長野県赤十字血液センター	H24.10.11	献血サポーター募集	塩尻市総合文化センター	ライオンズクラブ334-E地区52団体	献血推進アドバイザー認定講習会時、ライオンズクラブ自体及び経営等されている企業に対して、募集を行った。	新規登録3件。

## 【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H24.12月、H25.1月、3月	ぎふ献血サポーターズ合同献血	各献血会場	同クラブ会員	県内で活動する献血ボランティア団体、企業等が、献血啓発と安定的な献血者確保を図るため連携して発足した、同クラブの合同献血を7会場で行い、会員の動員及び会場での呼び込み等により献血者確保に努めた。	7会場で献血者数418人の実績

## 【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県	H24.5～H25.3	「アボちゃん協力会」との連携		協力団体等	平成5年に設置した献血協力団体「アボちゃん協力会」の会員企業等に対し、定期的に献血啓発リーフレット等啓発資材を送付し、意識普及を図った。	献血思想の普及

## 【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H24.7.27	愛知県献血運動推進大会	名古屋市中区役所ホール	県民	300回以上献血された方や長年組織的に献血に御協力いただいている企業または団体、献血推進に協力いただいている企業または団体に対して愛知県知事感謝状を贈呈した。	300回献血者 19名 献血協力団体 9団体 献血功労団体 7団体

## 【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	通年	事業所献血訪問回数の増強	県内各事業所	県内各事業所		11企業の協力があった。

## 【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H24.7.24	第48回献血運動推進全国大会	大津市	国民	国内の医療に関する全ての血液製剤を献血により確保することを目指し、血液事業を一層発展させるため開催	参加者1,505人
	H24.9.2	湖北長浜1000人献血運動	長浜市	県民	地域団体の呼びかけによる献血	献血者141人
	H24.12.1	湖北長浜1000人献血運動	長浜市	県民	地域団体の呼びかけによる献血	献血者53人
	通年	新規事業所拡大	県内	新規事業所及び休眠事業所	安定的な集団献血確保のため、新規事業所及び休眠事業所の再開を目的とする。	事業所を訪問し、新規会場4件と休眠事業所2社の協力実績があった。
	通年	献血プラスワンキャンペーン	県内	県献血推進協議会構成団体	あとひとりの献血(献血プラスワン)への協力を要請し、より多くの献血者の確保を目指す。	H24.7～H25.3に68人が協力

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H24.5.2、H24.8.15、H24.8.16、H24.1.8、H24.1.9	職員献血	府庁	府職員	血液が不足しがちなゴールデンウィーク、お盆、年始に府職員を対象とした献血を実施	
	H24.7	愛の血液助け合い運動	府内一円	府民	府内各地でイベント等を実施し、府民に献血への理解と協力を呼びかけ	
	H25.1～H25.2	「はたち」の献血キャンペーン	府内一円	新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心とした府民	各種広報媒体による広報、啓発資材の配布、ポスター掲示等により、若者を中心とした府民に献血への理解と協力を呼びかけ	

## 【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府	毎月第一水曜日(7,11月除く)	定例府庁前献血	府庁別館前、咲洲庁舎正面玄関前	府職員及び来庁者	・庁内ウェブ及び庁内放送で協力呼びかけ	・10回実施し、328名献血
大阪府赤十字血液センター	H24.8.29	ライオンズクラブ国際協会335-B地区クラブ献血担当委員長会議	リーガロイヤルホテル	335-B地区各ライオンズクラブ	各ライオンズクラブの献血担当委員長の献血意識を高めることにより、各クラブにおける献血者の増加を図る	研修会参加者229名
	H25.3.9	国際ロータリー第2660地区社会奉仕委員会 委員長会議	薬業年金会館	地区 各クラブ社会奉仕委員長	各ロータリークラブ社会奉仕委員長の献血意識の向上と、献血者の増加を図る。	参加者 約200名

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.7	ライオンズクラブ研修会	血液センター	ライオンズクラブ献血担当者	ライオンズクラブが主催、共済する団体献血の充実強化と新規団体の開拓依頼及び若年層献血への力添え依頼を目的に、血液事業の現状や受血者の講演も含めた研修会を実施し、献血への理解と一層の協力を図った。	各地区毎に開催し、A地区74クラブ、D地区64クラブから参加があった。
	H24.4～H25.2	献血協賛企業へのロゴマークの普及	献血団体	献血団体	ロゴマークを付与することにより、一層の献血への理解と積極的な協力を図った。	50団体に出向き、19団体にロゴマークを配布した。
兵庫県	H24.8	夏季献血推進強調月間	県下全域	県内官公庁、企業及び団体	血液の不足しがちな時期に合わせ、官公庁及び企業等における職場献血を推進した。	
	H24.12～H25.1	年末年始献血推進強調期間	県下全域	県内官公庁、企業及び団体	血液の不足しがちな時期に合わせ、官公庁及び企業等における職場献血を推進し、さらに文書による協力要請を呼びかけた。	

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	①H24.4.26・27 ②H24.8.23・24 ③H24.12.27・28・H25.1.11	県庁献血	県庁東棟「県民ホール」	県庁職員・県警職員等	年3回(4・8・12月)と緊急時に県庁職員を中心に献血協力を呼びかけ、献血者の確保を図る。	①採血総数165名(受付総数187名) ②採血総数158名(受付総数194名) ③採血総数251名(受付総数289名)
奈良県赤十字血液センター	随時	血液不足時の献血送迎	固定施設	全献血者	血液不足時には事業所から固定施設への送迎を行う。	緊急の血液不足に対応。
	随時	血液不足時の折り込みチラシ	移動採血車・固定施設	献血実施場所周辺の住民	血液不足時には新聞にチラシを折り込み、献血実施場所周辺の住民に緊急の献血依頼を行う。	「朝チラシを見て・・・」と献血に来られる方が多かった。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など	
鳥取県	平成24年4月3日～13日	ドリームコラボ献血	血液センター・献血ルーム・移動採血車	全ての献血者	けんけつちゃん&リカちゃんコラボストラッププレゼント	ニュースリリース・HP等により計画通りの協力が得られた	
	平成24年4月1日～5月31日	複数回献血クラブ電子メール会員募集			献血後に入会いただいた方へけんけつちゃん&ハローキティクリアファイル・ノート・ハンカチプレゼント		
	平成24年6月11日～14日	6.14世界献血者デー			けんけつちゃん献血バス(トミカ)プレゼント		
	平成24年8月6日～31日	サマー献血イベント			レトルトカレープレゼント		
	平成24年11月25日	赤十字×AKB48限定グッズプレゼント			AKB48グッズ(3種)の中から1つプレゼント		
	平成24年12月～	献血にいこう!!キャンペーン			配布小冊子等のプレゼント券持参者にクリアファイルおよびシャープペンプレゼント		ニュースリリース・HP・フリーペーパーにより計画通りの協力が得られた
	平成24年12月25日～1月5日	年末年始献血キャンペーン			干支の置物またはブランケットプレゼント		ニュースリリース・HP等により計画通りの協力が得られた
	平成24年2月	人気ファッションブランドコラボキャンペーン		学生の献血者限定	雑誌MEN'SNON-NO読者へBEAMSコラボポーチ	ニュースリリース・HP・掲載紙	
	平成24年2月	人気ファッションブランドコラボキャンペーン		学生の献血者限定	雑誌nonno読者へearthコラボペンケースプレゼント	ニュースリリース・HP・掲載紙	
	平成24年2月10日～15日	バレンタイン献血キャンペーン		全ての献血者	チョコレートプレゼント	ニュースリリース・HP等により計画通りの協力が得られた	
毎日	週間キャンペーン	血液センター・献血ルーム	午前中に血小板献血協力者	米プレゼント	計画通りの協力が得られた		

【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県赤十字血液センター	H24. 7. 29 H25. 1. 27	藤原技研工業(株)主催集団献血	竹矢公民館	藤原技研工業(株)及び関連会社社員、家族等	夏と冬の血液が不足する時期に、藤原技研工業(株)から関連会社等に呼びかけていただき、集団献血を実施。	7月29日、献血者数102名 1月27日、献血者数115名 各バス2台を配車し、短時間にたくさんの献血協力をいただいた。

## 【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	通年	ライオンズクラブ献血紹介カード	岡山・鳥取県内(336-B地区)	336-B地区ライオンズクラブメンバー及びその知人・関係者	LC主催の献血当日に参加できない方が他日協力紹介カードを活用することにより各クラブの実勢増に繋げる。また、現在取り組んでいないクラブにあっては当該カードの持参により自クラブの実績とする。それにより、336-B地区全体の底上げを図る。	献血紹介カードの活用により、献血未実施クラブへの周知が図れた。

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H24.7.24	献血推進大会	国際会議場	長年献血推進に協力している団体・個人	特に献血推進に功労のあった団体を表彰	献血ポスターの作成、特別講演を通じての啓発活動
	H24.12.~H25.1	県職員アンケート調査	県庁	本庁職員	県職員に対する献血への意識調査	

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	通年	緊急時献血協力者名簿の作成	各事業所等	各事業所職員	名簿を利用し、献血要請を実施	ライオンズクラブ、法人会へ協力を依頼
	通年	献血協力者名簿の作成	県・市町	県・市町職員	協力者名簿を作成し、献血要請を実施	登録者数2,927人

## 【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	平成24年5月～平成25年3月	県庁職員成分献血者登録制度		県職員	徳島県における安全な医療用血液の安定的な確保を図るため、県職員の成分献血者登録制度を発足させた。	

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H24.7.29	平成24年度献血推進協力団体等に対する厚生労働大臣表彰及び感謝状伝達式並びに知事感謝状贈呈式	エミフルMASAKI	一般	献血運動の推進に関し積極的に協力し、他の模範となる実績を示した会社、事業所、地域組織等に対し、知事感謝状の贈呈を行い、もって一層の献血運動の推進を行った。	
	常時	企業献血の推進		新規事業所	各ライオンズクラブを通じて事業所の紹介並びに事業所献血への協力を依頼した。	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	地域、職域等団体献血の強化	各地域会場及び各事業所等	各地域住民及び各事業所従業員等	減少期は特に特別キャンペーンを実施。	広報周知としてハガキなどのDM要請により参加者増につながった。

## 【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	年度全般	献血協力団体とのタイアップによる献血を実施	市町村献血時にライオンズクラブやロータリークラブ等の協力を得て安定的な献血者の確保ができた	一般献血者	市町村献血年間94回の内、8割以上の献血会場で献血推進団体の協力が得られた	

## 【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	平成24年度通年	休日献血	商業施設及びイベント会場	来場者	地域への新聞折り込みやはがきによる依頼、店舗前・車での呼びかけ強化をし、さらに処遇品をアップした。	定期的を実施することにより地域住民の献血の場として定着しつつある。
	平成24年10月26日	大村3ライオンズ合同例会	大村市民会館	大村市民会館	会場での挨拶と当日の献血者確保及び関連企業への働きかけを実施した。	献血者拡大につながった。
	平成24年8月	タクシーの日献血キャンペーン	献血ルーム等	タクシー会社社員及び関連企業	長崎市のタクシー協会に献血の呼びかけを実施し、同協会加入の38社の協力が得られた。	タクシー関連会社までキャンペーンが普及し、献血者増につながった。
	平成25年2月7, 8, 9日	みんなで献血	固定施設並びに移動施設	一般	献血協力者が減少する冬場にイベントを企画し、ライオンズクラブの後援を得て、会員や関係者に献血を呼びかけた。	ライオンズクラブ関係者の呼びかけなどにより献血者増につながった。

## 【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	通年	献血推進	県下献血主催の各事業所及び団体	各事業所職員及び各種団体会員並びに献血会場周辺事業所	推進及び打ち合わせレベルで、現状の説明等により献血への深い理解を図り、献血者増を図る。また、積極的な新規事業所及び団体の掘り起こしを図る。	行政と一体化した献血推進を行うことができる。
	通年	献血推進	熊本市校区献血全域	熊本市校区献血協力者	熊本市保健所により、くまモンピンバッジを作製。市校区での献血者(受付者含む)全員に配布。	人気のくまモングッズの活用で、献血者の増加につながっている。
	通年	献血推進	新規献血推進団体の活用	献血推進団体	新たな団体に献血の協力を働き掛けることにより、今までアプローチ出来なかった新規の献血者の確保が期待できる。	新規献血者の確保ばかりでなく、団体を通じた献血の広報も期待できる。

## 【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県	平成24年8月17日	厚生労働大臣表彰状・感謝状伝達式	県庁	受賞団体	献血功労団体の大臣表彰状・感謝状受賞団体へ、福祉保健部長から伝達した。	
	平成24年11月3日	献血功労団体知事表彰	県庁	受賞団体	文化の日に、献血功労団体を知事表彰した。	
	平成25年2月13日	献血功労団体知事感謝状贈呈式	大分センチュリーホテル	受賞団体	献血功労団体に知事感謝状を贈呈した。	
大分県赤十字血液センター	平成24年7月29日	ライオンズクラブ献血セミナー	別府ビーコンプラザ	ライオンズクラブ会員	ライオンズクラブの会長や献血担当者を対象に献血に関する研修会を行い、ライオンズクラブ協力の献血での献血者増に繋げる。	LC協力の献血者が減少する中、献血者確保数の現状を維持している。

## 【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H24.7.1～H24.7.31	愛の血液助け合い運動	宮崎県庁	県民	「献血でつなぐ 命のリレー」懸垂幕掲示	
	H24.8.31	献血感謝のタベ	宮崎セントラルシネマ	キャンペーン期間中の献血協力者	キャンペーン期間中の献血協力者166名を映画「海猿」に招待	
	H24.10.30	平成24年度みやざき愛の献血運動推進県民大会	メディキット県民文化センター	県民	献血功労団体表彰、中高生による合唱、学生メッセージ、記念講演等	参加者250名
	H24.10.15～H24.11.12	「いっしょに献血」キャンペーン	献血ルーム「カリーノ」	県民	平日2人以上で献血に来てくれた人に記念品贈呈	献血実績260名
	H24.12.1～H24.12.25	「クリスマス献血」キャンペーン	献血ルーム「カリーノ」	県民	宮崎県学生献血推進協議会会員による献血の呼びかけ	献血実績200mL42名・400mL319名・成分889名
	H24.12.22	「クリスマス献血」キャンペーン	イオンモール宮崎	県民	宮崎県学生献血推進協議会会員による献血の呼びかけ	献血実績200mL4名・400mL35名
	H24.12.28	「年末キャンペーン」イベント	宮崎セントラルシネマ	キャンペーン期間中の献血協力者	キャンペーン期間中の献血協力者165名を映画「ホビット」に招待	
	H25.1.2、H25.1.3	初詣献血	宮崎神宮(宮崎市) 神柱宮(都城市)	県民	献血協力の呼びかけ	献血実績200mL31名・400mL176名

	H25.3.22	献血感謝の夕べ	宮崎セントラルシネマ	キャンペーン期間中の献血協力者	キャンペーン期間中の献血協力者 名を映画「ひまわりと子犬の7日間」に招待	
	通年	成分献血協力団体確保のための広報	新聞広告	県民	成分献血の協力団体へのお礼及び情報提供	年6回掲載

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県	H24.4～	ロータリークラブ等例会出席	固定施設	ロータリークラブ等会員	血液センターと合同でロータリークラブ等の会員に対して献血状況等の説明を行い、会員の勤務する事業所での献血協力の依頼を行った。	
鹿児島県	H24.4～	新規献血事業所協力依頼	各事業所	各事業所	保健所、市役所、血液センターの3者合同で献血未実施事業所に対して献血協力の依頼を行った。	
鹿児島県 鹿児島県赤十字 血液センター	H24.4～	輝けヤングハート&ヘルス事業	各市町村	若年層献血者	市町村国保との協働による若年層の健康増進・疾病予防・献血率の向上を目的とする。	各市町村献血担当・国保担当からの呼びかけも行き、1台平均59.7名の献血を得た。

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	通年	新規団体の開拓	各企業・団体	献血未実施企業	紹介、訪問等で新規団体、企業に献血実施の協力依頼をし、血液確保が困難になっている現状を説明。献血の重要性を理解して頂き、献血への参加を呼び掛ける。	62の企業で献血のご協力を頂いた。

## ⑨複数回献血者の増加

### 【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H24.4.1～H24.5.31	複数回献血クラブ入会促進キャンペーン	大学・専門学校等、各献血実施場所	若年層を中心とした、複数回献血クラブ登録者	複数回献血クラブ(メールクラブ)への登録を促し、要請等による複数回献血者の増加を目的として。	登録者へ記念品を渡すことにより登録者が大幅に増加した。
	H25.2.26～H25.2.28	ハンドリフレクソロジー(ハンドマッサージ)	新さっぽろ献血ルーム	献血協力者(希望者)	前年度好評であったため、引き続き来場者へのサービスとして実施。メールクラブ会員にも実施を周知。	アンケートを取った際、このサービスを受けに来場する方もいるほど好評であった(リピーターの確保)
	H25.2.6	献血フォーラム	WEST19	複数回献血クラブ会員および献血協力団体、ボランティア団体	メールクラブ会員へ会員特典として参加案内、ゲストを招いてのトークショー、献血協力団体の日赤功労表彰を実施。また、トークショー中に献血の説明をするなど来場者へ献血啓発を促した。	当日は、新聞の取材もあり、記事を通し献血の重要性を伝えられた。

### 【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H24.4.1～H25.3.31	複数回献血クラブ会員募集	全施設	未加入者	未加入者に対して、複数回献血クラブ入会パンフレットを封書や献血現場で配布し、会員を募った。	パンフレット30,000枚作成 新規加入者 804名
	H24.4.1～H25.3.31	新聞折込チラシ	献血バス	県民	献血バスが巡回する市町村に、新聞折込チラシを入れて献血者を募った。	327,820枚の配布
	H24.9.24～10.31	ミドル層献血依頼	全施設	30～49歳の献血依頼可能者	30～49歳までを対象に複数回献血クラブ入会のパンフレットと献血記念品の引換券を同封し、献血した方に記念品を用意した。	6,436通発送 応諾人数1,023名 応諾率15.9%
青森県	H24.5～H25.3	フリーペーパーによる広報	フリーペーパー3誌	県民	フリーペーパーに広告を掲載し、周知を図った。	計8回掲載

## 【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	平成24年11月 平成25年1月 平成25年3月	もう一回献血イベント	県内献血会場	既献血者	既献血者を対象に400mL献血の複数回の献血依頼をし、協力者に対しオリジナルグッズ等を提供した。	
	通年	ハガキ・メールによる献血要請	県内献血会場	既献血者	複数回献血クラブ会員にメールによる献血依頼 400mL献血経験者にハガキでの献血依頼	
	通年	複数回献血クラブの加入促進	県内献血会場	既献血者	献血バス内にポスター掲示や 接遇時に勧誘チラシを用いて入会の強化を図った。	
	通年	事業所の複数回献血の実施	各事業所	事業所従業員	事業所の複数回献血の実施	608事業所で1,078回実施したことから、ほとんどの事業所から複数回の協力をいただいた。

## 【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県	平成24年10月～11月	複数回献血クラブ会員増強キャンペーン	各献血会場	複数回献血クラブ非会員	複数回献血者及び若年層献血者確保のため、複数回献血クラブ新規会員にけんけつちゃんグッズをプレゼントし、会員増加を促すことを目的とする。	キャンペーン前の9月の新規会員数が153人だったのに対し、10月が320人、11月が209人と著しく会員数が増加した。

## 【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	通年	複数回献血クラブ(メール会員)募集		既献血者	受付職員の登録呼びかけ。	370名の登録者
	H24.11	情報誌に掲載		県民	秋田市を中心に情報誌「エークラス」に複数回献血クラブの募集を含め固定施設の案内イベント告知等を掲載した。	広く県民の皆様に告知し好評だった
	H25.2	情報誌に掲載		県民	秋田県内を対象に情報誌「あきたタウン情報」に複数回献血クラブの募集を含め固定施設の案内イベント告知等を掲載した。	献血の流れも含め広く周知できた

## 【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	通年	献血街頭キャンペーン	定点献血会場、イベント会場等	県民	人が多く集まる場所において、献血啓発資材を配布し、献血の普及啓発を図った。	県内で20回実施
	H24.6.1～8.31(放映) H24.12.1～H25.3.31(放映)	献血啓発CM放映事業	映画館「MOVIE ON やまがた」 (山形市)	映画館観客	複数回献血推進をテーマにCMを制作、放映し、複数回献血者の増加を図った。	

## 【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H24.9.8、H24.9.9	わくわく縁日スマイルランド	福島県赤十字血液センター	親子連れを含む献血者	「複数回献血クラブ入会特設コーナー」を設け、来場者へ同クラブの目的、運営内容を説明。	同クラブ会員として約50名の新規登録があった。
	H24.10.13	ハートフルサタデー	ビックパレットふくしま	関連会社職員他	「複数回献血クラブ入会特設コーナー」を設け、来場者へ同クラブの目的、運営内容を説明。	同クラブ会員として約100名の新規登録があった。
	H25.2.16、H25.2.17	献血感謝デー	福島県赤十字血液センター	親子連れを含む献血者	「複数回献血クラブ入会特設コーナー」を設け、来場者へ同クラブの目的、運営内容を説明。	同クラブ会員として約60名の新規登録があった。

## 【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	通年	複数回献血クラブ	各献血会場	献血者	ネット携帯クラブを活用し、献血の協力依頼やイベント情報を配信	28,160件配信
	平成24年7月1日～平成25年3月31日	移動採血車限定400mL献血推進キャンペーン	各献血会場	400mL献血者	平成24年7月1日～平成24年10月31日に400mLチャレンジカード25,000枚配布し、次回400mL協力者に記念品進呈	カード持参者3,663名
	平成24年12月1日～平成25年3月31日	ヤング献血キャンペーン	各献血会場	10代から20代の献血者	複数回献血クラブへの登録者には関東甲信越ブロック血液センター統一記念品「ナルト」進呈。(月1回メール配信)	5,316件配信、登録者数866名

## 【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
栃木県	平成24年6月15日(金)	「県民の日」献血キャンペーン	栃木県庁舎内 県民広場(宇都宮市) 県民の日記念イベント会場内	県民	栃木県医薬品配置協会の協力を得て、県民に対し、献血の普及啓発を行うとともに、移動採血車による献血を行うことにより、「献血思想」の意識の醸成を図った。	献血者数:41名
	平成24年7月	「愛の血液助け合い運動」キャンペーン	県内	県民	ラジオやテレビによるスポットCM放送や新聞広告、県政広報誌への記事掲載により、400mL献血及び成分献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	
	平成24年7月27日(金)	献血功労者表彰式	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	県民	献血に功績のあった個人又は団体の表彰を行うとともに、一般県民も参加可能な記念コンサートを開催し、県民に対して、献血の普及啓発を図った。 第1部 式典 献血功労者の表彰 第2部 アトラクション ケーナコンサート	参加者:約150名
	平成24年8月1日(水)～31日(金)	チャレンジ! 400mL献血&成分献血キャンペーン	うつのみや大通り献血ルーム、栃木県赤十字血液センター、県内献血会場	県民	血液が不足する時期に献血者を確保するため、実施期間中に初めて「400mL献血」または「成分献血」に協力いただいた方にオリジナル記念品を贈呈し、県民各層の間に献血思想の普及を図った。	初回献血者 ・400mL献血 462名 ・成分献血 43名
	平成24年9月30日(日)	「ヒューマンフェスタとちぎ2012」献血キャンペーン	栃木県立県南体育館(小山市)	県民	栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、啓発物資の配布、移動採血車による献血等を実施することにより、県民に対して、献血の普及啓発を図った。	来場者数:1,000名 献血者数:51名
	平成25年1～2月	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマズ宇都宮	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送、新聞広告、県内1か所の映画館でシネアドの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	・新成人へのリーフレット配布数 22,680枚 ・シネアド放映回数 延べ約900回

## 【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	平成24年5月20日	県民フェスタ	観音山ファミリーパーク	来場者	複数回献血登録のブースを設け申し込んでいただいた方に記念品をプレゼント	新規登録者10名
	平成24年8月19日	ホリデーイン前橋	群馬県立敷島公園	来場者	複数回献血登録のブースを設け申し込んでいただいた方に記念品をプレゼント	新規登録者10名
	平成24年11月23日	献血感謝デー	イオンモール高崎	来場者	複数回献血登録のブースを設け申し込んでいただいた方に記念品をプレゼント	新規登録者75名
	平成24年12月2日	パナソニックワイルドナイツ試合献血	太田総合陸上競技場	来場者	複数回献血登録のブースを設け申し込んでいただいた方に記念品をプレゼント	新規登録者19名
	平成25年1月13日	はたちの献血街頭キャンペーン	イオンモール太田	来場者	複数回献血登録のブースを設け申し込んでいただいた方に記念品をプレゼント	新規登録者42名
	平成25年1月16日	学内献血	群馬大学荒牧キャンパス	学生	複数回献血登録のブースを設け申し込んでいただいた方に記念品をプレゼント	新規登録者34名

	平成25年1月25日	学内献血	高崎経済大学	学生	複数回献血登録のブースを設け申し込んでいただいた方に記念品をプレゼント	新規登録者19名
	平成25年2月8日	学内献血	群馬自動車大学校	学生	複数回献血登録のブースを設け申し込んでいただいた方に記念品をプレゼント	新規登録者21名

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県	H25.2.6～H25.3.31	複数回献血くらぶ会員感謝キャンペーン	県内献血ルーム	複数回献血くらぶ会員	会員としての意識付けと、複数回献血ルームへ足を運んでいただけるよう、キャンペーンの告知をメールで配信し、キャンペーン期間中県内の献血ルームにてご協力いただいた会員の方に粗品を差し上げる。	23,499件配信し、ご好評をいただいている。まだ期間途中のため、実績は未集計。
	通年	複数回献血くらぶ会員登録強化	県内全献血会場	複数回献血くらぶ会員未登録者	複数回献血くらぶ会員に登録いただき、複数回献血を実施いただく	新規登録者16,582名

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	通年	複数回メールクラブ新規会員確保	献血会場・献血ルーム	未加入献血者	未加入の献血者に対し加入をお願いし、加入いただいた方に記念品を進呈	新規会員634,941名(4月～2月)
	通年	携帯メールクラブポイント制	献血会場・献血ルーム	複数回献血クラブ会員	献血時にポイントを付与し、一定のポイント到達で記念品を進呈	
	25.2.16	携帯メールクラブ会員限定セミナー	日本赤十字看護大学 広尾ホール	複数回献血クラブ会員	救急救命センター医師による医学講演「救急医療と献血」と講習会「災害時に役立つ生活支援講習会」を開催	
	通年	複数回メールクラブ会員へ献血要請	献血会場・献血ルーム	複数回献血クラブ会員	複数回献血クラブ会員に定期的及び必要に応じて臨時にメールにて献血要請を行う。	
	通年	はがきやメールによる要請	献血ルーム	献血ルームで献血に協力をいただいた既献血者	一定期間献血していただいていない献血者へ献血の要請をする	
	通年	はがきやEメールによる要請	献血会場	オープン献血等で協力いただいた既献血者	献血実施団体企業等で前回協力頂いた方へ要請メールやはがきによる依頼を行う。	

## 【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字血液センター	平成25年2月5・12・19・26日	国庫補助事業「複数回献血協力者確保事業」の「健康相談事業」	みぞのくち献血ルーム、藤沢献血ルーム、本厚木献血ルーム	献血メールクラブ会員を対象に周知。みぞのくち献血ルーム、藤沢献血ルーム、本厚木献血ルームでの献血者 141名。	快眠に関するアドバイスと頭部マッサージ	

## 【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	通年	クリアファイルによる複数回献血クラブのPR		献血バスで400mL献血をしていただいた未登録者	クリアファイルにQRの付加されたPRリーフレットを入れて対象となる方にお渡しした。	H24.3～H25.2の1年間で会員数が1,248名増加した。 H24.3月 - 約7,103名 H25.2月 - 約8,351名
	通年	複数回献血クラブ会員への献血会場及びキャンペーン情報の送信		複数回献血クラブ会員	毎月末に翌月の街頭会場及びキャンペーン等の情報提供することによる複数回への誘導を目的に実施した。	
	通年	報道機関への献血会場等情報提供による周知依頼		テレビ、ラジオ、新聞各局	複数回に結び付けるために、メディアによる献血会場等案内により、県民の広い範囲に周知を図った。	
	通年	企業等訪問		献血協力企業等	県、市町村、血液センターで企業等を訪問し、献血への協力を依頼した。	

## 【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
富山県赤十字血液センター	H24.4.1～H25.3.31	400mL献血複数回献血キャンペーン	各献血会場	400mL献血者	少子高齢化の進行に伴い若者が減少し、加えて献血率が著しく低下している中、増加する血液需要に対応し、血液の安定的な確保を図るため400mL献血の複数回献血協力者の確保促進を図る。	400mL献血者：180名増。 2回以上400mL献血者数：177名増。
	H24.10.21	「複数回献血登録者の拡大」イベント	イオンモール高岡	一般県民	献血啓発パネル展示、幼稚園児の歌&キッズダンス、パルーンパフォーマンス、富山サンダーバーズとカターレ富山の選手によるトークショー、けんけつちゃんのパレードを行い、LOVEメール会員へのPR及び会員募集イベントを開催する。	CM効果や献血啓発パネル展示などにより多くの来場者があり、広く県民に血液事業やLOVEメールクラブについて周知いただくことができた。
	H24.8～H25.3	ポスター等作製・配布	各献血会場	献血協力企業・献血推進団体他 一般県民	複数回献血の協力と献血メールクラブ会員募集のポスター等を作成し、献血の意識啓発に努める。	ポスター1,000枚、チラシ15,000枚作成、リーフレット15,000枚作成。

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県赤十字血液センター	H24.4～H25.1	複数回献血クラブ会員増加事業	県内全域	献血者	平成24年に成分献血を協力した方の中から、ダイレクトメールを送り、複数回献血クラブ会員を募集する。また、献血会場複数回献血クラブ会員への入会を案内する。	期間中に951名の新規会員があった。

## 【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県	通年	成分献血推進事業	血液センター	成分献血者(複数回)	成分献血について、ポイント制報償制度を実施し、複数回献血者を確保した。	
福井県赤十字血液センター	通年	初回献血者に対する礼状の送付	血液センター	初回献血者	血液センター所長名で礼状を出し、年内に再度、献血をしていただいた方に記念品を提供した。	
	通年	複数回献血者の確保	血液センター	複数回献血クラブ会員、複数回献血者	はがきおよびメールにて献血の周知を行った。	
	H25.1.31	複数回献血者映画試写会の実施	映画館	複数回献血者、県民	成分献血の複数回献血者(抽選で200名)および県民(抽選で50名)を映画の試写会に招待した。	

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県赤十字血液センター	平成24年4月～	団体での年間2回実施	各献血会場	県下献血団体	献血者数50人以上の団体(高校は除く)は、年間2回以上の献血をしていただく	毎年同じ時期の恒例行事化
	〃	ライオンズクラブ主催献血	〃	ライオンズクラブ関係者	県下31ライオンズクラブ中26ライオンズクラブが主催献血を行う	年間3,500人以上の献血者確保
	平成24年5月～3月	高校集団献血	各高等学校	県下41校高校生	県下全日制すべての高校での献血。3年生及び1月よりは2・3年生対象に400ml献血の推進。男子が多い高校・献血者が多い高校等は年間2回要請	年間3,000人以上の献血者確保

## 【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長野県	伊那:10/7 佐久:24.1/12～14 飯田:24.3/2～3 中野:24.3/9～10	献血ルーム体験運動	伊那市、佐久市、飯田市、中野市内の大型店舗等	県民(来客者、通行人)	血液センターがない地域の大型店舗内等に臨時の献血ルームを設置し、献血を体験する機会を設けるとともに、会場周辺でチラシ配布などの啓発活動を行った。	献血者数:伊那 86人 佐久 274人 飯田 211人 中野 133人
	長野:4月～24.3月 上田:5月～24.3月 岡谷:5月～24.1月 山形村:8月～24.1月	定例献血スポットキャンペーン	長野市、上田市、岡谷市、山形村内の大型店舗	県民(来客者、通行人)	大規模駐車場を備え集客力のある大型店舗へ移動採血車を配車し、定例的な献血会場として定着させることで献血者の確保を図った。	献血者数:長野 473人/9回 上田 575人/7回 岡谷 146人/2回 山形村 199人/4回
長野県赤十字血液センター	H24.4.1～H25.3.31	複数回献血クラブ登録推進	固定施設及び各献血(イベント)会場	未加入献血者	複数回献血者の登録促進を目的とし、入会いただいた方へ本社及びブロック血液センターから配布された処遇品を差し上げた。	新規加入者2,052人

## 【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H24.4月～H25.3月	複数回献血クラブ会員の募集	各献血会場等	献血者	献血会場にて複数回献血クラブ会員募集に努めた。	会員数新規 1,845名(平成24年度末 5,854名)

## 【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県赤十字血液センター	H24.5～H25.3	リーフレット配布	各献血会場	新規献血者	大学や企業、献血ルームで年間に約40000枚配布してクラブ会員入会を進める。	会員の増加

## 【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H24.7.1～H25.3.31	400mL複数回献血キャンペーン	県内献血会場	400mL献血者	7月から11月の間、400mL献血に御協力いただいた方に「けんけつちゃん」カードをお渡しし、12月から3月までに再度400mL献血をしていただいた方に記念品を贈呈した。	

## 【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	平成24年7月～平成25年1月	複数回献血キャンペーン	献血バス会場	単年度内に2回以上献血にご協力いただいた方	粗品を進呈	2809名の方へ粗品を進呈。

## 【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	通年	メールによる献血要請		複数回献血クラブ会員	複数回献血クラブ「くるくるトマト」会員への献血情報発信。	平成24年度の会員数1920人
	H24.10～11	複数回献血者登録会	県内大学(学内献血時)	大学生	今後の複数回献血者増を目的とし、複数回献血者会員募集を、献血協力大学で登録会を実施する。	県内大学延べ8校で実施し、新規複数回登録者を221名確保した。

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H24.4.1～H24.5.31	複数回献血クラブ入会促進キャンペーン	献血会場(献血ルーム、移動採血)	複数回献血未登録者	新規登録者に記念品を配布(期間中426名登録)	

## 【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府	H24.7.1～H24.7.31	愛の血液助け合い運動	府内一円	府民	府内市町村及び市町村献血推進協議会を中心に街頭キャンペーン、機関紙等への広報掲載等を実施	
	H24.8.9	大阪府知事感謝状贈呈式 (厚生労働大臣表彰状・感謝状伝達式同時開催)	KKRホテル大阪	献血に功績のあった団体並びに個人	大阪府知事感謝状の贈呈並びに厚生労働大臣表彰状感謝状の伝達	
	H24.12.1～H24.12.31	大阪府献血推進月間	府内一円	府民	府内市町村及び市町村献血推進協議会を中心に街頭キャンペーン、機関紙等への広報掲載等を実施	
大阪府 大阪府赤十字血液センター	H24.12.5	大阪府献血感謝のつどい	エル・おおさか	献血にご協力いただいた団体並びに個人等	献血に多大なご協力をいただいた団体等の表彰及び記念講演	
大阪府赤十字血液センター	H24.4.1～H25.3.31	献血ルームにおける各種キャンペーン	大阪府内の献血ルーム(計10箇所)	府民	・ネイルケア、マッサージ、ハンドトリートメントサービス等 ・抹茶とお菓子のサービス、モーニングキャンペーン等 ・手相占い等	
	H24.4.1～H25.3.31	けんけつE倶楽部 新規会員登録キャンペーン	大阪府内の献血会場	府民	けんけつE倶楽部(複数回クラブ)会員の新規登録強化を図る。	2月末現在、新規登録数20,115人

## 【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.4～	複数回献血クラブ会員募集チラシの作製及び配布	固定施設及び各献血会場	全献血者	固定施設を中心に会員募集のチラシを配布し、広く会員の募集を行った。	今年度2月末時点で4,150名の会員増加を図ることができた。
	H24.9.30、H24.10.27	複数回献血クラブ会員対象の健康太極拳講座及びヴィッセル神戸スタジアム見学ツアー	血液センター・ホームスタジアム神戸	複数回献血クラブ会員	会員対象に講師を招き、健康保持のための太極拳講座、ホームズスタジアムのバックヤードの見学ツアーを開催し継続した協力と複数回クラブの充実を図った。	2日間の実施で約100名の参加があった。
	H24.4～11	複数回クラブ会員増強月間	大学等献血会場	若年層献血者	大学献血が多い時期に担当職員を献血会場に派遣し、直接募集にあたることにより、会員増加を図った。	期間中、1,965名の登録が得られた。
	H24.4～H25.2	複数回献血協力者確保対策	ハガキ及びメールによる献血依頼	幅広い年代層	初回献血者、複数回献血者を問わず一稼働当たりの献血者増と型別不足の是正及び各血液製剤の安定確保を目的に依頼を行った。	ハガキ依頼の応諾率は17.1%、メール依頼の応諾率は25.5%の実績であった。

## 【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県赤十字血液センター	H24.7.1～H25.6.30	400mL献血1、2 +チャレンジ成分キャンペーン	移動採血車・固定施設	全献血者	移動車にてカード配布。1年以内に400mL献血2回達成でプレゼント。更に成分献血をされた方にプレゼント。	移動採血から固定施設の成分献血への誘導が行えた。
	H24.7.1～H25.1.31	成分献血ポイントキャンペーン	固定施設	全献血者	成分献血の1回ごとに1ポイント進呈。3ポイントと7ポイント目にけんけつちゃんオリジナルグッズをプレゼント。	ご当地けんけつちゃんグッズが手に入ると好評であった。
	H24.7.1・10.14	お料理教室	南部公民館 若羽調理専門学校	複数回献血クラブ(メール会員)	会員特典として「献血できる健康な身体作り」をテーマに献立を設定したお料理教室を実施。健康的な食事の指導を行った。	女性だけでなく、男性の参加も多かった。「定期的に実施して欲しい」との声も沢山頂いた。

## 【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	通年	ハガキ依頼	県下一円	400mL献血可能献血者	前回献血から期間が経った(献血可能となった)献血者にハガキで献血依頼。	応諾率約10%。特に街頭献血ではハガキ依頼の人が1/3～1/4を占める。また、午前中に来られる方も多い。

## 【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	毎月4回(不定期)	複数回献血協力者確保	献血会場	複数回献血協力者	ハガキによる献血協力要請	ハガキによる応諾者により計画通りの採血が出来た
	毎月3回(不定期)				複数回献血クラブ会員への協力要請	メールによる応諾者により計画通りの採血が出来た
	2月	健康キャンペーン	血液センター		マッサージ師によるマッサージおよび健康相談	計画通りの協力者が得られた
	通年	複数回献血クラブメール会員募集強化	献血会場すべて		献血経験者へメールクラブ入会の誘いを行う	600人⇒1300人会員数増加

## 【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県 島根県赤十字血液センター	H24. 12. 2	複数回献血クラブ感謝の集い	イオン松江ショッピングセンター	複数回献血クラブ登録者及び県民	日頃協力いただいている献血者に対する感謝と若者に対して献血の必要性を広く訴えることを目的にミニライブ等を開催するとともに、街頭献血を実施。	ポスター掲示、ミニライブ、献血クイズを実施。献血者38名。
島根県赤十字血液センター	H24. 9. 3～14	「癒しのコーナー」開設	島根県赤十字血液センター	献血者	献血いただいた方に松江総合医療専門学校生徒さんによるマッサージのサービスを実施し、ゆったりと休憩していただくと共に心身ともにリフレッシュしていただいた。	期間中220名の利用者があり、大変好評だった。
	通年	複数回献血クラブ会員募集	血液センター 献血ルームふれあい 移動採血会場	未入会献血者	入会特典、記念品を掲載したチラシ等により大学献血や街頭献血会場で会員登録を呼びかけ、会員数の増加を図る。	平成24年4月～平成25年1月登録者数、458人

## 【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	通年	複数回献血クラブ	県内各献血会場	統一システムにおいて検査履歴等のデータを保有する献血適格者で、複数回献血への協力の意思のある方	安全な血液を安定的に確保するため、事業年度内に複数回の献血に協力する献血者を確保する。	県内各献血会場にて募集を図り、2,275名の新規会員を確保した。(23年度末会員数5,408名)

## 【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	随時	栄養士による食事改善相談	献血バス, ルーム	血色素量不足者	鉄分を摂取しやすい食事について等の助言	
	随時	複数回献血クラブ「e/ハート」登録	献血バス, ルーム	複数回登録者		登録6806人

## 【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	通年	複数回献血登録の要請	各献血会場	献血者	複数回献血を要請	登録者数が増加している。
	H24.11.3	複数回献血者クラブ会員限定イベント	山口県赤十字血液センター附近	複数回献血クラブ会員	ウォーキング&オーガニックランチへ招待	32名が参加した
	H24.4.1~H25.3.31	複数回献血者確保対策の実施	各献血会場	献血者	移動採血及び固定施設の献血者協力者へリーフレット配布。会員登録の促進・ホームページの掲載。新規会員へ記念品の送付。	登録者数が増加している。

## 【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	平成24年4月~平成25年3月	けんけつ「ハートメッセンジャー」事業	保健所, 市町村窓口等	若年層を中心に幅広い年代	複数回献血クラブの会員数の増加を図ることを目的に、タウン誌, リーフレット等の印刷物にQRコードを掲載し、携帯電話から簡易にアクセスできるような環境整備に努めた。	H25年2月末時点で2,125名が成分献血に協力
徳島県赤十字血液センター	平成24年4月~平成25年3月	血小板成分献血・400mL献血推進キャンペーン		複数回献血者	誕生日に該当する献血者及び血小板献血可能者に献血依頼の葉書を送付し、複数回献血者の増加を図った。	ハガキ要請数 9,477名 ハガキ応諾数 1,751名 ハガキ献血者数 1,599名

## 【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県		献血推進啓発用リーフレットの作成	県、各市町及び香川県赤十字血液センター	県民	複数回献血者の増加のため、登録方法(QRコード等)を記載。	登録方法(QRコード等)のPR
	成人式等	はたちの献血リーフレットの作成	各市町、献血ルーム	はたちの県民	はたちの献血キャンペーンにあわせ、配布した「はたちの献血」のリーフレットに複数回献血登録制度について掲載。	登録方法(QRコード等)のPR

## 【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	常時	リピートあいピーの周知	献血会場	一般	献血者に「複数回献血クラブ(リピートあいピー)」の周知に協力し、複数回献血の推進を図る	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	固定施設・大学献血登録強化	各固定施設及び大学献血会場等	若年層を中心に幅広い年代	登録募集チラシの配布及び献血会場での勧誘	特に若年層の登録者増加につながった。

## 【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	年度全般	複数回献血登録パンフレット配布	各献血会場	一般献血者	登録方法がわかりやすいように作成し、献血者に配布した	

## 【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	平成24年11月及び12月 (上映会:12/7、2/15)	献血をして映画を観に行こうキャンペーン	固定施設、県下2か所の映画会場	複数回登録者及び期間中の献血者	キャンペーン中に固定施設において献血した方を対象に、抽選で200組を無料の映画上映会に招待した。開会前に日頃のお礼と血液事業の現況について説明し、その後視聴していただいた。	夫婦同伴や友人を誘っての参加が多く、同伴者への献血勧誘もでき、若者への推進強化にもなった。
	平成24年10月20日	複数回献血クラブ研修会	長崎市内の研修会場	複数回献血クラブ会員	献血、健康生活支援、AED講習等を含めた講習を行った。	赤十字の業務全般に理解を深めていただくことで、献血の推進にも寄与されるものと思われる。

## 【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	H24.9.20～H25.4.30(予定)	One More 献血キャンペーン	県下の全献血会場	400mL献血者	本県では年間に1回のみ献血協力者が70%であるため、その層をターゲットに冬期から春先にかけての献血者確保対策として実施。 9/20～12/30までの期間に、県内の全献血会場にて400mL献血をされた方に“One More”カードを渡し、12/14～4/30までの期間中に再度400mL献血を協力された方にオリジナルトートバッグ(県費補助)を進呈し、献血の推進並びに確保の強化を図る。	期間中のカード持参者1,752名。1～3月の全年度同月期間で51名の400mL献血者増加があった。また、年1回のみ献血者70.1%→69.6%となり、4半期の実施ながら年間複数回献血者確保の一助となった。
	H24.4～6	複数回クラブ増強キャンペーン	各大学・専門学校	学生	期間中に実施の大学献血に出向き、複数回献血クラブ(メール会員)への勧誘を実施。登録者には血液事業本部製作のキティ3点セットを配布。	若年層献血者の確保にもつながるキャンペーンで、大学へ出向いての直接勧誘は、効果があった。
	H24.4～6	複数回クラブ増強キャンペーン	各献血ルーム	若者を中心とした一般	複数回献血クラブ加入者に上記グッズを進呈。ポスター掲示、ホームページの活用を実施。	当日の入会に至らなくても、グッズ展開は話題性があった。
	通年	情報誌への複数回献血会員イベントの掲載	情報誌への掲載	市町村、県下大学・専門学校並びに献血者	本県オリジナルの情報誌配布(年4回発行)に、複数回献血会員向けのイベントを掲載するとともに、広く会員の応募を募り促進を図る。	平成23年度比587名(2,915名→3,502名)の会員増加があった。

## 【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	通年	複数回献血会員登録キャンペーン	献血ルーム「カリーノ」	新規登録会員	新規登録者にオリジナル記念品を進呈	

## 【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県赤十字血液センター	5月,8月,11月,2月	複数回献血者強化キャンペーン	固定施設	若年層献血者	若年層への普及が重要であることから、特に若年層献血者の登録を重点的にお願いし、キャンペーン期間中に抽選会を実施するなどの取組を行った。	事前のメール送信やポスター掲示により周知し、期間中は多くの登録を得ている。

## 【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H25.2.21	献血コンサート	サラダボール	県民一般	若年層を中心に幅広い年代から献血を通して支えられる「生命」に意識を向けさせるとともに、複数回登録者の意義、理解、普及の機会を創出する事。	

⑩その他

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H24.7.1～H24.8.31	愛の血液助け合い運動 (街頭献血キャンペーン)	県内市町村	県民	各市町村の街頭において献血啓発活動を実施し、献血思想の普及啓発並びに血液が不足する夏期において安全な血液製剤を安定的に供給するため、献血者の確保を図る。	・県内市町村37ヶ所で実施 (参加者数:1742人・献血者数:1435人)
	H25.1.1～H25.2.28	はたちの献血キャンペーン (街頭献血キャンペーン)	県内市町村	県民	・各市町村の街頭において献血啓発運動を実施し、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く県民各層に献血に関する理解と協力を求め、献血者が減少しがちな冬期における安全な血液製剤の安定的供給のため、献血者の確保を図る。 ・新成人を1日献血ルーム所長に任命し、街頭において啓発活動を実施。	・県内市町村23ヶ所で実施 (参加者数:1077人・献血者数:899人) ・ラジオ出演、県民だより奈良・タウン情報紙・近鉄奈良駅構内の電子案内掲示板へのキャンペーン情報の掲載、及び1日献血ルーム所長による街頭啓発キャンペーンが地元テレビ局により放送され、広く県民に広報を行うことができた。
	①H24.4.1～H24.6.18(募集) ②H24.8.2(表彰)	献血運動啓発ポスター募集	①県内へ広報し、募集 ②県庁にて献血功績者と併せて表彰	①県内在住・在学・在勤の方(年齢制限なし) ②特選・入選者	広く県民に献血についての理解を深め、献血運動推進のPRに役立てるために実施。	①応募数:105点 ②対象:特選1点・入選4点
	①H24.8.7～H24.8.13(展示) ②H24.8.23～H24.8.29(展示)	献血運動啓発ポスター入賞作品の表彰及び展示	県内大型スーパー2店舗内 ①イオンモール橿原 ②イオンモール大和郡山	「献血運動啓発ポスター」入賞(特選・入選・佳作)作品(20点)	幅広い年齢層の優秀作品を展示することにより、広く県民各層に献血運動をPRし献血に対する理解と協力を求めることを目的とする。	対象:特選1点・入選4点・佳作15点
	H25.2	献血啓発しおりの設置	県内大型書店	県民	献血運動啓発ポスター入賞(特選・入選)作品を元にししおりを作成し、県内大型書店の店頭等への設置を依頼。	書店レジ付近への設置により、手に取っていただく機会が多く、広く広報を行うことができた。
	H24.8.2	献血功績者表彰式	県庁	献血に功績のあった者を表彰	献血に対する県民の理解を深め、献血運動を推進するため、献血に功績のあった者を表彰する。	

## 【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福岡県	H24.6.14	福岡県市町村献血推進協議会連合会理事会	福岡県庁	理事	県内の市区町村献血推進協議会の事業に関する連絡調整及び円滑な運営を図ることを目的とする。理事会においては、市区町村献血推進協議会の事業等について協議を行った。	
福岡県	H24.7.17 H24.7.20	ライオンズクラブ並びに市区町村献血推進担当者合同研修会	福岡市 北九州市	ライオンズクラブ、市区町村献血担当者及び献血推進協議会	昨年度の献血実績を報告し、今後の献血推進事業について説明を行った。	
福岡県	H24.7.27	第45回福岡県献血運動推進大会	粕屋町 粕屋町立生涯学習センター「サンレイクかすや」	献血功労者及び県民	「愛の血液助け合い運動」の一環として開催。献血功労者に対する表彰、献血に関する体験発表等を行い、県内における献血思想の普及啓発を図った。	
福岡県	H24.11.22 H24.11.27	ライオンズクラブ並びに市区町村担当者合同献血推進研究会	福岡市 北九州市	ライオンズクラブ、市区町村献血担当者及び献血推進協議会	血液事業について研修を行うほか、ライオンズクラブ及び市町村担当者による献血に関する事例報告を行い、献血思想の普及啓発を図った。	
福岡県	H25.1.18	第16回福岡県輸血療法委員会合同会議	福岡県庁	血液製剤を使用する医療機関の医師、薬剤師、臨床検査技師等	血液製剤の使用適正化に密接な関係にある医療現場における輸血について、適正な輸血療法の推進を目的として開催。輸血療法に関する研修や、輸血業務に関するアンケートの集計結果を基に今後の課題検討等を行った。	
福岡県	H25.2.19	福岡県献血推進協議会	福岡県吉塚合同庁舎	委員	次年度の献血推進計画を策定するとともに、その他献血組織の育成強化、献血思想の普及を図るための広報活動等を行った。	
福岡県	H24.5.9～11 H24.8.22～24 H25.1.16～18	県庁職域献血	福岡県庁	県庁職員、来庁者	県庁本庁舎において、県庁職員を対象とする職域献血を年3回(計9日間)実施し、職員の献血に対する意識向上に努めた。	